



Research Survey Reports in Information Studies, The University of Tokyo

No.40

2024

CONTENTS

Faculty Papers

The Current Situation and Issues of Professionalism and Working Conditions of Women's Consultants in the Public Sector in Japan: A Nationwide Survey of Public Women's Consultants in 2022

[OGAWA, Mariko KAWAZURA, Mitsuko] 1
SUGA, Tomoko

Risk Perception of Probability Expressions in the National Seismic Hazard Maps for Japan: Findings from the 2020 Survey

[SAITO, Sayaka YASUMOTO, Shinya] 51
SEKIYA, Naoya

情報学研究
調査研究編

東京大学大学院情報学環

情報学研究 調査研究編

Research Survey Reports in
Information Studies

Interfaculty Initiative in Information Studies
The University of Tokyo

40

東京大学大学院情報学環

2024 No. **40**

東京大学大学院情報学環

東京大学大学院情報学環

情報学研究 調査研究編

Research Survey Reports in
Information Studies

Interfaculty Initiative in Information Studies
The University of Tokyo

2024 No. **40**

東京大学大学院情報学環

東京大学大学院情報学環 情報学研究 調査研究編

Research Survey Reports in Information Studies
The University of Tokyo

No.40 目 次 (Contents)

教員研究論文

日本における婦人相談員の専門性と労働状況の課題
—2022年全国婦人相談員実態調査—

〔小川真理子、川面 充子〕…………… 1
〔須賀 朋子〕

地震動予測地図における確率表現のリスク認知—全国意識調査をもとに

〔齋藤さやか、安本 真也〕…………… 51
〔関谷 直也〕

日本における婦人相談員の専門性と労働状況の課題

—2022 年全国婦人相談員実態調査—

The Current Situations and Issues of Professionalism and Working conditions of Women's Consultants in the Public Sector in Japan: A Nationwide Survey of Public Women's Consultants in 2022

小川真理子 Mariko OGAWA 川面充子 Mitsuko KAWAZURA 須賀朋子 Tomoko SUGA

目 次

1. はじめに
 - 1.1 婦人相談員を取り巻く状況と法的な位置づけ
 - 1.2 婦人相談員の配置状況
 - 1.3 婦人相談員に関する先行研究
 - 1.4 調査概要
2. 婦人相談員の属性
 - 2.1 勤務機関
 - 2.2 年齢
 - 2.3 性別
 - 2.4 専任/兼任、常勤/非常勤の別
 - 2.5 兼務している職種
 - 2.5 公的資格
 - 2.6 婦人相談員になったきっかけ
3. 婦人相談員の雇用状況
 - 3.1 職場における婦人相談員の数
 - 3.2 婦人相談員としての勤続年数
 - 3.3 現在の勤務先での勤続年数
 - 3.4 非常勤職員の雇用契約年数
 - 3.5 非常勤職員の更新契約制限及び回数
 - 3.6 非常勤職員の勤務時間
 - 3.7 非常勤職員の勤務先への雇用条件の希望
4. 婦人相談員の労働状況
 - 4.1 過去3ヵ月分の平均労働時間と日数（月間）
 - 4.2 2021年度の報酬（総支給額）の平均
 - 4.3 手当、賞与、退職金

- 4.4 定年と望ましい雇用形態
- 5. 婦人相談員の業務のやりがい、困難
 - 5.1 婦人相談員の現在の業務内容と本来担当すべき業務
 - 5.2 業務のやりがいと満足度
 - 5.3 業務上の困難、心身への影響
- 6. 婦人相談員のスキルと研修
 - 6.1 新任研修の期間と時間
 - 6.2 各種研修の受講状況
 - 6.3 仕事を教わった相手
 - 6.4 研修への参加機会と必要な研修について
- 7. KH Corder 3 を使ったテキストマイニング分析
 - 7.1 自由記述回答による頻出語
 - 7.2 自由記述回答による頻出後の共起ネットワーク
 - 7.3 自由記述回答による頻出語の対応分析
- 8. 婦人相談員を取り巻く課題と今後の方向性

引用・参考文献

補足資料 単純集計

キーワード

婦人相談員、日本における公的相談支援、専門性、労働状況、婦人保護事業、売春防止法
ジェンダー

執筆分担

小川 真理子	東京大学大学院情報学環 特任准教授	1 章～6 章、8 章
川面 充子	宇都宮大学ダイバーシティ研究環境推進本部 特任助教	2 章～6 章、7 章
須賀 朋子	酪農学園大学農食環境学群 教授	2 章～5 章、8 章

本稿は、日本学術振興会科学研究費補助金基盤(B)「婦人相談員の専門性と公的相談支援の労働問題に関する研究」(課題番号 21H03728)の助成を受けた成果の一部である。

1. はじめに

本稿は、2022年度に実施した、初の全国婦人相談員調査の結果をとりまとめたものである。公共部門の相談支援の最前線にいる全国の婦人相談員を対象に、その専門性や労働条件について現状と課題を明らかにするために質問紙調査を実施した。婦人保護事業の三機関（婦人相談所、婦人相談員、婦人保護施設）の一つである婦人相談員に関しては、これまで深く議論されることはなかった。これは婦人相談員が日本の特殊性のもと少数者の問題として等閑視されてきたことに起因している。本稿では、質問紙調査の結果を基に婦人相談員の各自自治体での位置づけや役割、業務内容、労働状況、研修受講、困難等の全体の傾向を把握し課題などを抽出する。

1.1 婦人相談員を取り巻く状況と法的な位置づけ

1956年に制定された売春防止法に設置根拠のある婦人保護事業は、この間70年にわたる社会経済状況の変化の中、その役割や責務が急激に変化してきた。2001年の「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」¹（以下、「DV防止法」と記す）制定では、新たにDV被害者が婦人保護事業の対象になり、その後、人身取引対策行動計画（2004年）、改正ストーカー行為規制法（2016年）が法的根拠となり、人身取引、ストーカー、また、性暴力の被害者等が支援の対象になり範囲が拡大されている。婦人保護事業は、売春防止法上において、婦人相談所（34条）、婦人相談員（35条）、婦人保護施設（36条）の3つの実施機関から構成されている。国による直接・包括的な女性支援事業を担う唯一の福祉事業であるが、単独事業であり、その財政基盤は圧倒的に脆弱である。また、婦人保護事業は特別刑法である売春防止法を法的根拠としているために、福祉法には含まれていない。

売春防止法第4章の「保護更生」は、「性行又は環境に照らして売春を行うおそれのある女子（以下、「要保護女子」と記す）」を対象としており、特別刑法の中に「保護更生」が混在するという捻じれた構造がある。婦人保護事業の一機関である婦人相談員は、要保護女子の発見、相談、指導を行うことが規定されているが（35条）、相談支援の際に制度や運用の面で困難に直面してきた。売春防止法の法目的が「要保護女子の保護更生」であることから、婦人保護事業の理念は「保護」や「更生」にとどまり、支援の理念や目的などが明確になっていないこと、また、専門職としての婦人相談員業務の社会的役割等が法律に明記されていないことも困難の原因と考えられる。さらに、これまで婦人相談員に対する全体的な調査が国や研究者などによっても行われておらず、基礎データさえもないことから、婦人相談員の実態や課題の抽出、分析が難しいことが指摘されている（戒能, 2021）。

¹ 2013年に「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」に改称。

そのような中、2022年5月、多様化する女性の支援ニーズについて婦人保護事業の対応には限界があるとして、新たな女性支援の枠組みが構築され、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」（以下、「困難女性支援法」と記す。2024年に施行予定）が制定された。しかしながら、婦人相談員の位置づけは、売春防止法制定当初から非正規のままである。2017年の売春防止法改正により婦人相談員の「非常勤」規定（35条4項）は削除されたものの、今も常勤化はしていない（約7割が非正規）。婦人相談員の専門性及び労働条件は長く見過ごされてきた。福祉国家化に伴う社会福祉のパラダイム転換が起こる中、婦人保護事業はその潮流に取り残されてきたといえる。緊縮財政及びコロナ禍における公的ケアの縮減が急速に進む中、公的相談支援における非正規労働問題は、サービスの利用者である一般市民にどのような影響をもたらすのか。婦人相談員の労働状況などについて実態調査から明らかにする。

1.2 婦人相談員の配置状況

婦人相談員は、売春防止法により都道府県（義務設置）および市（任意設置）と規定されている（35条）。婦人相談員は全国で1,579人配置されており、47都道府県の配置数は446人、市区配置数は1,113人で全体の約7割を占めている（2022年4月1日現在）。しかし、市区の設置率は5割をわずかに超えている程度である。

都道府県及び市区を合わせて最も多く婦人相談員が配置されているのは、東京都（246人）、次いで神奈川県（119人）、福岡県（97人）であり、最も少ないのは、大分県（5人）、奈良県及び高知県（6人）である。市区で最も多く配置されているのは、東京都（216人）、神奈川県（98人）、福岡県（70人）であり、いずれも市区設置の方が都道府県設置を上回っている。市区で最も少ないのは、高知県（0人）、秋田県、奈良県、和歌山県、大分県（各県2人）であり、いずれにおいても都道府県配置の婦人相談員も少ない状況である。市区数に対する婦人相談員の配置率であるが、都道府県の約6割は50%以下である。他方、9都道府県（岩手県、山形県、栃木県、東京都、三重県、鳥取県、香川県、長崎県、沖縄県）の市区の配置率は100%となっているが、配置人数別にみると、大都市圏と地方都市圏で格差がある（表1.2.1）。

常勤・非常勤別では、婦人相談員総数の1,579人のうち273人（17.3%）が常勤である。都道府県で常勤の婦人相談員が配置されているのは、福岡県、和歌山県、東京都、京都府、奈良県、新潟県である。市区では、東京都、福岡県、兵庫県等であり、特定の都道府県に偏っている（厚生労働省, 2023）。

表 1.2.1. 婦人相談員数と配置状況

令和4年4月1日

	都道府県	都道府県知事 による委嘱	市長による委嘱	計	市区数 (A)	婦人相談員 配置市区数(B)	配置率 (B/A%)
1	北海道	4	39	43	35	12	34.3%
2	青森	8	8	16	10	5	50.0%
3	岩手	2	22	24	14	14	100.0%
4	宮城	9	30	39	14	4	28.6%
5	秋田	8	2	10	13	1	7.7%
6	山形	9	15	24	13	13	100.0%
7	福島	16	9	25	13	5	38.5%
8	茨城	13	7	20	32	4	12.5%
9	栃木	12	38	50	14	14	100.0%
10	群馬	7	11	18	12	5	41.7%
11	埼玉	16	56	72	40	16	40.0%
12	千葉	34	48	82	37	14	37.8%
13	東京	30	216	246	49	49	100.0%
14	神奈川	21	98	119	19	18	94.7%
15	新潟	5	17	22	20	6	30.0%
16	富山	4	8	12	10	4	40.0%
17	石川	3	11	14	11	5	45.5%
18	福井	4	6	10	9	5	55.6%
19	山梨	3	5	8	13	2	15.4%
20	長野	12	24	36	19	18	94.7%
21	岐阜	4	13	17	21	9	42.9%
22	静岡	5	27	32	23	17	73.9%
23	愛知	26	47	73	38	9	23.7%
24	三重	8	18	26	14	14	100.0%
25	滋賀	4	8	12	13	7	53.8%
26	京都	19	7	26	15	4	26.7%
27	大阪	15	35	50	33	13	39.4%
28	兵庫	5	54	59	29	19	65.5%
29	奈良	4	2	6	12	1	8.3%
30	和歌山	16	2	18	9	1	11.1%
31	鳥取	1	7	8	4	4	100.0%
32	島根	10	6	16	8	2	25.0%
33	岡山	15	23	38	15	4	26.7%
34	広島	8	16	24	14	10	71.4%
35	山口	6	11	17	13	10	76.9%
36	徳島	7	5	12	8	4	50.0%
37	香川	4	15	19	8	8	100.0%
38	愛媛	4	9	13	11	6	54.5%
39	高知	6	0	6	11	0	0.0%
40	福岡	27	70	97	29	11	37.9%
41	佐賀	3	7	10	10	5	50.0%
42	長崎	3	8	11	13	4	30.8%
43	熊本	2	17	19	14	14	100.0%
44	大分	3	2	5	14	1	7.1%
45	宮崎	5	12	17	9	4	44.4%
46	鹿児島	4	19	23	19	8	42.1%
47	沖縄	12	23	35	11	11	100.0%
	合計	446	1133	1579	815	414	50.8%

出典:「厚生労働省婦人相談員の概要」<https://www.mhlw.go.jp/content/001082317.pdf>より筆者ら作成

1.3 婦人相談員に関する先行研究

婦人相談員に関する調査研究は少ないが、婦人相談員独自の調査として全国婦人相談連絡協議会（以下、「全婦相」と略す）等による調査がある（全婦相、1999;吉浜美恵子編、

2001;全婦相,2008)。これらの調査では婦人相談員が感じるやりの大きさや責任と反比例をなす報酬の低さ等、現在に続く課題が指摘され、研修の必要性を提言している。

DV 防止法施行後には、DV との関連での調査研究が見られるようになった。国が初めて調査を行った DV 相談を行う相談員の調査（2004）では、婦人相談員は、DV センターの相談員のカテゴリーで把握されていると捉えられる。調査結果から DV 相談支援業務に負担を感じる相談員は 9 割以上を占め、その理由として DV 被害者が DV 以外の複合的な問題を抱えている場合の支援の難しさ等を挙げている。相談支援の対応力向上のための研修の受講を強く望んでいた（内閣府男女共同参画局,2004）。また婦人相談員は女性が抱える種々の生活問題を受け止め、支援する立場でありつつも、その重要性がほとんど知られず、理解されていないという指摘もある（堀,2008）。

国の取り組みとしては、厚生労働省の平成 26 年度先駆的ケア策定・検証調査事業「婦人相談員相談・支援指針」（2015）、及び、厚生労働省が行った「婦人保護事業等における支援実態等に関する調査研究」（2017）等の他、通知による運用改善、ガイドライン策定等一定程度前進しているが、いずれも支援論が中心で婦人相談員の処遇は論じていない。しかし、これらが総じて婦人相談員の専門性を高める研修の必要性を指摘していることは看過できない重要な視点である。

婦人相談員が、雇い止め等により専門性の確立や相談の継続性に支障をきたしていることに言及し、常勤化を求める指摘（安部,2016）や、婦人相談員が個々のネットワークや専門性を駆使して相談支援を行っているものの、研修機会の少なさや不安定な雇用形態により、業務が過重な負担となり、処遇改善と専門性の確保の必要性を論じた研究（小川,小口,柴田,2020）、また、婦人相談員の置かれている環境、業務の検証等の早急な見直しと、高度の専門性を有する専門職としてふさわしくない雇用条件が固定化されていることに警鐘を鳴らす研究（戒能,堀,2021）等がある。いずれも婦人相談員の専門性、労働等について言及しているが、婦人相談員全体の傾向や実態を把握していない。そこで本調査を実施し婦人相談員の現状と課題を明らかにする。

1.4 調査概要

本質問紙調査の概要は以下の通りである。

調査期間：2022 年 8 月 1 日～2022 年 9 月 9 日

調査対象：全国の婦人相談員

調査方法：配布式（郵送、WEB、メール）

調査票配布先：279 都道府県の主管課（福祉管轄、総務管轄）

市区（都道府県の主管課を通して配布）

調査票配布数：1500 件

調査票回収数：586 件（内訳：郵送 405 件、WEB 176 件、メール 5 件）

回収率：39%

なお、本調査研究は、宇都宮大学「ヒトを対象とする研究倫理審査委員会」（登録番号 H21-0043）の審査承認の許可を得て実施している。また本調査は、無記名で実施しているため回答者の個人情報には得ていないが、研究倫理に則り個人が特定されないことがないよう配慮をしている。

2. 婦人相談員の属性

ここからは、質問紙調査結果を基に、婦人相談員の勤務先等の基本属性についてみていく。

2.1 勤務機関

婦人相談員の勤務先は、市区の福祉事務所が最も多く 191 名（32.6%）、次に都道府県の婦人相談所が 113 名（19.3%）、市区の配偶者暴力相談支援センターが 75 名（12.8%）等だった。その他には都道府県の福祉事務所や市区の男女共同参画室、人権室等が含まれていた（図 2.1.1）。

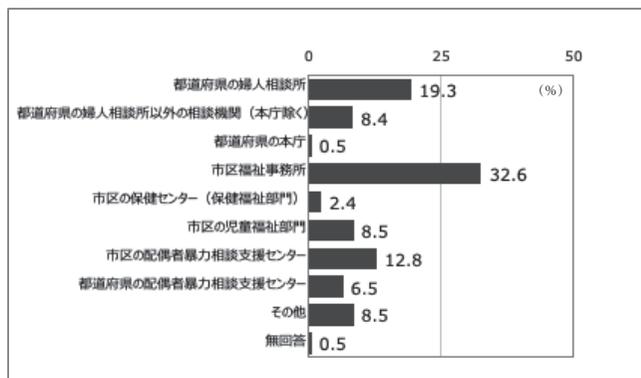


図 2.1.1. 勤務先

2.2 年齢

婦人相談員の年代は、60 歳代が最も多く 204 名、50 歳代が 197 名で合わせて約 400 人になり全体の 70%を占めている。次に 40 歳代が 119 人（20.3%）、30 代が 43 人（7.3%）、20 歳代が 12 名（2.0%）と続いた。70 歳以上も 9 名（約 1.5%）おり、全体として中高年齢層の婦人相談員が多い傾向にある（図 2.2.1）。

2.3 性別

性別は、女性が 583 名（99.5%）で圧倒的に多い一方、男性の回答者が 2 名（0.3%）いた。なお、無回答が 1 名（0.2%）であった（図 2.3.1）。

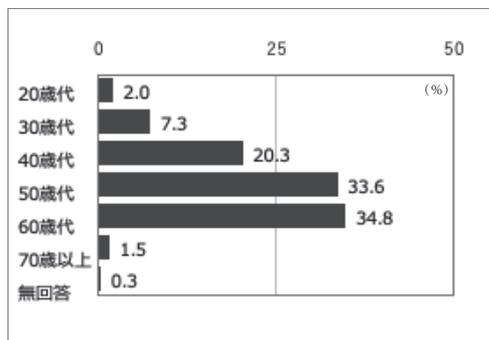


図 2.2.1. 年齢

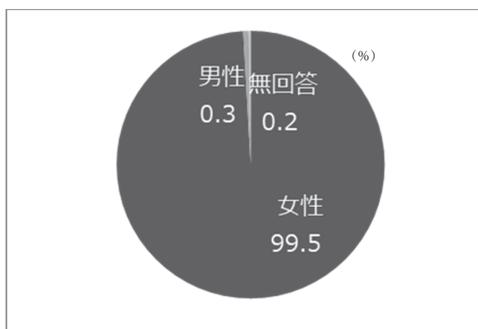


図 2.3.1. 性別

2.4 専任/兼任、常勤/非常勤の別

専任・兼任、常勤・非常勤の状況は、専任で非常勤職が最も多く 316 名（53.9%）、他の業務と兼任している非常勤職が 142 名（24.2%）と全体の約 8 割が非常勤職であり、専任の常勤職 43 人（7.3%）、兼任の常勤職 60 人（10.2%）との間に大きな差がある（図 2.4.1）。

2.5 兼務している職種

兼務している職種は、「母子・父子自立支援員」と兼務している婦人相談員が 152 名で 7 割を超えている。「事務」（30 人、14.9%）、「面接相談員^(※)」（19 人、9.4%）、「子育て支援・虐待対応」（16 人、7.9%）、「生活面談相談員」（13 名、6.4%）などが続く。その他では、「家庭相談員」、「生活指導員」などを兼務している。自治体によって呼称は異なるものの、婦人相談員が兼務する職としては、相談職や生活面、家庭面の支援を行う職種が多い傾向にあるといえる（図 2.5.1）。

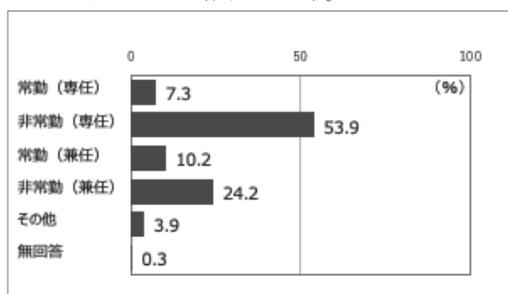


図 2.4.1. 雇用形態（常勤・非常勤）

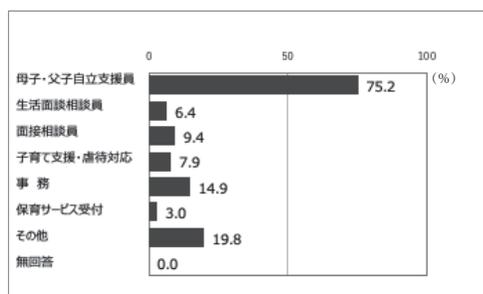


図 2.5.1. 兼務している職種

2.6 公的資格

婦人相談員が保有している公的資格は、「社会福祉士」（137 名、23.4%）、「社会福祉士専事」（135 名、23.0%）、「教員免許」（130 人、22.2%）がそれぞれ約 2 割と多い。続いて「保育士」（98 名、16.7%）、「ホームヘルパー」（58 名、9.9%）、「精神保健福祉士」（58

人、9.9%)、「公認心理師」(54名、9.2%)、「産業カウンセラー」(51名、8.7%)ほか心理職、医療職、福祉職、カウンセラーなど様々な公的資格を保有している(図2.6.1)。

婦人相談員が業務を行う上で役に立った、または、役に立つと思う公的資格について「社会福祉士」(327名、56%)、次いで「精神保健福祉士」(269名、46%)が多い。「臨床心理士」(161人、27.5%)、「公認心理師」(156人、26.6%)、「保健師」(106人、18%)と続いています。以上の通り、実際に保有している公的資格と役立つ、役に立つと思う資格として、「社会福祉士」がいずれにおいても最も多い。

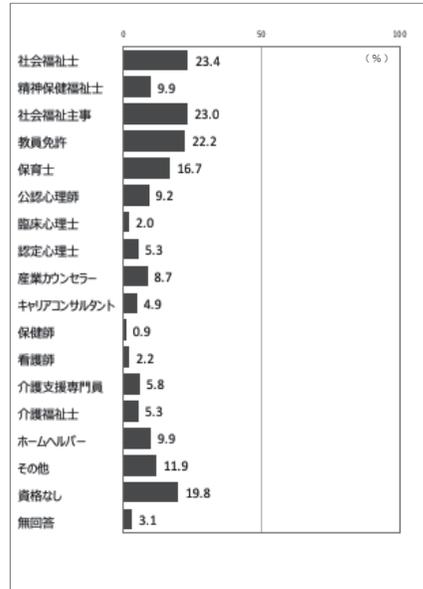


図 2.6.1. 保有している公的資格

2.7 婦人相談員になったきっかけ

婦人相談員になったきっかけは、「ハローワークなどで募集があった」(153名、26.1%)、「知人や前任者等に勧められた」(149名、25.4%)となっており、この二つで約半数を占めている。一方「以前の仕事の知見を活かしたいと考えた」(119名、20.3%)「相談の仕事をやってみたかった」(105名、17.9%)、「婦人相談員の仕事にもともと関心があった」(99人、16.9%)など相談業務への興味や意欲に関するきっかけも半数近くあった。その他の回答では、「母子自立支援員(専任)だったが、上司から兼務やってくれないかと言われた」や「ひとり親家庭支援業務への再就職に婦人相談員の兼務が指定されていた」などの回答もみられた(図2.7.1)。

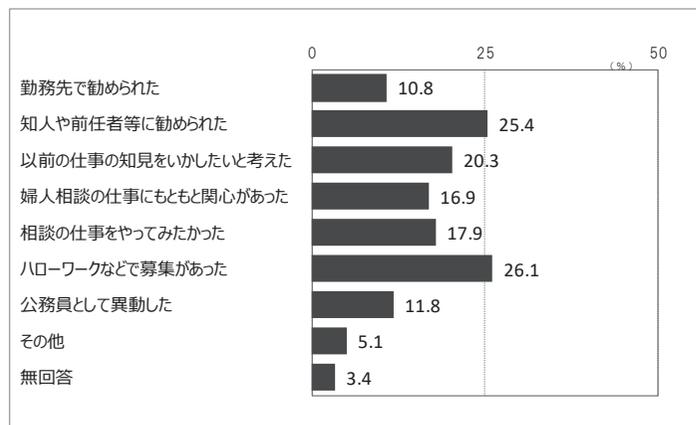


図 2.7.1. 婦人相談員になったきっかけ

3. 婦人相談員の雇用状況

本章では、婦人相談員の雇用状況についてみていく。

3.1 職場における婦人相談員の数

勤務先の職場における自分以外の婦人相談員の数は、1人が176人(30.0%)、0人が133人(22.7%)、2人が96人(16.4%)であり、7割近くが0から2人という少人数の体制である。

3.2 婦人相談員としての勤続年数

婦人相談員としての通算勤務年数は、平均5.8年である。最短1年未満から最長26年であり、内訳は、「6年～10年未満」(105名、17.9%)が最も多く、「4～6年未満」(100人、17.1%)、「2～4年未満」(92名、15.7%)と続き、2年～10年未満が全体の約5割を占めている(図3.2.1)。

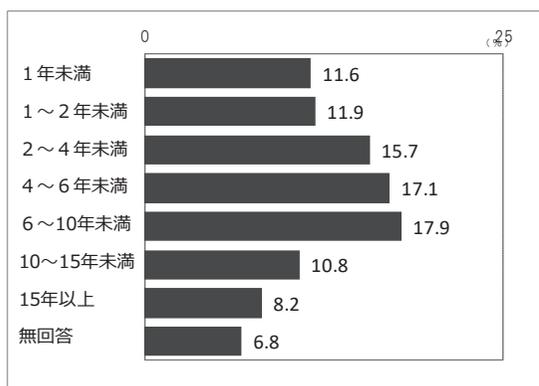


図 3.2.1. 婦人相談員としての勤続年数

3.3 現在の勤務先での勤続年数

現在の勤務先での勤務年数は、平均が6年、1年未満が最小の勤続年数、40年が最長の勤続年数になった。「6年～10年未満」(100名、17.1%)が最も多く、「2年～4年未満」(97人、16.6%)、「4年～6年未満」(95名、16.2%)で2年～10年未満が全体の約5割を占めている。婦人相談員以外の相談援助業務としての勤務年数は、「婦人相談員以外の業務は経験していない」(165人、28.2%)が約3割で他と比べて割合が多い。

3.4 非常勤職員の雇用契約年数

先述の通り、婦人相談員の約8割が非常勤職員であることから、ここでは非常勤の雇用状況に焦点をあててみていく。非常勤職の婦人相談員の雇用契約年数の定めについては、

約 9 割が雇用契約年数の定めのある非常勤職員（415 名）であり、雇用契約の平均年数は 1.7 年、最短 1 年から最長 11 年で、1 年ごとの雇用契約年数が約 8 割となっている（図 3.4.1）。

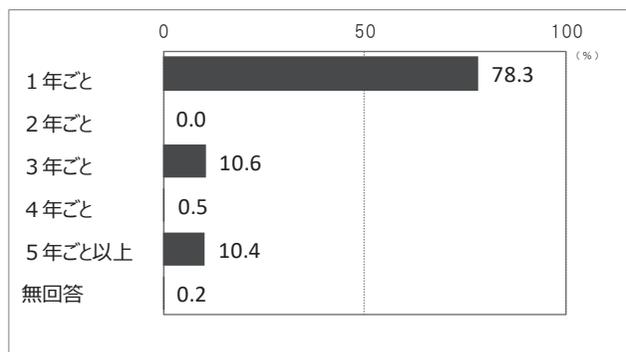


図 3.4.1. 非常勤職員の雇用契約年数

3.5 非常勤職員の更新契約制限及び回数

非常勤の婦人相談員の雇用更新回数は、「更新契約回数の制限はない」（296 人、64.6％）は全体の約 6 割を占め、「更新契約回数の制限がある」（130 人、28.4％）は約 3 割である。更新契約回数の制限は、平均 3.8 回、最小では 1 回から最大 10 回まで幅がある。更新回数は、4 回（41 名、31.5％）が約 3 割と多く、次いで、5 回（32 名、24.6％）、3 回（24 人、18.5％）と続く（図 3.5.2）。

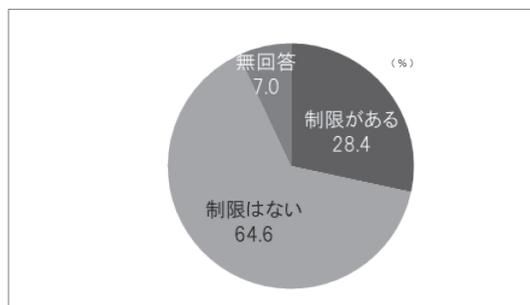


図 3.5.1. 非常勤職員の更新契約制限

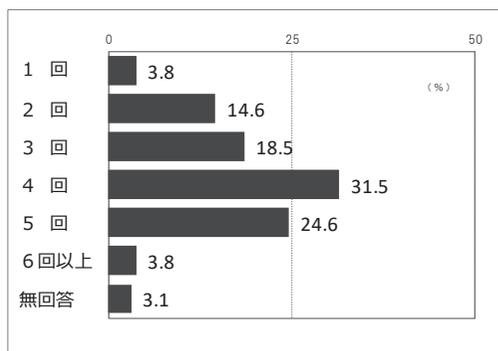


図 3.5.2. 非常勤職員の更新契約回数

3.6 非常勤職員の勤務時間

非常勤の婦人相談員に勤務状況を聞きいたところ、月間勤務時間は、「101 時間～125 時間」（182 名、39.7％）であり全体の約 4 割となっている。

3.7 非常勤職員の勤務先への雇用条件の希望

非常勤の婦人相談員には、勤務先への雇用条件の希望が「出せない」(219名、47.8%)で約5割となっている。「わからない」(144名、31.4%)の割合も多く、「出せる」(59人、12.9%)の2倍になっている。その理由として、「課長に面接で話せるが、その後どうなっているか不明」、「出せると思うが通らないと思う、考えてもらえない」、「出せないわけではないが、明確に出せるシステムがあるわけではない」などシステム上の問題や自分の希望について声をあげることが難しく、声をあげても希望は通らないだろうと考えている様子が浮かび上がる。一方、「給与や勤務時間は固定だが、勤務地の相談は可能」、「非常勤の組合があるので、声を上げることは可」という回答もあった。

4. 婦人相談員の労働状況

本章では、婦人相談員の労働状況について、勤務日数、勤務時間、報酬などについてみていく。

4.1 過去3ヵ月分の平均労働時間と日数(月間)

婦人相談員の過去3ヵ月分の平均労働時間は、110時間/月で、最大では288時間/月である。「101時間～125時間」(199名、34.0%)が最も多く約3割、次いで「126時間～150時間」(103人、17.6%)、「1～50時間」(87人、14.8%)と幅がある。

婦人相談員の過去3ヵ月分の平均労働日数は、17.5日/月、最長で29日/月、最小で2日/月である。「20日」(139名、23.7%)が最も多く、次いで「16日」(128名、21.8%)、「17～19日」(104名、17.7%)である(図4.1.1)。

4.2 2021年度の報酬(総支給額)の平均

令和3年(2021年)の婦人相談員の報酬(総支給額)は、「16万円未満」(177人、30.2%)が約3割と多く、次いで「16万～18万未満」(103名、17.6%)、「18万～20万円未満」(13.8%)と20万円未満が全体の約6割を占めている(図4.2.1)。婦人相談員の約5割強が「業務に見合った報酬を受けていない」(324名、55%)と回答している。その理由として、「会計年度職員としては責任が重く、また危険と隣り合わせの仕事に対する報酬としては低い」、「思わないに近いが、『市の規定で報酬が決まっている。』と言われる為、国で婦人相談員活動強化事業[拡充]などがあるが、全く反映されない」。パートレベルで意見できるような話ではない。他方、まだ婦人相談員になって日の浅い場合には「報酬の平均がわからない」などの回答があった。

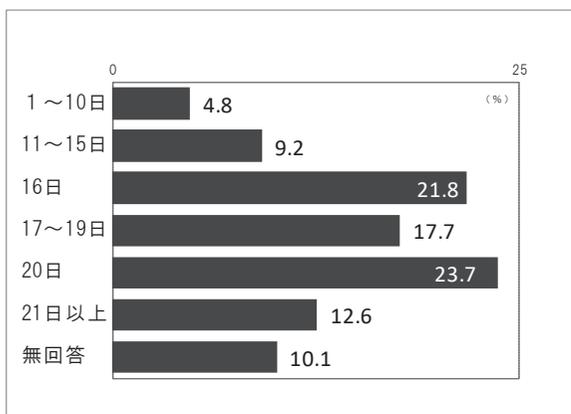


図 4.1.1. 非常勤職員の平均労働日数

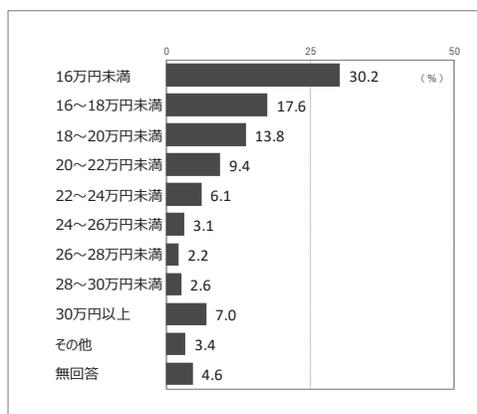


図 4.2.1. 2021年度報酬(総支給額)の平均

(%)

4.3 手当、賞与、退職金

手当等の支給においては、全額支給されている手当は、通勤手当が約7割(392名、66.9%)、超過勤務手当が約5割(315名、53.8%)、出張旅費が約7割(424名、72.4%)である。一方、特別勤務手当は約6割が支給されていない(332名、56.7%)という回答結果であった(図4.3.1)。特別勤務手当について「一時保護者がいた場合加算」されるという回答のある一方で、「加害者が窓口へ押しかけてくる事も多々あるが危険であることに対する手当は対象外と言われている」という回答もあった。賞与の支給は、「支給あり」(430人、73.4%)が全体の約7割を占め、そのうち「基本給の1ヵ月分」が約4割(240人、41.0%)を占めている。他方、退職金の支給は約8割の婦人相談員が「支給なし」(472名、80.5%)と回答している。

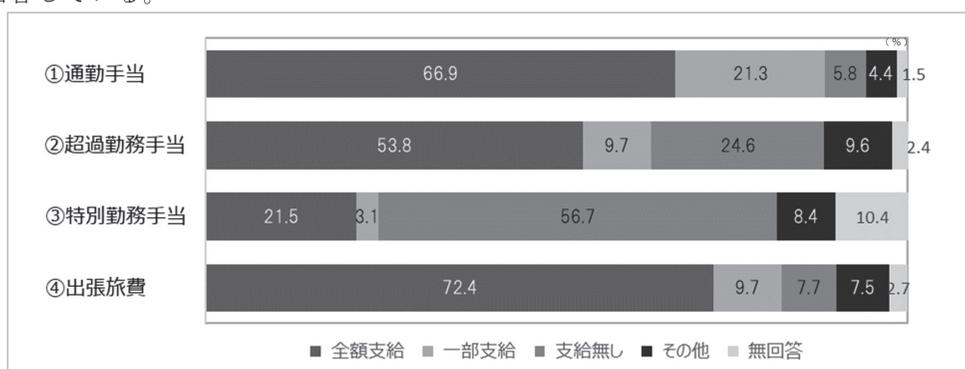


図 4.3.1. 手当等の支給

4.4 定年と望ましい雇用形態

定年について、婦人相談員の約7割が「定年なし」(398名、67.9%)と回答している。「定年がある」(126人、21.5%)と回答した婦人相談員の定年の際の平均年齢は63歳である。最長では70歳、最小では60歳であった。定年の際の年齢は、「60歳」(51名、40.5%)が最も多く、次に「65歳」(49名、38.9%)をあわせて約4割となっている。婦人相談員に望ましいと思う雇用形態は、約6割が「正規雇用が望ましい」(379名、64.7%)、約2割が「非正規雇用が望ましい」(102名、17.4%)と回答している。その他の回答では、「正規か非正規かというより、相談援助に精通していることが大切である。また、処遇的に非正規では厳しく、他機関の女性相談員が軒並退職しているのが現状」とう意見のほか、「正規雇用、非正規雇用混合が望ましい」、「雇用形態はどのような形でもいいと思う」、「選べる」とよいなど雇用形態について様々な捉え方があった。

5. 婦人相談員の業務のやりがい、困難

5.1 現在の業務と婦人相談員が本来担当すべき業務

婦人相談員の現在の担当業務は、「電話相談」（576名、98.3%）「来所相談」（555名、94.7%）などの相談業務と「ケースの記録」（536名、91.5%）がそれぞれ9割を超えており、次いで「関係機関との連絡調整」（491名、83.8%）が8割を超えている。続いて「住民基本台帳支援措置の手続き支援」（453名、77.3%）、「証明書の発行支援」（439名、74.9%）、他に同行支援、保護命令申し立て支援、一時保護所への入所調整、自立支援など多岐にわたっている。その他の回答では、一時保護の場合、市町村のケースワークはなく、関係機関への調整をはじめ、すべて都道府県の婦人相談所の相談員が行っているケースもあった。また、「学校等への出前講座・啓発活動」、「女性保護施設や母子生活支援施設入所者の法的な手続きのための同行（家庭裁判所、地方裁判所、検察庁、法律事務所等）」、「弁護士への相談支援、警察への相談支援、諸調停の申し立ての支援」、「統計、事務補助」など複数の業務に従事していることが明らかになった（図5.1.1）。

他方、婦人相談員が本来担当すべき業務について聞いたところ、「電話相談」（556名、94.9%）、「来所相談」（560名、95.6%）が9割を超え、「ケースの記録」（483名、82.4%）、「関係機関との連絡調整」（465名、79.4%）が8割前後になっており、現在の担当業務と同様の傾向がみられる。その他の回答では、「広域連携、統計、要対協議会参加、ケース会議の設定、DV防止連絡協議会の企画立案、相談の広報啓発」、「女性相談所職員や市町村職員または保健師、あるいは専門の職員が対応した方が、相談者にとっていいのではないかと考える」、「女性相談の現場に携わる職員にも女性相談を知ってもらい理解してもらおう」

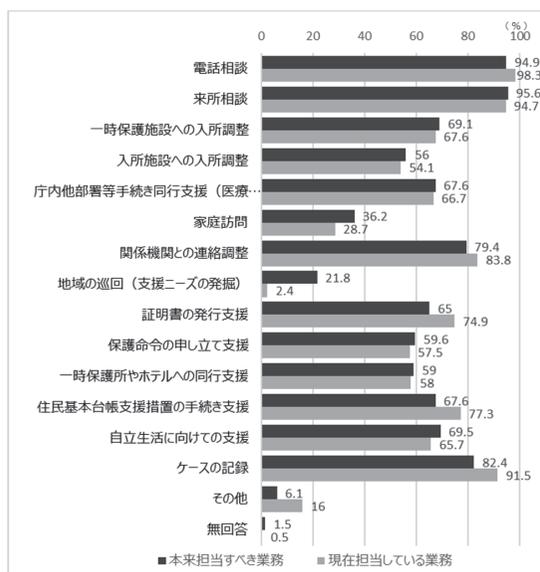


図 5.1.1. 現在担当している業務と本来担当すべき業務

など現状を踏まえて提案している婦人相談員が複数いた（図 5.1.1）。

5.2 業務のやりがいと満足度

婦人相談員に業務のやりがいについて聞いたところ、「ある程度やりがいを感じている」（366名、62.5%）、「とてもやりがいを感じている」（152名、25.9%）を合わせて、約9割がやりがいを感じている（図 5.2.1）。婦人相談員の業務の満足度について聞いたところ、「やや満足している」（365名、62.3%）、「とても満足している」（95名、16.2%）を合わせて約8割近くが満足していると回答している（図 5.2.2）。

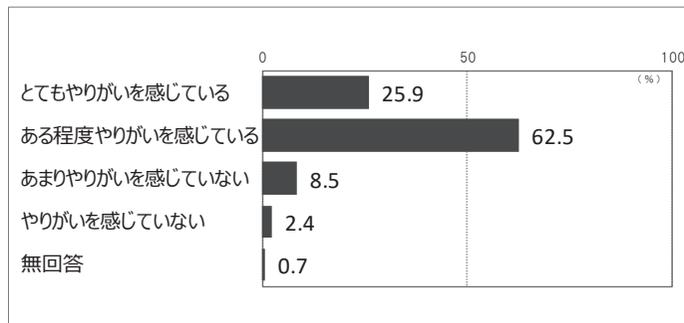


図 5.2.1. 業務のやりがい

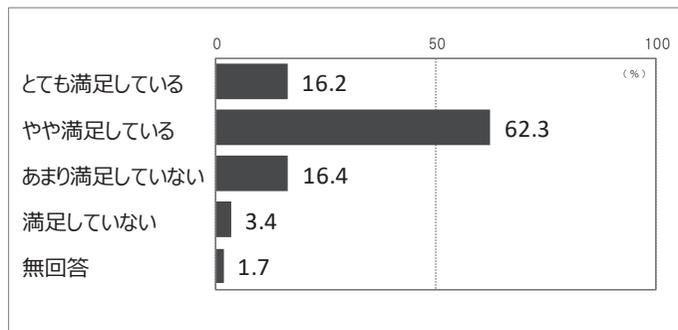


図 5.2.2. 業務の満足度

5.3 業務上の困難、心身への影響

婦人相談員の業務を行う際に困難を感じることにについて4件法で聞いたところ、「社会資源の不足（施設等）を感じる」（3.37）が最も多く、次に「支援のための制度の不足・不備を感じる」（3.26）、「被害者の重篤な相談への心理的負担」（3.09）、「加害者への対応が難しい」（2.98）と続いています。また、「関係機関との連携が難しい」（2.84）、「スーパーバイズを受ける機会が少ない」（2.84）が同列であった。業務量が多い、過重な責任、婦人相談員の業務が職場に理解されていない、支援に必要な権限を与えられていない（2.7～

2.5) など婦人相談員の業務について様々な困難と課題が明確になった（図 5.3.1）。婦人相談員の業務の影響による心身の不調について聞いたところ、「たまにある」（251 名、42.8%）、「よくある」（46 名、7.8%）を合わせると約 5 割が心身の不調があると回答しています。他方、「あまりない」（221 名、37.7%）、「全く無い」（54 名、9.2%）も 5 割弱になっている（図 5.3.2）。

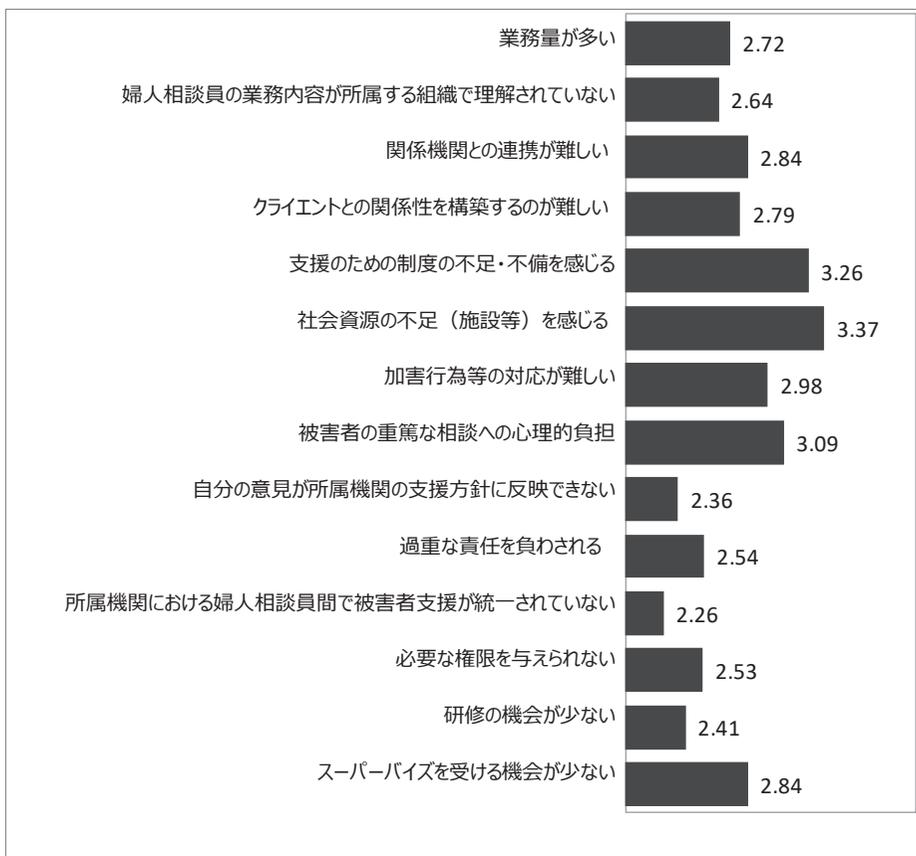


図 5.3.1. 業務を行う際に困難に感じること

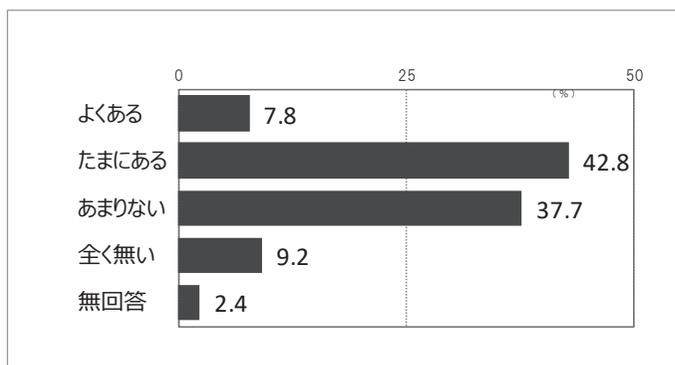


図 5.3.2. 業務の影響による心身の不調

6. 婦人相談員のスキルと研修

婦人相談員は、様々な対応を行うために幅広いスキルが必要になる。どのような研修などを受けているのかについて聞いた。

6.1 新任研修の期間と時間

婦人相談員の新任研修は、約7割が新任研修を「受けたことがある」(431名、73.5%)、約2割は「受けたことはない」(114名、19.5%)と回答している(図6.1.1)。新任研修を受けた期間の平均日数は3日、最短1日から最長は17日である。新人研修が「1日」は約3割(112名、29.9%)、次いで「2日」(98名、26.2%)、「3日」(20.6%、77名)になっており、約8割が短い期間の研修になっている。他方、5日～10日以上研修を受けているケースも少数だが存在する(図6.2.1)。新任研修を受けた時間は、平均13.5時間、最短1時間から最長80時間までと幅がある。「1～5時間」(79名、29.3%)が約3割で最も多く、次いで「10～19時間」(72名、26.7%)、「6～9時間」(61名、22.6%)になっている。

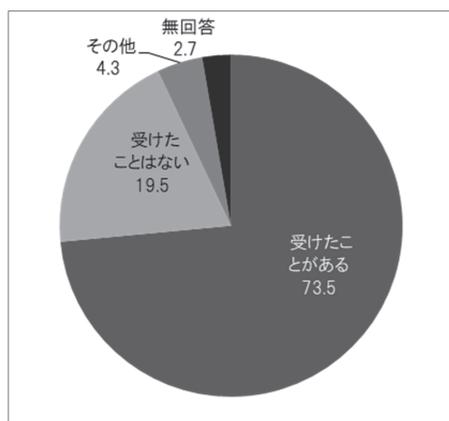


図 6.1.1. 新任研修について

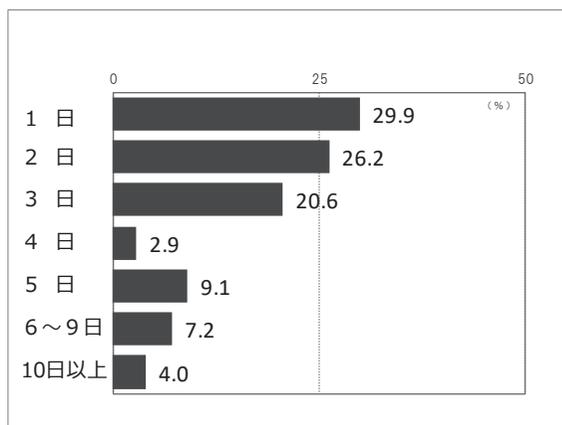


図 6.1.2. 新任研修を受けた期間

6.2 各種研修の受講状況

各種研修の受講状況について聞いたところ、「厚生労働省主催の全国研修」(211人、94.6%)、「所属機関内で計画された研修」(221人、96.1%)、「都道府県が実施する研修」(343人、97.2%)であり、いずれの研修も、「勤務時間内に公費」で受講可能な回答が9割を超えている。「その他」(118人、64.1%)の研修は約6割が「勤務時間内に公費」で受講可能であったが、約3割は「勤務時間外に自費」(60人、32.6%)、約1割が「勤務時間内に自費」(12人、6.5%)で受講をしているとの回答であった。

6.3 仕事を教わった相手

現在の職場で勤め始めた際に仕事を教わった相手は、「先輩」(402名、68.6%)が約7割、次いで「上司」(205名、35.0%)、約1割が「誰にも教わっていない」(66名、11.3%)と回答している(図6.3.1)。婦人相談員の直属の上司の職種について聞いたところ、「行政の管理職」(272名、46.4%)、次いで「行政一般職員」(134名、22.9%)を合わせて約7割が行政職であると回答している。また「福祉の管理職」(82名、14.0%)、「福祉職の一般職員」(46名、7.8%)となっており、合わせて約2割が福祉職になっている(図6.3.2)。

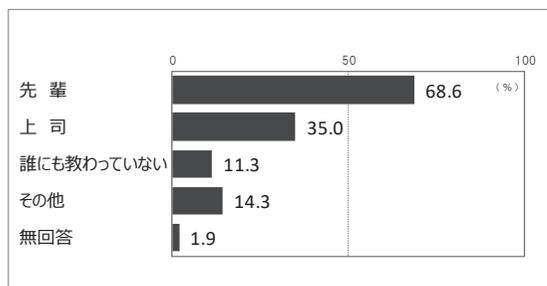


図 6.3.1. 仕事を教わった相手

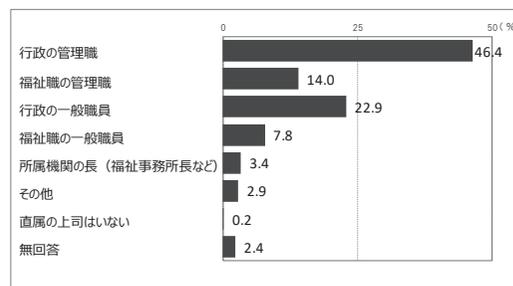


図 6.3.2. 直属の上司の職種

6.4 研修への参加機会、必要な研修について

婦人相談員の令和3年度(2021年度)の1年間の研修受講状況は約8割が「参加した」(452名、77.1%)であり、1年間の研修の受講回数は、平均回数が4.6回、最小1回から最大36回であった。約1割が「参加していない」(80名、13.7%)と回答しており、1年間に1度も研修に参加していない相談員がいることがわかった(図6.4.1)。研修の参加機会については、「予算の枠内で可能」(232名、39.6%)が約4割、「何回でも参加が可能」(160名、27.3%)が約3割、「交替制」(120名、20.5%)での参加が約2割となっている。また、経験年数に応じて業務に必要な研修が受けられていない婦人相談員は43.2%(253人)であり、経験年数に応じた研修が受けられていないことがわかった。婦人相談員の業務に必要な研修について聞いたところ、「受けられている」(277名、47.3%)が約5割、「受けられていない」(253名、43.2%)が約4割となっており、職場によって差がみられた。(図6.4.2)。不足している知識や経験を補うために婦人相談員が行っている方法は、約6割が「業務で資格取得、研修受講などを勉強する」(378名、64.5%)、次いで約5割が「上司や先輩に教わる」(314名、54%)、「スーパーバイズを受ける」(286名、49%)と回答している。その他の回答では、「実務・実践から学ぶ」「自分で探して、自費で研修を受ける」、「自己研鑽」など自主的に学ぶ姿勢がみられた。

(%)

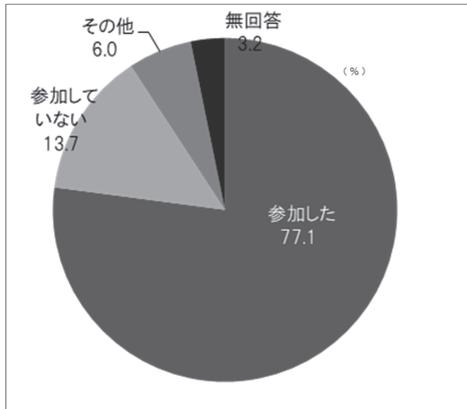


図 6.4.1. 研修への参加機会

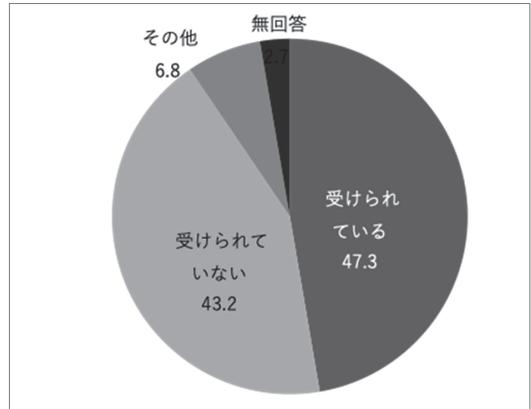


図 6.4.2. 経験年数に応じた業務に必要な研修

7. KH Corder3を使ったテキストマイニング分析

婦人相談業務について、日頃感じていることなどを自由に記入してもらった回答よりテキストマイニング分析を行った。

7.1 自由記述回答による頻出語

出現回数が上位の語「相談」「支援」「思う」「婦人」「業務」「感じる」「多い」「仕事」「必要」「女性」となり、相談業務量の多さや相談業務の必要性の記述がされていると考えられる。次に「職員」「対応」「人」「経験」「研修」「問題」「DV」「機関」「理解」「被害」「知識」となり、相談対応に経験、知識や研修を要し、機関の職員にも求められていると考えられる(表 7.1.1)。

表 7.1.1. 自由記述頻出語

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
相談	874	変わる	37	出来る	21
支援	313	行政	35	所属	21
思う	308	自立	35	働く	21
婦人	274	制度	35	入所	21
業務	251	行う	33	機会	20
感じる	232	自身	33	責任	20
多い	144	加害	32	スキル	19
仕事	142	国	32	資源	19
必要	140	抱える	31	事務	19
女性	136	児童	30	知る	19
職員	123	持つ	30	異動	18
対応	117	職場	30	子ども	18
人	88	非常勤	30	状態	18
経験	82	不安	30	大変	18
研修	80	負担	30	長い	18
問題	80	情報	29	年数	18
DV	79	本人	29	聞く	18
機関	73	自治体	28	様々	18
理解	73	大きい	28	離婚	18
被害	69	日々	28	話	18
知識	68	虐待	27	学ぶ	17
専門	63	増える	27	関わる	17
内容	63	担当	27	寄り添う	17
受ける	62	良い	27	困る	17
関係	60	DV	26	前	17
ケース	56	環境	26	続ける	17
難しい	56	得る	26	体制	17
資格	55	母子	26	任用	17
自分	54	求める	25	法律	17
保護	54	待遇	25	安心	16
考える	50	低い	25	安全	16
福祉	50	給料	24	共有	16
場合	49	個人	24	現在	16
時間	48	施設	24	生きる	16
雇用	47	心理	24	組織	16
社会	46	立場	24	賃金	16
精神	46	危険	23	特に	16
連携	45	給与	23	認識	16
上司	42	県	23	避難	16
生活	42	採用	23	不安定	16
少ない	41	大切	23	幅広い	16
年度	41	センター	22	暴力	16
会計	39	解決	22	来る	16
困難	39	高い	22	継続	15
市	39	違う	21	兼務	15
正規	39	一時	21	今	15
状況	38	家庭	21	自己	15
他	38	改善	21	実際	15
電話	38	言う	21	出る	15
勤務	37	重要	21	障害	15

7.2 自由記述回答による頻出後の共起ネットワーク

共起ネットワークから、頻出後は8グループにまとめられた。頻出語の数に応じて円の大小を表し、また線の太さに応じて共起関係の強さを表している。最も大きなグループは、出現パターン1である(図 7.2.1)。

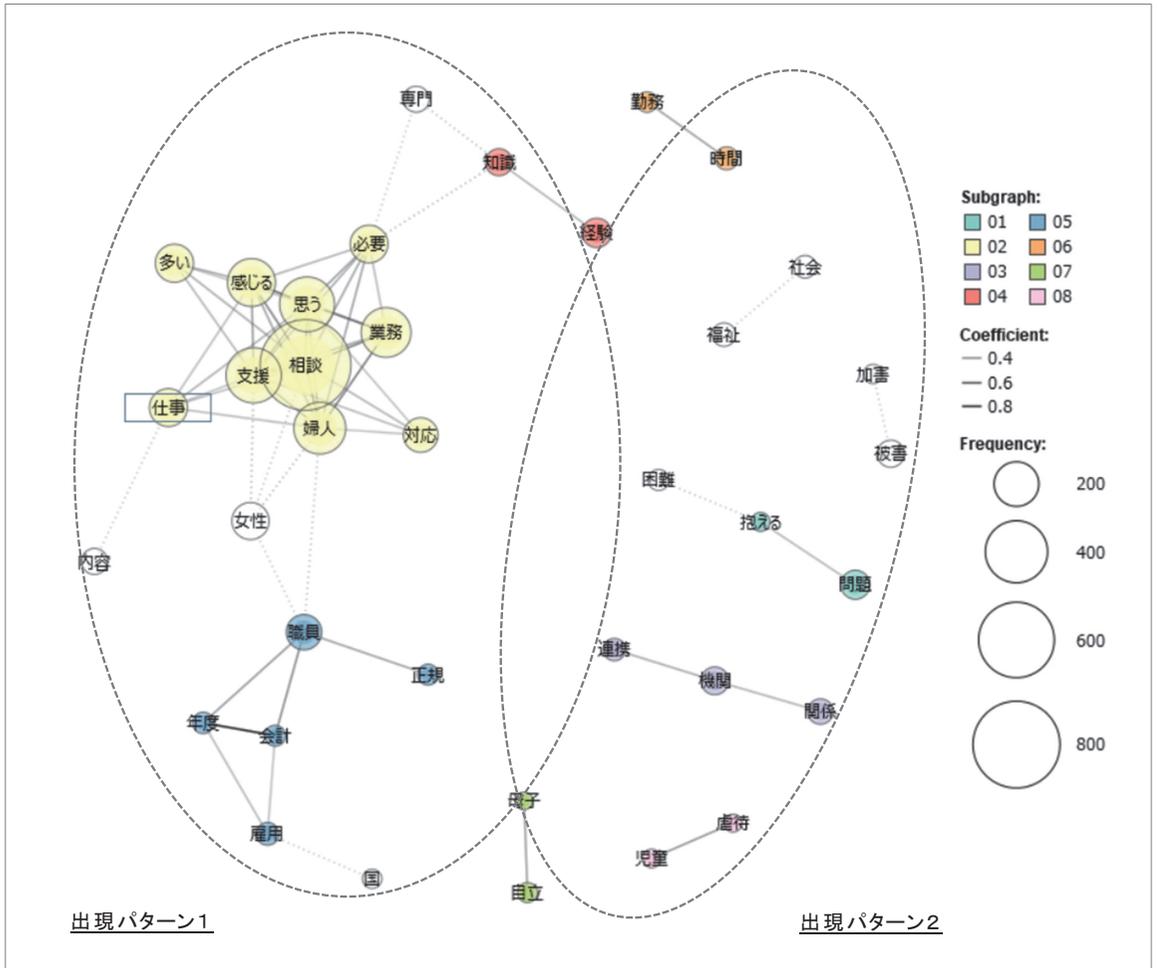


図 7.2.1. 自由記述頻出語の共起ネットワーク

7.3 自由記述回答による頻出語の対応分析

対応分析は、原点(0, 0)から離れてプロットされているほど、特徴的な語になると解釈されることから、出現パターン1にある「正規」「会計」「年度」と雇用形態に関することであると考えられる（図7.3.1）。

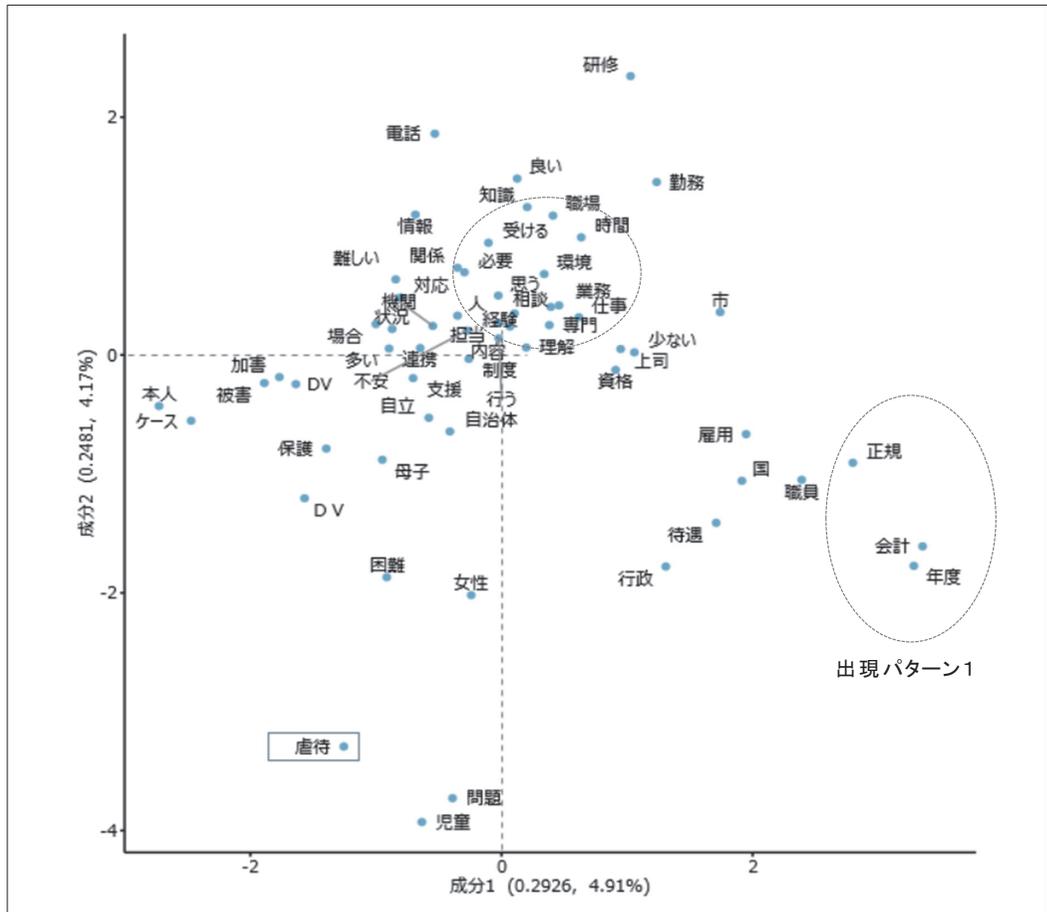


図 7.3.1. 自由記述回答による頻出語の対応分析

8. 婦人相談員を取り巻く課題と今後の方向性

本稿では、全国の婦人相談員への質問紙調査結果をもとに、婦人相談員の実態を限定的ではあるが確認した。前述した通り、婦人相談員の全国実態調査を実施したのは本調査研究が初めてである。本調査結果は、婦人相談員の労働状況などを改善するための基礎データを把握するという意味でも一定の意義があるといえる。

婦人相談員の基本属性からは、40歳代から60歳代の中老年層の女性が主な担い手であり、非常勤職で「母子・父子自立支援員」と兼務することが多く、職場の中で婦人相談員は少数であることが明らかになった。婦人相談員になったきっかけは、他者から勧められたケースと、自ら関心をもっていたり、自発的に志望したケースが半々であった。婦人相談員の平均勤務年数は約6年で、社会福祉士の資格を保有している割合が他の資格に比べて多く、将来的取得したい資格も社会福祉士であった。このことから、社会福祉士が婦人相談員の業務を遂行する上で有益な資格であることが推察される。

雇用形態及び待遇面についてみると、常勤の婦人相談員は16.3%、非常勤が83.7%と、非常勤が圧倒的に多い。約8割の婦人相談員が1年ごとに契約更新をしており雇用状態は不安定である。非常勤の報酬の1ヵ月平均は、約3割が16万円未満、6割強が20万円未満である。常勤の約7割が労働時間や仕事内容に見合う報酬を得ていると思うか、の設問に対して「思う」と回答しているのに対して、非常勤の約7割は業務に見合った報酬を受けていないと回答している。待遇面が十分でない状況に鑑み、婦人相談員の約6割が正規雇用を望んでいる。一方、約2割は非正規雇用が望ましいと回答している。また、どちらでもよい、選択できるとよいなどの回答もあった。また、非常勤の婦人相談員の約3割は更新契約回数の制限があると回答している。更新契約回数は、4回までが約3割と多く、5回、3回と続いている。このような雇用形態から、婦人相談員のほとんどが雇い止めであることがわかる。

婦人相談員として行う業務上の困難や心理的負担を感じている割合は半数を超えている。他方、約9割がやりがいを感じ、約8割が婦人相談員の業務に満足しているという回答結果であった。これらの結果からは、婦人相談員の仕事に対する意欲の高さや熱心さを垣間見ることができる。

婦人相談員にとって有用だと思われる研修への参加状況では、約9割の婦人相談員が公費で国や都道府県、所属機関の実施する研修に勤務時間内に受講していることがわかった。一方で、新任研修を受けたことがない婦人相談員が全体の約2割、職場で勤め始めた際に、仕事を誰にも教わったことのない婦人相談員は約1割、令和3年度（2021年度）の研修受講状況では約1割の婦人相談員が研修に参加していない実態も看取された。さらに、不足している知識や経験を補うための方法として、自費での資格習得や研修、通信教育を受講、関係法令、施策等の資料を入手するなど自発的に自己研鑽を積む姿も垣間見えた。本調査

結果からは、仕事に対する責任感を持ち、真摯に取り組む婦人相談員の姿勢が明らかになった。同時に、日々の支援に取り組む中で、常に関連法令や施策、支援のスキルなどアップデートしなければならない現場にいる、婦人相談員の差し迫った状況がみえてくる。婦人相談員は公的な専門職であるにもかかわらず、不安定な雇用状況、労働状況に直面している。支援の質に影響を及ぼす恐れがあり、待遇の改善は早急に取り組むべき課題である。

本稿では質問紙調査結果を中心にみてきたが、現在実施している質的調査も併せて総合的に把握し、婦人相談員の現状と課題を掘り下げて考察していくこととする。また、婦人相談員の成りたちなど歴史的な背景や役割の変遷、雇用形態（常勤・非常勤）、経験年数や研修、専門性等においても、今後より詳細な分析、考察を行い、待遇改善に関する提言を行う。

引用・参考文献

- 安部郁子（2016）「福島県婦人保護事業の現状と課題—代替養育を中心として」『福島大学地域創造』27, 2 : 16-30.
- 林千代編著（2008）『「婦人保護事業」五〇年』ドメス出版.
- 堀千鶴子（2008）「婦人相談員の現実」林千代編著『「婦人保護事業」五〇年』ドメス出版, 120-138.
- 岩本華子, 増井香名子, 山中京子, 児島亜紀子(2017)「市配置の婦人相談員のDV被害者支援における役割—被害経験者に対するインタビュー調査を元に—」『社会問題研究』66, 53-60.
- 戒能民江(2021)「婦人保護事業から女性支援法へ——相談・支援「労働」を問う」『経済社会とジェンダー』6, 84-104.
- 戒能民江編著（2013）『危機をのりこえる女たち』信山社.
- 戒能民江, 堀千鶴子（2020）『婦人保護事業から女性支援法へ——困難に直面する女性を支える』信山社.
- 川面充子（2018）「なぜ女性は昇格昇進を拒むのか ～昇格昇進プロセスにおける意識と環境の相互作用から探る～」『法政大学院紀要』82:198.
- 小口恵巳子（2009）『親の懲戒権はいかに形成されたか—明治民法編纂過程からみる』日本経済評論社.
- 厚生労働省（2017）『婦人保護事業等における支援実態等に関する調査研究』.
- （2015）『厚生労働省平成26年度先駆的ケア策定・検証調査事業「婦人相談員相談・支援指針』』.
- （2014）『婦人相談員活動実態調査』.
- 厚生労働省子ども家庭局（2022）『困難な問題を抱える女性への支援について（令和5年3月）』<https://www.mhlw.go.jp/content/001082312.pdf>（2023年1月31日閲覧）.
- 内閣府（2021）『社会福祉法人におけるDV被害者等への支援事例調査』.
- 内閣府男女共同参画局（2021）『男女間における暴力に関する調査報告書』.
- （2004）『配偶者等からの暴力にかかる相談員等の支援者に関する実態調査』.
- 小川真理子（2021）「民間シェルター・DV相談支援分野の労働問題」『経済社会とジェンダー』6, 57-83.
- （2019）「震災とDV被害者支援—東日本大震災被災地における行政・民間へのインタビュー調査を通して—」『経済社会とジェンダー』4, 75-95.
- , 2015, 『ドメスティック・バイオレンスと民間シェルター—被害当事者支援の構築と展開』, 世織書房.

- 小川真理子, 小口恵巳子, 柴田美代子 (2020) 「日本とシンガポールにおける DV 被害を受けた母子への支援と法制度に関する一考察」『アジア女性研究』29, 37-54, 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム.
- Suga, T. (2020) Response to Domestic Violence During the COVID-19 Outbreak in Japan. *Violence and Gender*, 8(3), 129-132. <https://doi.org/10.1089/vio.2020.0043> (2023年1月31日閲覧).
- 須賀朋子 (2015) 『中学生へのドメスティック・バイオレンス予防啓発に関する研究』風間書房.
- 吉浜美恵子編 (2001) 『婦人相談員 DV 全国研修効果調査報告書: 2001 年実施 2004 年まとめ』.
- 湯澤直美 (2022) 「女性への相談支援の必要性—コロナ渦の経験からの考察」『学術の動向』17-23.
- 全国婦人相談員連絡協議会 (2021) 『婦人相談員の歴史～婦人保護事業と共に～』
- (2008) 『婦人相談員の業務等に関する調査』.
- (1999) 『婦人相談員の専門性に関する調査』.

補足資料 単純集計

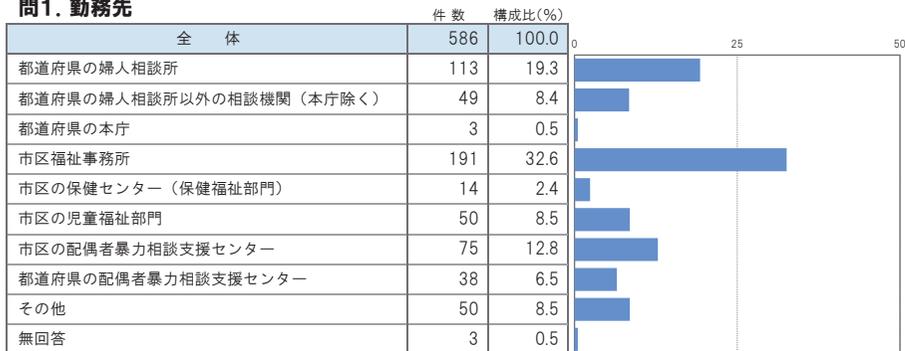
婦人相談員の専門性と公的相談支援の 労働問題に関する調査

調査期間 : 2022年 8月1日～9月9日

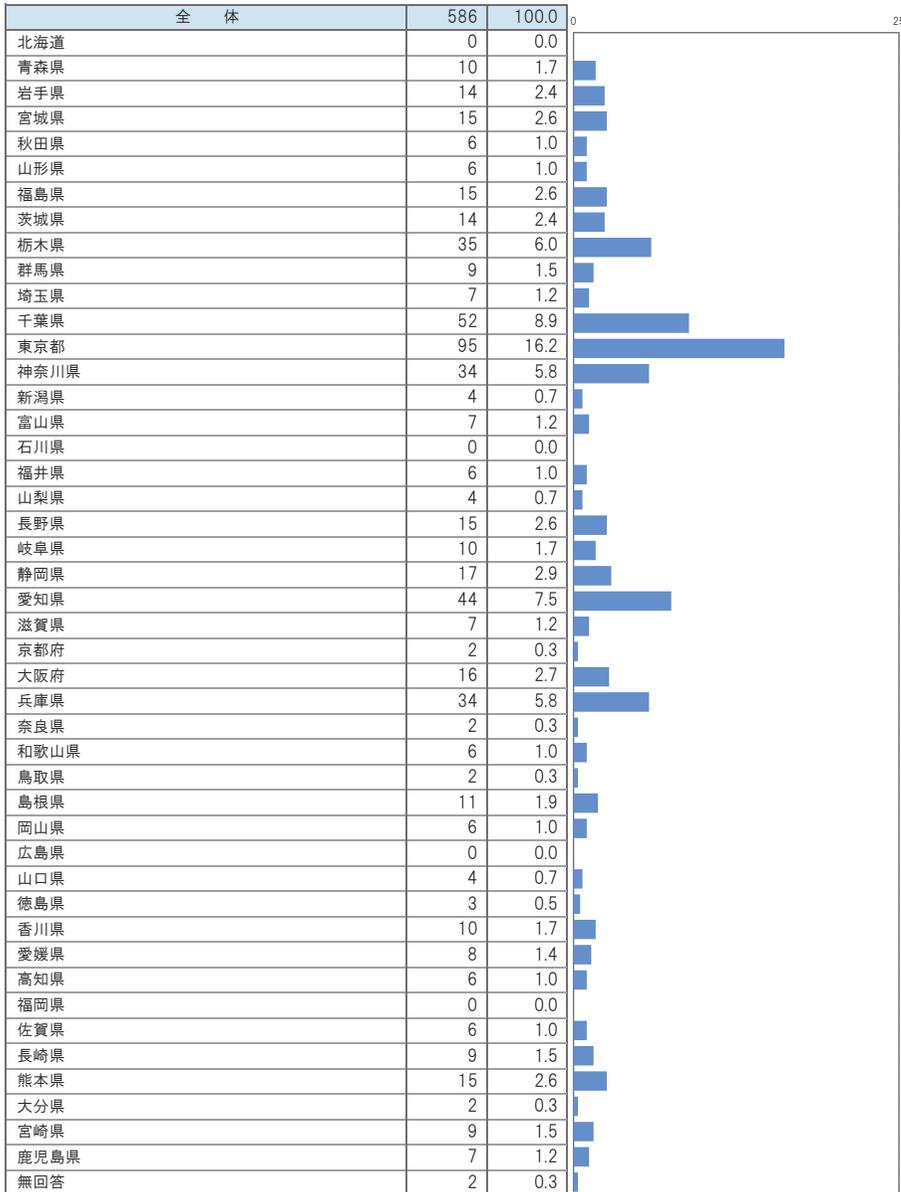
サンプル数 : 586件

単 純 集 計 結 果

問1. 勤務先



問2. 勤務地の都道府県 ※三重県、沖縄県は当調査の送付対象外



問3. 性別

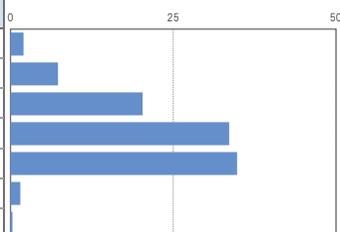
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
女 性	581	99.1
男 性	4	0.7
回答したくない	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	1	0.2



●相談員の性別はほとんどが女性だが、4名男性の相談員がいる。

問4. 年齢

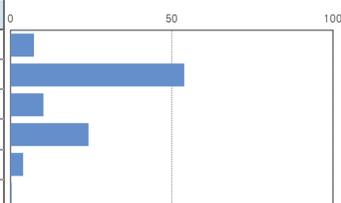
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
20歳代	12	2.0
30歳代	43	7.3
40歳代	119	20.3
50歳代	197	33.6
60歳代	204	34.8
70歳以上	9	1.5
無回答	2	0.3



●60歳代、50歳代がそれぞれ約3割と多く、次いで40代が約2割、40代～60代が全体の約9割を占めている。

問5. 現在の業務の専任・兼任状況

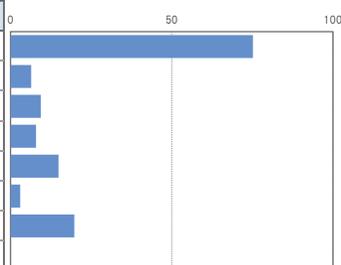
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
常勤（専任）	43	7.3
非常勤（専任）	316	53.9
常勤（兼任）	60	10.2
非常勤（兼任）	142	24.2
その他	23	3.9
無回答	2	0.3



●専任として非常勤で働いている婦人相談員が半数を超え、次いで何らかの業務と兼任して非常勤が多く、全体で約8割が非常勤である。

問6. 兼務している職種〔複数回答可〕

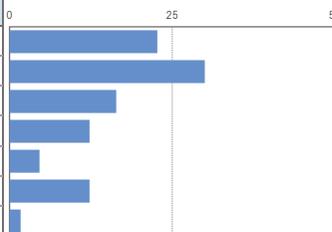
	件数	構成比(%)
問5. 専任・兼任状況 = 常勤(兼任)・非常勤(兼任)	202	100.0
母子・父子自立支援員	152	75.2
生活面談相談員	13	6.4
面接相談員	19	9.4
子育て支援・虐待対応	16	7.9
事 務	30	14.9
保育サービス受付	6	3.0
その他	40	19.8
無回答	0	0.0



●母子・父子自立支援員と兼務している婦人相談員が7割を超えている。

問7. 職場の婦人相談員数(自身を除く)

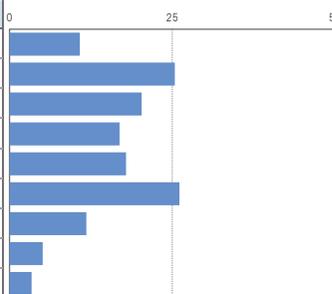
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
0 人 (回答者ご自身のみ)	133	22.7
1 人	176	30.0
2 人	96	16.4
3 人	72	12.3
4 人	27	4.6
5人以上	72	12.3
無回答	10	1.7
平均人数	2.2人	
最小値	0人	
最大値	27人	



●ご自身以外に婦人相談員が他1人が3割であり、次いでご自身のみ婦人相談員1名の職場が約2割であり、職場によって人数にばらつきがある。

問8. 婦人相談員になったキッカケ〔複数回答可〕

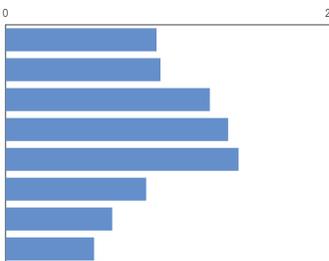
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
勤務先で勧められた	63	10.8
知人や前任者等に勧められた	149	25.4
以前の仕事の知見をいかしたいと考えた	119	20.3
婦人相談の仕事にもともと関心があった	99	16.9
相談の仕事をやってみたかった	105	17.9
ハローワークなどで募集があった	153	26.1
公務員として異動した	69	11.8
その他	30	5.1
無回答	20	3.4



●「ハローワークなどで募集があった」に次いで「知人や前任者等に勧められた」が多く、「以前の仕事の知見を活かしたいと考えた」「相談の仕事をやってみたかった」「婦人相談員の仕事にもともと関心があった」など相談業務への興味や意欲に関するきっかけとなっている。

問9. 婦人相談員としての通算勤務年数

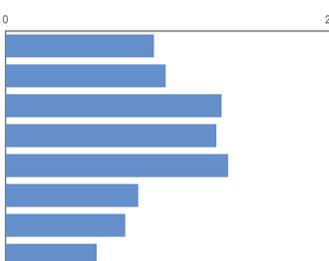
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
1年未満	68	11.6
1～2年未満	70	11.9
2～4年未満	92	15.7
4～6年未満	100	17.1
6～10年未満	105	17.9
10～15年未満	63	10.8
15年以上	48	8.2
無回答	40	6.8
平均年数	5.8年	
最小値	0年(1年目)	
最大値	26年	



● 4～6年未満と6年～10年未満で全体の約4割を占めている。

問10. 現在の勤務先での勤務年数

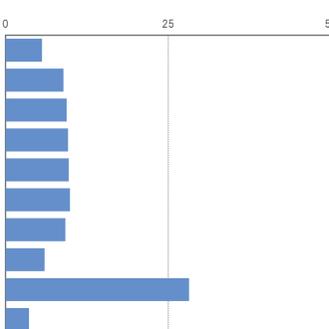
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
1年未満	67	11.4
1～2年未満	72	12.3
2～4年未満	97	16.6
4～6年未満	95	16.2
6～10年未満	100	17.1
10～15年未満	60	10.2
15年以上	54	9.2
無回答	41	7.0
平均年数	6.0年	
最小値	0年(1年目)	
最大値	40年	



● 6年～10年未満、2年～4年未満、4年～6年未満で全体の約半分を占めている。

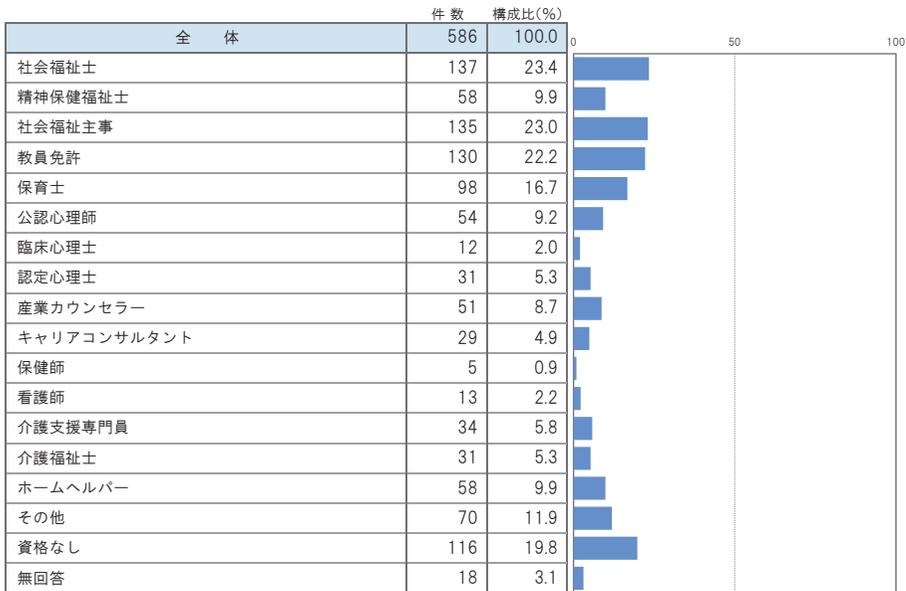
問11. 婦人相談員以外の相談援助業務としての勤務年数

	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
1年未満	33	5.6
1～3年未満	52	8.9
3～5年未満	55	9.4
5～7年未満	56	9.6
7～10年未満	57	9.7
10～15年未満	58	9.9
15～20年未満	54	9.2
20年以上	35	6.0
婦人相談員以外の相談援助業務としての経験はない	165	28.2
無回答	21	3.6



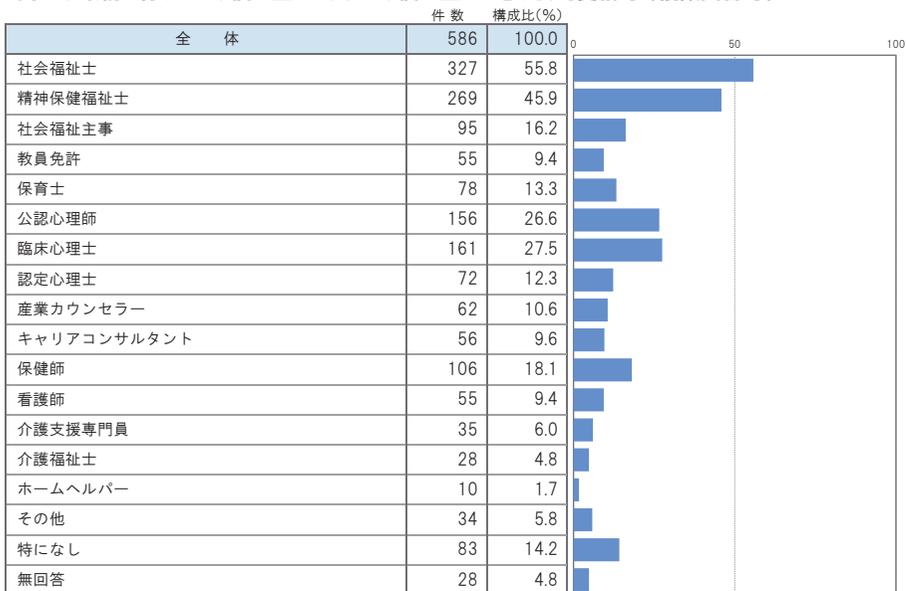
● 「婦人相談員以外の業務は経験していない」が約3割と多い。

問12. 現在、保有している公的資格等〔複数回答可〕



●「社会福祉士」「社会福祉主事」「教員免許」がそれぞれ約2割と多い。

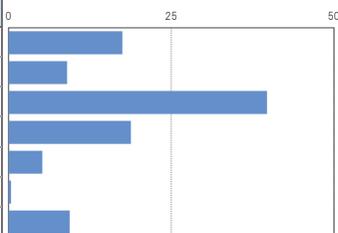
問13. 業務を行う上で、役に立った、または役に立つと思う公的資格等〔複数回答可〕



●「社会福祉士」が約5割と多く、次いで「精神保健福祉士」となっている。

問14-1. 非常勤職員の月間勤務時間

	件数	構成比(%)
問5. 専任・兼任状況 = 非常勤(専任) / 非常勤(兼任)	458	100.0
1～50時間	80	17.5
51～100時間	41	9.0
101～125時間	182	39.7
126～150時間	86	18.8
151～200時間	24	5.2
201時間以上	2	0.4
無回答	43	9.4
平均時間	102.2時間	
最小値	5時間	
最大値	225時間	



●月「101時間～125時間」の勤務時間が全体の約4割となっている。

問14-2. 非常勤職員の雇用契約年数の定め

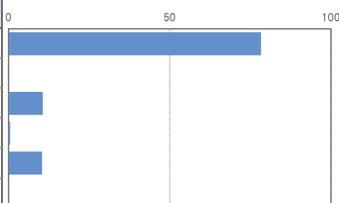
	件数	構成比(%)
問5. 専任・兼任状況 = 非常勤(専任) / 非常勤(兼任)	458	100.0
雇用契約年数がある	415	90.6
雇用契約年数の定めはない	23	5.0
無回答	20	4.4



●約9割が雇用契約年数がある非常勤職員である。

雇用契約年数

	件数	構成比(%)
問14-2 = 雇用契約年数がある	415	100.0
1年ごと	325	78.3
2年ごと	0	0.0
3年ごと	44	10.6
4年ごと	2	0.5
5年ごと以上	43	10.4
無回答	1	0.2
平均年数	1.7年	
最小値	1年	
最大値	11年	



●1年ごとの雇用契約年数が約8割となっている。

問14-3. 非常勤職員の更新契約回数の制限

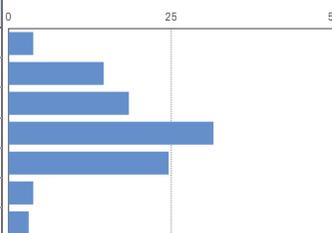
	件数	構成比(%)
問5. 専任・兼任状況 = 非常勤(専任) / 非常勤(兼任)	458	100.0
更新契約回数の制限がある	130	28.4
更新契約回数の制限はない	296	64.6
無回答	32	7.0



●「更新契約回数の制限はない」が約6割、「更新契約回数の制限がある」が約3割となっている。

更新契約回数の制限

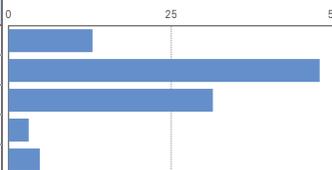
	件数	構成比(%)
問14-3 = 更新契約回数の制限がある	130	100.0
1 回	5	3.8
2 回	19	14.6
3 回	24	18.5
4 回	41	31.5
5 回	32	24.6
6回以上	5	3.8
無回答	4	3.1
平均回数	3.8回	
最小値	1回	
最大値	10回	



●更新契約回数の制限は、4回が約3割と多く、次いで、5回、3回、2回となっている。

問14-4. 非常勤職員の勤務先への雇用条件の希望

	件数	構成比(%)
問5. 専任・兼任状況 = 非常勤(専任) / 非常勤(兼任)	458	100.0
出せる	59	12.9
出せない	219	47.8
わからない	144	31.4
その他	14	3.1
無回答	22	4.8



●雇用条件への希望は、「出せない」が約5割となっている。

問15-1. 過去3ヵ月分の平均労働時間(月間)

	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
1～50時間	87	14.8
51～100時間	47	8.0
101～125時間	199	34.0
126～150時間	103	17.6
151～200時間	72	12.3
201時間以上	7	1.2
無回答	71	12.1
平均時間	109.6時間	
最小値	3時間	
最大値	288時間	

●3か月の平均労働時間は101時間～125時間が約3割、次いで「126時間～150時間」、「1～50時間」とばらつきがある。

問15-2. 過去3ヵ月分の平均勤務日数(月間)

	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
1～10日	28	4.8
11～15日	54	9.2
16日	128	21.8
17～19日	104	17.7
20日	139	23.7
21日以上	74	12.6
無回答	59	10.1
平均日数	17.5日	
最小値	2日	
最大値	29日	

●3か月の平均勤務日数は「20日」が多く、ついで「16日」「17～19日」である。

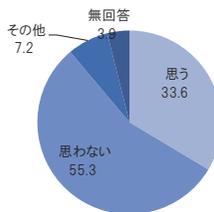
問16. 令和3年(2021年)の報酬(総支給額)の平均

	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
16万円未満	177	30.2
16～18万円未満	103	17.6
18～20万円未満	81	13.8
20～22万円未満	55	9.4
22～24万円未満	36	6.1
24～26万円未満	18	3.1
26～28万円未満	13	2.2
28～30万円未満	15	2.6
30万円以上	41	7.0
その他	20	3.4
無回答	27	4.6

●「16万円未満」が約3割と多く、次いで「16万～18万未満」「18万～20万円未満」と20万円未満が全体の約6割を占めている。

問17. 業務に見合った報酬を受けていると思うか

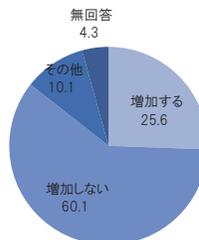
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
思 う	197	33.6
思わない	324	55.3
その他	42	7.2
無回答	23	3.9



●約6割が業務に見合った報酬を受けていないと回答している。

問18. 勤続年数にともなう報酬の増加

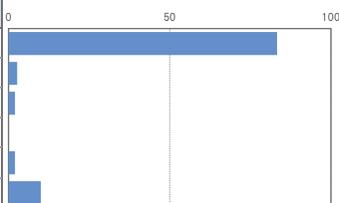
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
増加する	150	25.6
増加しない	352	60.1
その他	59	10.1
無回答	25	4.3



●約6割が勤続年数にともなう報酬の増加はしないと回答している。

報酬の増加時期

	件数	構成比(%)
問18 = 増加する	150	100.0
1年ごと	125	83.3
2年ごと	4	2.7
3年ごと	3	2.0
4年ごと	0	0.0
5年ごと以上	3	2.0
無回答	15	10.0
平均年数	1.2年	
最小値	1年	
最大値	5年	

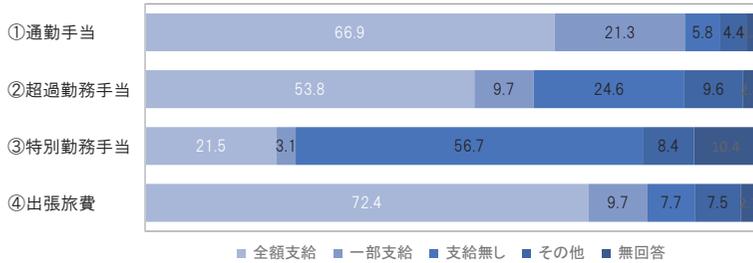


●勤続年数にともなう報酬が増加すると回答した者の約8割が1年ごととなっている。

問19. 手当等の支給

全数 = 586	①通勤手当		②超過勤務手当		③特別勤務手当		④出張旅費	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
全額支給	392	66.9	315	53.8	126	21.5	424	72.4
一部支給	125	21.3	57	9.7	18	3.1	57	9.7
支給無し	34	5.8	144	24.6	332	56.7	45	7.7
その他	26	4.4	56	9.6	49	8.4	44	7.5
無回答	9	1.5	14	2.4	61	10.4	16	2.7

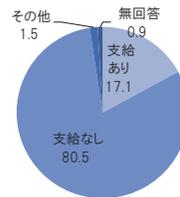
※数値左側は件数、右側は構成比を表示



●①通勤手当約7割、②超過勤務手当約5割、③出張旅費約7割が全額支給され、③特別勤務手当は約6割が支給されていない。

問20. 退職金の支給

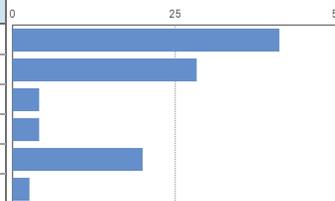
全 体	件数	構成比(%)
支給あり	100	17.1
支給なし	472	80.5
その他	9	1.5
無回答	5	0.9



●退職金の支給は約8割が「支給なし」と回答している。

問21. 賞与の支給

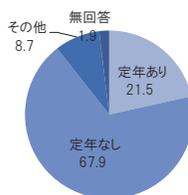
全 体	件数	構成比(%)
支給あり (基本給の1ヵ月分)	240	41.0
支給あり (基本給の2ヵ月分)	166	28.3
支給あり (基本給の3ヵ月分)	24	4.1
支給なし	24	4.1
その他	117	20.0
無回答	15	2.6



●賞与の支給は、「支給あり」が全体の約7割となっている。

問22. 定年の有無

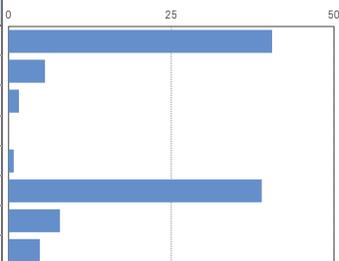
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
定年あり	126	21.5
定年なし	398	67.9
その他	51	8.7
無回答	11	1.9



●約7割が「定年なし」と回答している。

定年年齢

	件数	構成比(%)
問22 = 定年あり	126	100.0
60歳	51	40.5
61歳	7	5.6
62歳	2	1.6
63歳	0	0.0
64歳	1	0.8
65歳	49	38.9
66歳以上	10	7.9
無回答	6	4.8
平均年齢	62.9歳	
最小値	60歳	
最大値	70歳	



●定年があると回答者の定年年齢は、60歳と65歳がそれぞれ約4割となっている。

問23. 婦人相談員に望ましいと思う雇用形態

	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
正規雇用	379	64.7
非正規雇用	102	17.4
その他	78	13.3
無回答	27	4.6



●約6割が「正規雇用」が望ましい、約2割が「非正規雇用」が望ましいと回答している。

問24. 現在担当している業務〔複数回答可〕



●「電話相談」「来所相談」などの相談業務と「ケースの記録」が9割を超え、次いで「関係機関との連絡調整」が8割を超えている。

問25. 婦人相談員が本来担当すべき業務と考えるもの〔複数回答可〕



●「電話相談」「来所相談」などの相談業務と「ケースの記録」が9割を超え、次いで「関係機関との連絡調整」が8割を超えている。

問26. 婦人相談員の業務のやりがいについて

	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
とてもやりがいを感じている	152	25.9
ある程度やりがいを感じている	366	62.5
あまりやりがいを感じていない	50	8.5
やりがいを感じていない	14	2.4
無回答	4	0.7

●「とてもやりがいを感じている」「ある程度やりがいを感じている」を合わせると約9割が回答している。

問27. 婦人相談員という業務への満足度

	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
とても満足している	95	16.2
やや満足している	365	62.3
あまり満足していない	96	16.4
満足していない	20	3.4
無回答	10	1.7

●「とても満足している」「やや満足している」を合わせると約8割が回答している。

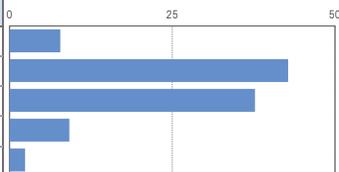
問28. 業務を行う際に困難に感じること

件数 = 586	(4点) とても 感じる	(3点) ある 程度 感じる	(2点) あまり 感じ ない	(1点) 感じ ない	無 回 答	平 均	
① 業務量が多い	107 18.3	251 42.8	171 29.2	48 8.2	9 1.5	2.72	
② 婦人相談員の業務内容が所属する組織で理解されていない	127 21.7	191 32.6	187 31.9	74 12.6	7 1.2	2.64	
③ 関係機関との連携が難しい	121 20.6	267 45.6	160 27.3	27 4.6	11 1.9	2.84	
④ クライアントとの関係性を構築するのが難しい	97 16.6	286 48.8	171 29.2	25 4.3	7 1.2	2.79	
⑤ 支援のための制度の不足・不備を感じる	230 39.2	272 46.4	70 11.9	4 0.7	10 1.7	3.26	
⑥ 社会資源の不足(施設等)を感じる	283 48.3	232 39.6	52 8.9	8 1.4	11 1.9	3.37	
⑦ 加害者の対応が難しい	204 34.8	186 31.7	135 23.0	40 6.8	21 3.6	2.98	
⑧ 被害者の重篤な相談への心理的負担	187 31.9	273 46.6	97 16.6	18 3.1	11 1.9	3.09	
⑨ 自分の意見が所属機関の支援方針に反映できない	64 10.9	144 24.6	307 52.4	64 10.9	7 1.2	2.36	
⑩ 過重な責任を負わされる	96 16.4	185 31.6	229 39.1	66 11.3	10 1.7	2.54	
⑪ 所属機関における婦人相談員間で被害者支援が統一されていない	68 11.6	127 21.7	265 45.2	116 19.8	10 1.7	2.26	
⑫ 支援に必要な権限を与えられていない	83 14.2	191 32.6	246 42.0	52 8.9	14 2.4	2.53	
⑬ 研修の機会が少ない	74 12.6	162 27.6	267 45.6	74 12.6	9 1.5	2.41	
⑭ スーパーバイズを受ける機会が少ない	162 27.6	209 35.7	162 27.6	45 7.7	8 1.4	2.84	

●「社会資源の不足（施設等）を感じる」「支援のための制度の不足・不備を感じる」に次いで、「被害者の重篤な相談への心理的負担」「加害者への対応が難しい」となっている。

問29. 婦人相談員の業務の影響による心身の不調

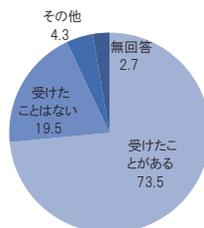
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
よくある	46	7.8
たまにある	251	42.8
あまりない	221	37.7
全く無い	54	9.2
無回答	14	2.4



●「よくある」「たまにある」を合わせると約5割が心身の不調があると回答している。

問30. 新任研修について

	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
受けたことがある	431	73.5
受けたことはない	114	19.5
その他	25	4.3
無回答	16	2.7

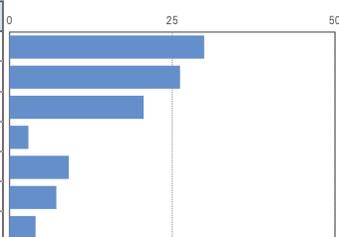


●約7割が新任研修を「受けたことがある」が、約2割は「受けたことはない」となっている。

新任研修を受けた期間（日数）

※「日数」に回答のあった有効回答母数で構成比を算出

	件数	構成比(%)
問30 = 受けたことがある	374	100.0
1 日	112	29.9
2 日	98	26.2
3 日	77	20.6
4 日	11	2.9
5 日	34	9.1
6～9日	27	7.2
10日以上	15	4.0
平均日数	3日	
最小値	1日	
最大値	17日	

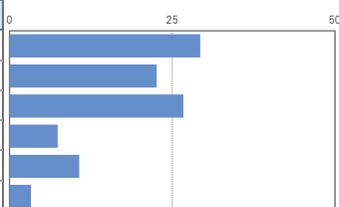


●新任研修を受けた期間は「1日」が約3割、次いで「2日」、「3日」となり、日数にばらつきがある。

新任研修を受けた期間（時間）

※「時間」に回答のあった有効回答母数で構成比を算出

	件数	構成比(%)
問30 = 受けたことがある	270	100.0
1～5時間	79	29.3
6～9時間	61	22.6
10～19時間	72	26.7
20～29時間	20	7.4
30～49時間	29	10.7
50時間以上	9	3.3
平均時間	13.5時間	
最小値	1時間	
最大値	80時間	



●新任研修を受けた時間は「1～5時間」が約3割、次いで「10～19時間」「6～9時間」となっている。

問31. 現在の職場で勤め始めた際に仕事を教わった相手〔複数回答可〕



●「先輩」が約7割、次いで「上司」、約1割が「誰にも教わっていない」と回答している。

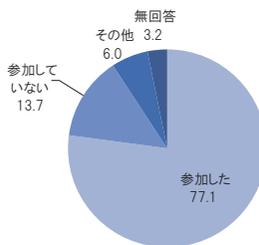
問32. 直属の上司の職種



●「行政の管理職」、次いで「行政一般職員」合わせて約7割が行政職が上司であると回答している。

問33-1. 令和3年度(2021年度)の1年間の研修受講状況

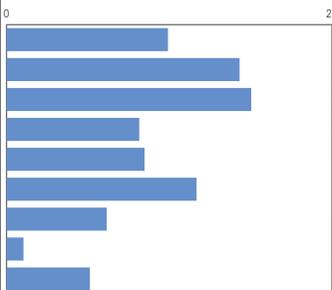
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
参加した	452	77.1
参加していない	80	13.7
その他	35	6.0
無回答	19	3.2



●約8割が「参加した」、約1割が「参加していない」と回答している。

研修の受講回数

	件数	構成比(%)
問33-1 = 参加した	452	100.0
1 回	56	12.4
2 回	81	17.9
3 回	85	18.8
4 回	46	10.2
5 回	48	10.6
6～9回	66	14.6
10～19回	35	7.7
20回以上	6	1.3
無回答	29	6.4
平均回数	4.6回	
最小値	1回	
最大値	35回	

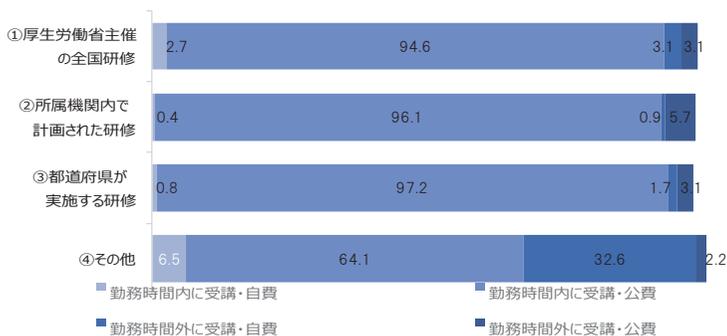


●研修に参加した受講回数を見るとばらつきが大きい。

問33-2. 研修の受講状況〔各複数回答可〕

有効回答数	①厚生労働省主催の全国研修		②所属機関内で計画された研修		③都道府県が実施する研修		④その他	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
勤務時間内に受講・自費	6	2.7	1	0.4	3	0.8	12	6.5
勤務時間内に受講・公費	211	94.6	221	96.1	343	97.2	118	64.1
勤務時間外に受講・自費	7	3.1	2	0.9	6	1.7	60	32.6
勤務時間外に受講・公費	7	3.1	13	5.7	11	3.1	4	2.2

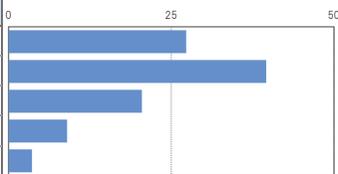
※数値左側は件数、右側は構成比を表示



●①②③の研修については、勤務時間内に「受講・公費」とであると回答している。

問34. 研修の参加機会について

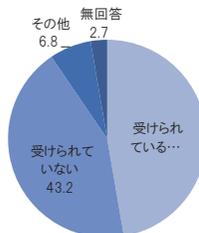
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
何回でも参加が可能	160	27.3
予算の枠内で可能	232	39.6
交替制	120	20.5
その他	53	9.0
無回答	21	3.6



●「予算の枠内で可能」が約4割、「何回でも参加が可能」が約3割、「交替制」が約2割となっている。

問35. 経験年数に応じた、婦人相談員の業務に必要な研修について

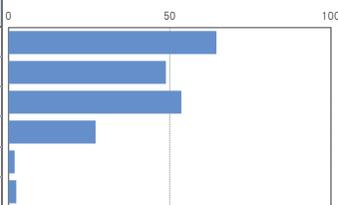
	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
受けられている	277	47.3
受けられていない	253	43.2
その他	40	6.8
無回答	16	2.7



●「受けられている」と「受けられていない」と約同じ割合で回答している。

問36. 不足している知識や経験を補うための方法〔複数回答可〕

	件数	構成比(%)
全 体	586	100.0
業務で資格取得、研修受講などを勉強をする	378	64.5
スーパーバイズを受ける	286	48.8
上司や先輩などに教わる	314	53.6
その他	158	27.0
特にない	11	1.9
無回答	14	2.4



●約6割が「業務で資格取得、研修受講などを勉強する」、次いで約5割が「上司や先輩に教わる」「スーパーバイズを受ける」と回答している。

The Current Situations and Issues of Professionalism and Working conditions of
Women's Consultants in the Public Sector in Japan:
A Nationwide Survey of Public Women's Consultants in 2022

Mariko Ogawa*¹, Mitsuko Kawazura*², Tomoko Suga*³

This study aimed to clarify the current situation and issues regarding the professionalism and working conditions of women's consultants in one of the three institutions of Women's Protection programs (women's consultation offices, women's consultants, and women's protection facilities). We conducted a questionnaire survey of women's consultants throughout Japan to ascertain the status of such consultants who are at the forefront of public-sector counseling and support. Based on the results of the questionnaire survey, this paper clarifies the overall trends in the work content, working conditions, and training of women's consultants, as well as the challenges they face.

The Women's Protection Program, which is based on the Anti-Prostitution Law enacted in 1956, has been in operation for approximately 70 years. With the enactment of the DV Act in 2001, domestic violence(DV) victims were included in the program's scope, which was later expanded to include victims of stalking, trafficking, and sexual violence. The Women's Protection Program is the only welfare program that provides direct and comprehensive support to women through the government. Nevertheless, this program is not included in the Welfare Law because its legal basis is the Anti-Prostitution Law, which is a special criminal law. In addition, "protection and rehabilitation" under Chapter 4 of the Anti-Prostitution Law covers "women who are likely to engage in prostitution in light of their sexual conduct or environment" (hereinafter referred to as "women in need of protection"), resulting in the twisted structure of "protection and rehabilitation" mixed in with the special criminal law. As the project is a standalone operation, its financial base is overwhelmingly weak. Therefore, although the women's consultants of the project were required to detect, counsel, and guide women in need of protection (Article 35 of the Anti-Prostitution Law), they faced difficulties in terms of systems and operations when providing counseling and support.

There are limits to what the Women's Protection Project can do, and a new framework for women's support was established as concerning the increasingly diverse support needs of women. In 2022, the Law Concerning Support for Women with Difficulties (to be enforced in 2024) was enacted. However, the position of women's consultants has remained unchanged from the time the Anti-Prostitution Law was enacted.

The survey was conducted in 2022 and questionnaires were distributed to 279 municipalities in charge of women's consultants(N=1500) in the prefectures and municipalities to which they were

assigned throughout Japan. The number of survey forms collected was 586 and the response rate was 39 %.

The basic attributes of the women's consultants revealed that they are mainly middle-aged women in their forties to sixties, that they are often employed in part-time positions and that they comprise a small number in the workplace. The average length of service of consultants was about six years, and a higher percentage held social worker qualifications than other qualifications, which were also the qualifications they wished to obtain in the future. This suggests that social workers are useful qualifications for women's consultants in performing their duties. In terms of compensation, approximately 80% of consultants renewed their contracts every year, indicating that their employment conditions were unstable. Therefore, approximately half answered that they did not receive remuneration commensurate with their working hours or the nature of their work. About 60% preferred regular employment, whereas about 20% preferred irregular employment. Some respondents also indicated that they preferred either or both or that they preferred to have a choice.

Although several respondents felt difficulties and psychological burdens in their work as women's consultants, about 90% found their work rewarding, and about 80% were satisfied with their work as women's consultants. Conversely, about 20% had never trained new employees, about 10% had never been trained when they started working at their institution, and about 10% had not attended any training in FY2021.

This questionnaire survey allowed us to confirm the status of women's consultants, albeit to a limited extent. Additionally the results of this survey revealed that the work of women's consultants, who are involved in counseling and support for women on the front lines of support, covers a wide range of tasks, including counseling and support for daily and family life, childcare support, handling abuse, and administrative work related to these tasks. The survey also revealed that women's consultants acquire knowledge and skills to deal with these issues and train themselves on a daily basis. The variety of official qualifications held by the women consultants suggests that their specialized knowledge and perspectives are useful when performing their duties. On the other hand, approximately 80% of women consultants work part-time, and their severe working conditions, in which they face employment termination, are inappropriate in light of the nature of their work. It also revealed that many of the women's consultants who provide support to women in difficult situations are in precarious positions. Women consultants' informality is overlooked as a source of motivation, and this is a problem that must be addressed.

*¹Project Associate Professor, Graduate School of Interdisciplinary Information Studies, the University of Tokyo

*²Specifically Appointed Assistant Professor, Office for Gender Equality and Diversity, Utsunomiya University

*³Professor, Department of Agriculture, Food and Environmental Science, Rakuno Gakuen University

Key Words: women's consultants, public-sector counseling and support in Japan, Professionalism, Working conditions, Women's Protection Program, Anti-Prostitution Law, gender.

地震動予測地図における確率表現のリスク認知

—全国意識調査をもとに

齋藤 さやか*、安本 真也**、関谷 直也**

*東北大学大学院理学研究科理学教育研究支援センター

**東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター

Risk Perception of Probability Expression in the National Seismic Hazard Maps for Japan

: Findings from the 2020 Survey

Sayaka Saito*, Shinya Yasumoto**, Naoya Sekiya**

* Center for Research and Educational Cooperation in Science, Graduate School of Science,
Tohoku University

** Center for Integrated Disaster Information Research Interfaculty Initiative in Information
Studies, the University of Tokyo

主要著者連絡先 : sayaka.saito.e1@tohoku.ac.jp

022-795-6522

執筆分担

齋藤 さやか（東北大学大学院理学研究科理学教育研究支援センター）：1～6章

安本 真也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

研究助成

本調査研究は、文部科学省 日本海地震・津波調査プロジェクトの助成を受けました。

謝辞

調査研究にあたり、廣井悠教授（東京大学先端科学技術研究センター）より確率表現の数値計算についてご教示いただき、調査を実施することができました。

キーワード：地震、リスク認知、リスクコミュニケーション、地震動予測地図、アンケート調査、確率。

Key Words: Earthquake, Risk Perception, Risk Communication, the National Seismic Hazard Maps for Japan, Survey, Probability.

地震動予測地図における確率表現のリスク認知

－全国意識調査をもとに

Risk Perception of Probability Expression in the National Seismic Hazard Maps for Japan

: Findings from the 2020 Survey

1. はじめに

1.1 調査目的

全国地震動予測地図は、国の地震調査研究推進本部（地震本部）によって、防災意識の向上、及び地震防災対策を検討するための基礎資料として活用してもらうことを目的に公表、更新されてきた（地震本部、2021）。全国地震動予測地図には、将来発生する恐れのある地震の強い揺れが予測され、その予測結果が表されている（防災科学技術研究所ウェブサイト）。地図には2種類あり、1つは地震発生の長期的な確率の評価及び強震動の評価を組み合わせた「確率論的地震動予測地図」であり、もう1つは特定の地震について、ある想定されたシナリオに対する強震動の評価に基づく「震源断層を特定した地震動予測地図」である（防災科研ウェブサイト）。

本調査においては、図 1.1 にも示す前者の「確率論的地震動予測地図」（以後、「地震動予測地図」と表記）について扱う。地震動予測地図の中でも代表的なものは「今後 30 年以内に各地点が震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率」を示したものである（防災科研ウェブサイト）。地図においては、図 1.1 及び、図 1.2 の通り確率の高さが段階別に色でわかるように示されており、今後 30 年以内に震度 6 弱以上の地震が発生する確率が「0.0%～0.1%」は薄い色（黄色）、「0.1%～3.0%」はやや濃い色（山吹色）で示され「やや高い」とされている。そして「3.0%以上」は「高い」と定義され、中でも「26.0%」以上となると、最も濃い色（赤に近い色）で示されリスクが強調されている。

地震動予測地図の利用に関しては、地震本部によってもこれまで普及展開のためのアンケート調査が行われてきた。中では「確率での表現が理解を難しくしている」ことや、「30 年という期間が長すぎると考える人が多い」ことなど、確率の表現が課題としてあげられている（地震本部、2014）。

そこでまず、地震動予測地図に示されている「30 年以内に 3.0%の確率」について、人はどの程度「不安感」や「地震対策の必要性」を感じるものか。本調査ではそこに焦点をあて調査することとした。ここで、確率を理解することが難しいとされているものの、リスクを示すには確率的な表現はある程度避けられないであろう。一方「30 年以内に」とい

う年限については、「長すぎると考える人が多い」と指摘されていることから、30年よりも短い20年、10年、5年、1年等で示して表示することも考えられる。また逆に100年といったより長い期間で示すこともでき、そのように確率の表現方法を変えることで、見る人の捉え方や反応がどのように変わってくるのか、検証したいと考えた。このような発想は、先行の調査研究である齋藤・関谷（2017）に基づく。

そこで「30年以内に」の年数の部分を仮に「20年」、「10年」、「5年」、「1年」と、より短い期間に換算した場合、また逆に「40年」、「50年」…、「100年」、「1000年」といったように、より長い期間に換算して示した場合の、確率表現の捉え方について調査を行った。

ここでは、地図で「高い」と示される「30年以内に3%」及び、中でも特に高いことを示す「30年以内に26%以上」の確率、及び、過半数となる「30年以内に50%」についてポアソン分布に従って換算し、確率（%）を表示し、それを見た人がどう捉えているかを調査した。そのため、厳密に地震のリスクを評価とした値というわけではなく、仮定として設定したものであることを、先に述べておきたい。換算した確率表現は、表 4.1.1 に示す。また、本報告では調査結果の全体的な結果について論じることとする¹。

1.2 調査概要

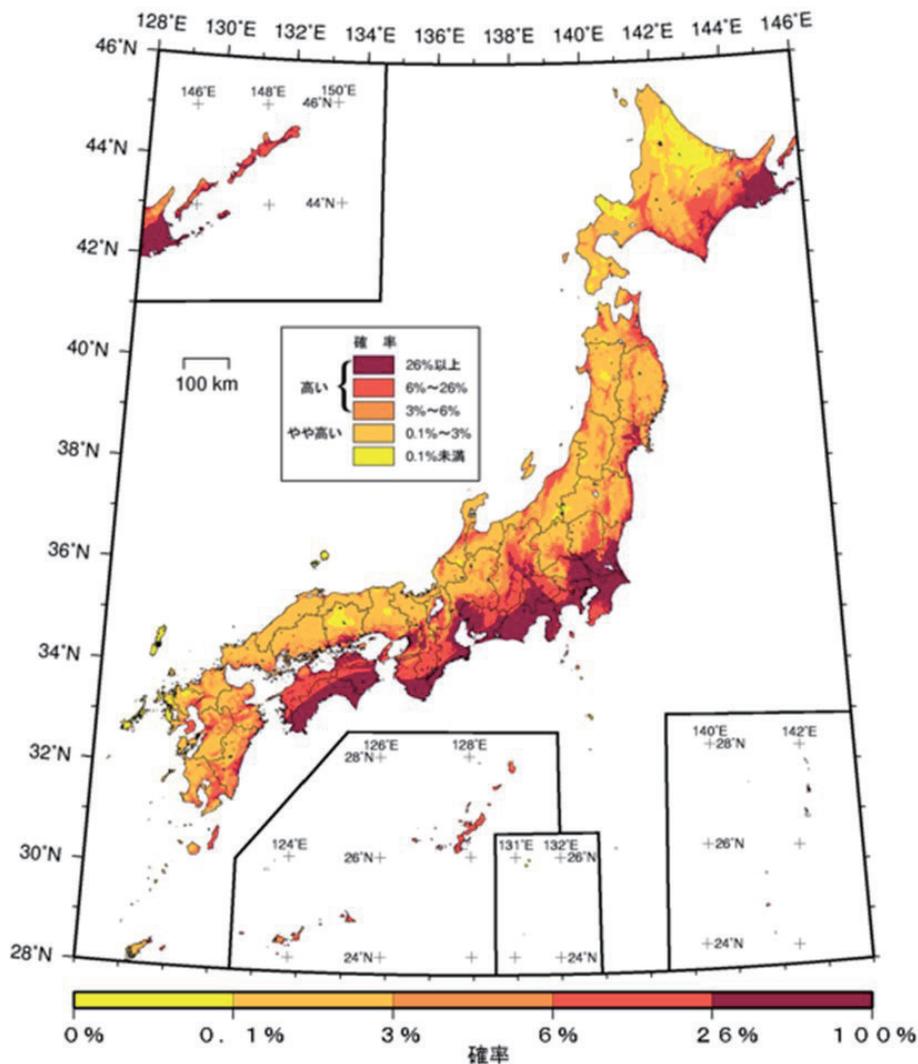
本調査は、表 1.1 の調査概要に示す通り、2020年11月20日から25日にかけて、全国47都道府県に住む20代～60代の男女（性年代均等割付、各地域200名ずつ）を対象に、楽天インサイトのモニターを用いて実施したウェブアンケート調査である。

質問内容としては「地震に関するリスク認知」他、「地震防災について」、「地震や地震防災に関する情報源」、「地震予測に対する意識」、「地図、確率、地震学者に対する信頼」、「災害観」等について聞いている。設問は、齋藤・関谷（2017）他、信頼については堀他（2001）内における「対人信頼尺度」の項目、及び中谷内（2012）の信頼の構成要素に関する記述を、災害観については、廣井（1995）の日本人の災害観などを参考としながら作成した。

表 1.1 調査概要

1. 調査対象:	全国20代～60代の男女、性年代均等割付
2. 調査期間:	2020年11月20日から25日
3. 調査機関:	楽天インサイト
4. 調査方法:	ウェブアンケート調査
5. 調査地域:	47都道府県(各地域200票×47=9400票)

以降、調査結果について示していく。



(モデル計算条件により確率ゼロのメッシュは白色表示)

確率論的地震動予測地図：確率の分布

今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率
(平均ケース・全地震)

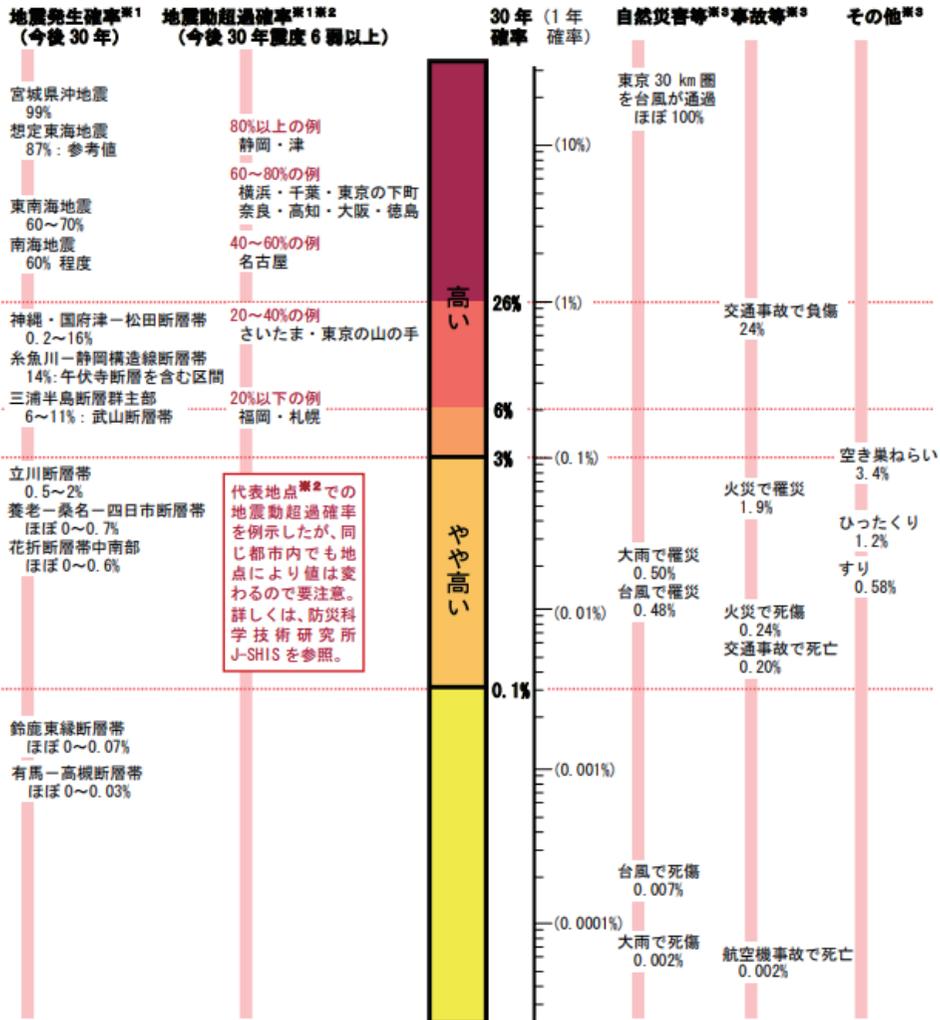
図 1.1 全国地震動予測地図地図 2018年版(2019年1月修正版)

(出典：地震調査研究推進本部)

解説：確率の数値を受け止める上での参考情報

地震発生確率・地震動超過確率の例と日本の自然災害・事故等の発生確率の例

次の図は、「今後30年以内に数%」という値が日常生活において無視出来るほど小さな値ではないことを理解するための参考情報である。確率論的地震動予測地図に示されている地震動の「超過確率」（ある値を超える確率）は「ハザード」の評価結果であり、ここで例示した事象の「発生確率」や「リスク」と同列に比較できるものではないが、数値の重みを受け止める上での参考情報として見て欲しい。



- ※1 例示した地震発生確率・地震動超過確率は、2010年1月1日時点の評価値。
- ※2 都道府県庁所在地の市庁舎や東京の都庁・区役所の位置の例。同じ都市内でも地点により値は変わるので、注意が必要。詳しくは、防災科学技術研究所 J-SHIS (<http://www.j-shis.bosai.go.jp/>) を参照のこと。
- ※3 日本の自然災害・事故等の発生確率の例は、地震調査研究推進本部地震調査委員会(2006.9.25)より抜粋。

図 1.2 確率の数値を受け止める上での参考資料

(出典：地震調査研究推進本部)

2. 自然災害等への意識と対策の現状

2.1 自然災害等への不安感

はじめに、自然災害等への不安感について「あなたは、下記に示す自然災害などについてどの程度、不安を感じていますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。(Q1)」と尋ねた。その結果「不安感」(「非常に不安を感じる」+「やや不安を感じる」の合計)が多くあげられたのは、順に「地震」(83.8%)、「感染症」(82.1%)、「台風」(73.3%)であった(図 2.1)。「非常に不安を感じる」のみに目を向けると、「感染症」が最も多くなっているが(45.4%)、背景には調査当時における、コロナ禍があると考えられる。ただ「やや不安を感じる」も含めた不安感全体でみると僅差であるが、「地震」が最も多くなっている。

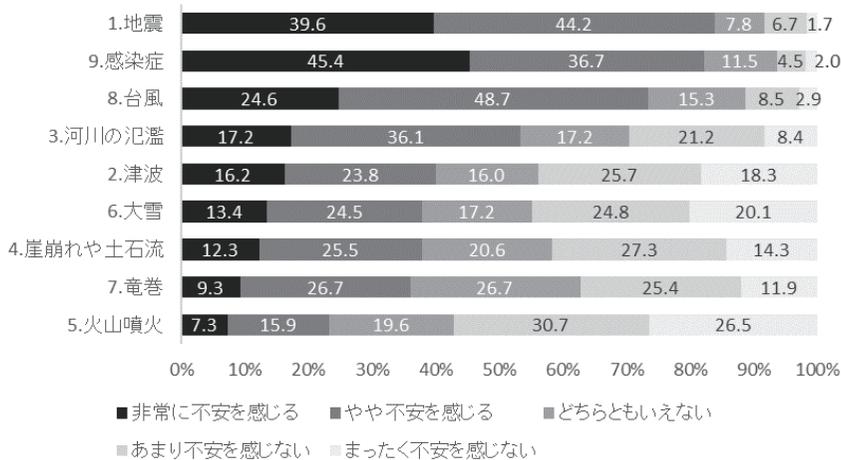


図 2.1 自然災害等への不安感 (n=9,400)

2.2 地震や地震対策に関する情報源

次に地震や地震対策についての情報源について聞いた。「あなたは、地震や地震対策について(1)メディアから情報を得ることはありますか。また(2)人とのコミュニケーションから情報を得ることはありますか。それぞれ1つずつお選びください。(Q2)」と尋ねた。メディアから情報を得ることが「よくある」のは、多い順に「テレビのニュース」(55.3%)、「ネットのニュース」(46.5%)、「ネットの情報(報道機関のニュース以外)」(31.0%)であり、テレビとインターネットが主流であった(図 2.2)。人から情報を得ることが「よくある」のは、順に「家族」(36.2%)、「職場の人」(21.3%)、「友人・知人」(10.8%)であった(図 2.3)。全体的にはメディアからの方が、人からよりも多く情報源としてあげられ

ていた。



図 2.2 地震や地震対策に関する情報源（メディア）（n=9,400）（単位：%）

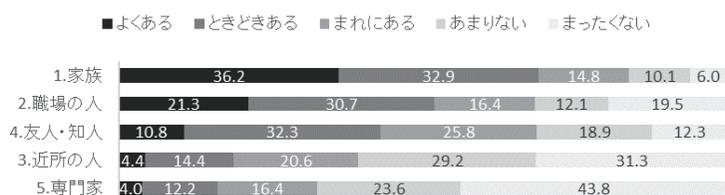


図 2.3 地震や地震対策に関する情報源（人）（n=9,400）（単位：%）

2.3 ふだんの地震対策

次に、地震に対してどの程度対策を行っているか。「あなたはふだん、どのような地震対策を行っていますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。（Q3）」と尋ねた。その結果、多かったのは順に「水の備蓄」（43.7%）、「食料の備蓄」（40.6%）、「避難所・避難場所の確認」（33.8%）であった。一方で、約2割（23.0%）は「地震対策は行っていない」と回答していた（図 2.4）。

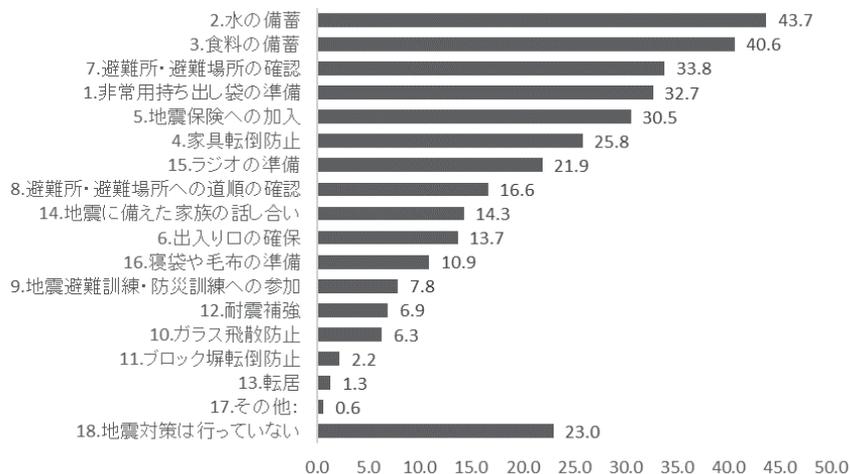


図 2.4 ふだんの地震対策 (N=9,400) (単位:%)

そこで、地震対策を行っている人に対して、「あなたが地震対策を始めたきっかけは、何ですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(Q3-1)」と、対策を始めたきっかけを聞いた。その結果、8割(80.0%)が「大きな地震(東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震など)があったこと」をあげていた(図 2.5)。この回答は、二番目に多かった「メディア(テレビや新聞、インターネット)を通して地震対策の必要性を感じたこと」(39.7%)の倍以上であった。また第三に、「地震動予測地図や地震ハザードマップを見たこと」(14.0%)があげられ、上位2つと差があるが、地震動予測地図等が地震対策のきっかけになっていることが確認できた。

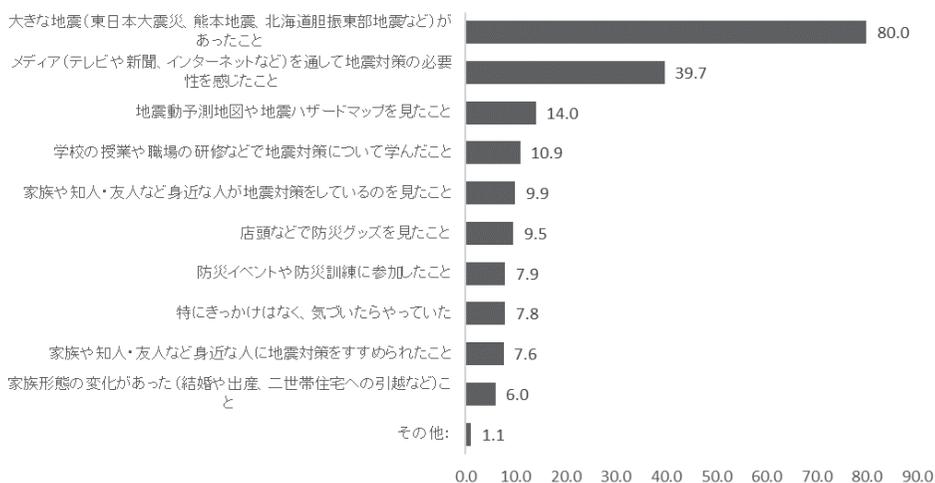


図 2.5 地震対策を始めたきっかけ (N=7,238) (単位:%)

一方、地震対策を行っていないとした人達に対し、「あなたはなぜ、地震対策を行っていないのですか。(いくつかでも)(Q3-2.)」と尋ねた。その結果、「特に理由はなく、なんとなく行っていない」が約半数(48.5%)と最も多く、次いで「きっかけがないから」(18.7%)、「面倒だから」(16.4%)があげられ、地震対策を行わないことに積極的な理由があるというよりも、理由はなく、なんとなくであることが多いと見てとれた(図 2.6)。



図 2.6 地震対策を行っていない理由 (N=2,162) (単位:%)

3. 地震動予測地図の認知、及び信頼度とリスク表現に対する意識

3.1 地震動予測地図の認知度及び信頼度

地震動予測地図についてまずその認知について聞いた。地図（図 1.1）を提示し、「以下の『地震動予測地図』は、『今後 30 年以内に各地点が震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率を示したもの』です。」「あなたはこれまでに、こうした『地震動予測地図』を見たことがありますか。（Q6）」と尋ねた。その結果、「見たことがある」と答えた人の割合は 43.7% と 4 割強、逆に「今回初めて見た」（これまで見たことがなかった）人が過半数の 56.3% であり、より多かった（図 3.1）。

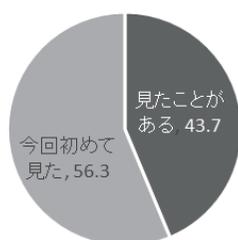


図 3.1 地震動予測地図の認知度（N=9,400）（単位：%）

次に、「あなたは地震動予測地図について、信頼できると思いますか。（Q8.）」と聞いたところ、「信頼できる」（「非常に信頼できる」＋「ある程度信頼できる」の合計）と答えた人は、8 割以上（82.2%）であった（図 3.2）。

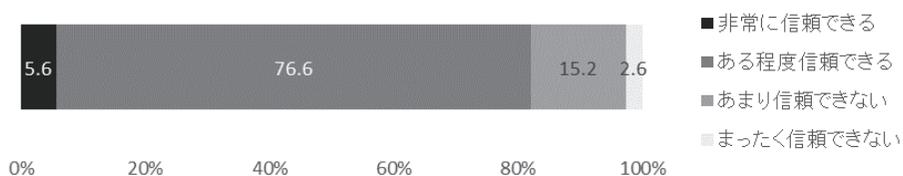


図 3.2 地震動予測地図の信頼度（N=9,400）

同時に、「地震動予測地図には、今後 30 年以内に震度 6 弱以上の地震が発生する確率が示されていますが、あなたは、これらの発生確率を、信頼できますか。（Q9.）」と地図の確率に対する信頼についても聞いたところ、こちらについても 8 割以上（80.7%）が「信頼できる」（「非常に信頼できる」＋「ある程度信頼できる」）と回答しており、信頼性が高

いものと見てとれた（図 3.3）。

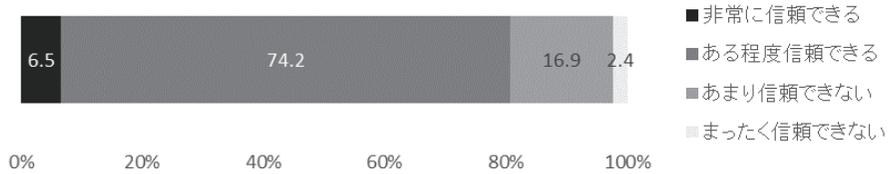


図 3.3 地震動予測地図の発生確率に対する信頼度 (N=9,400)

次に「地震動予測地図を見て、あなたは、どのように思いますか。以下それぞれの項目について、あてはまるものを1つずつお選びください。(Q.10)」と、地図の捉え方について聞いた。

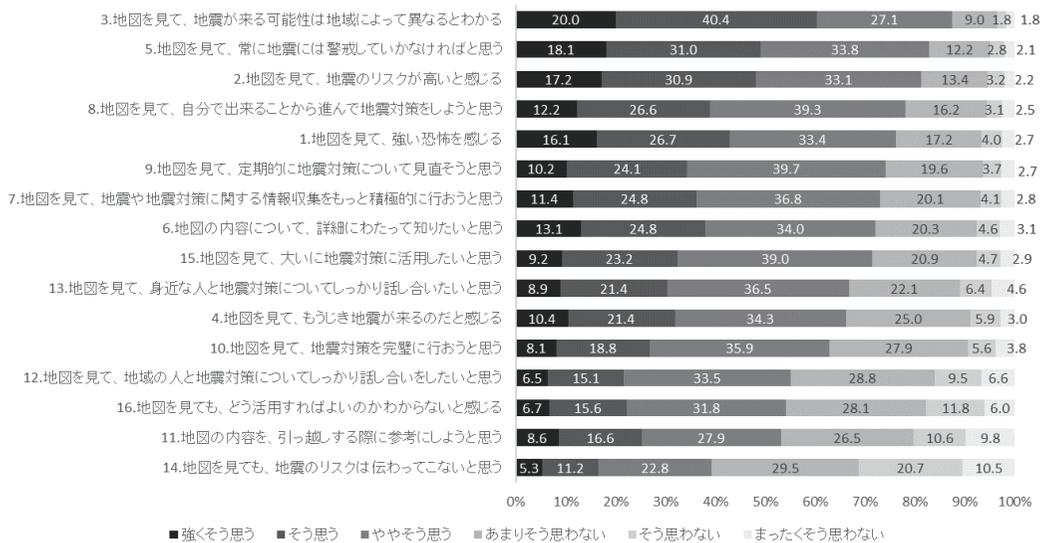


図 3.4 地震動予測地図を見てどう思うか (N=9,400)

その結果、「そう思う（「強くそう思う」＋「そう思う」＋「ややそう思う」の合計）」と回答した割合が多かったのは、順に「地図を見て、地震が来る可能性は地域によって異なるとわかる」（87.5%）、「地図を見て、常に地震には警戒していかなければと思う」（82.9%）、「地図を見て、地震のリスクが高いと感じる」（81.2%）であった（図 3.4）。

一方、特に少なく過半数が「そう思わない」（「あまりそう思わない」＋「そう思

わない」＋「まったくそう思わない」と回答していたのは、「地図を見ても、地震のリスクは伝わってこないと思う」（39.3%）であり、逆に言うと約 6 割以上の人（60.7%）にとって地震動予測地図は、見るとリスクが伝わってくるものであると認識されていると見てとれた。

4. 地震動予測地図におけるリスク表現に対する意識

4.1 地震動予測地図における確率について、いかに調査を行うか

次に、地震動予測地図で示される確率について、地図で示されている「30年以内に発生する確率（30年確率）」と、それ以外の年確率に換算して示した場合の見る人の捉え方、すなわち「不安感」や「対策の必要性」について調べた結果を見ていく。

地震動予測地図で代表的なものは、先にも示した通り「今後30年以内に各地点が震度6弱以上の揺れに見舞われる確率を示したものである（防災科研ウェブサイト）。ここで、本調査においては「震度6弱」の他、「震度5強」、「震度6強」、「震度7」、合わせて4つの震度階について調査した。確率については、①地図においてそれ以上であれば「高い」とされる「3%」、②さらに高い中でも最も濃い赤に近い色で示される「26%」、そして、③“過半数”となる閾値である「50%」の3つの軸を設けた。50%について細かくは、ポアソン分布の計算に基づき噴出された数値である50.2%を採用している。それぞれの確率を「1年確率」から最大「1000年確率」まで換算し、同じ確率を異なる表現に変えて示し、それぞれの確率表現を見た場合に感じられる「不安感」と「対策の必要性」の度合いを聞いた。換算した確率表現は表4.1.1の通りである。縦の列は同じ確率を言い換えたものであるが、何年確率か、すなわち何年以内に発生するかで示しているため、それにより表示される%の数値は異なっている。

ここで、調査において全員に対して全震度階について聞くことは回答の負担が大きく混乱を招く可能性があることを考慮し、回答者一人につき、震度5強、6弱、6強、7のいずれか1つの震度階について回答してもらうこととした。どの震度階を回答するかはランダムに設定したが、性年代がそれぞれ均等になるように割付した。

質問においては「不安感」に関しては、「地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度『不安』を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。」と聞き、「1年以内に0.1%の確率で発生すると示されたとき」、「5年以内に0.5%の確率で示されたとき」…（中略）…「30年以内に3.0%の確率で示されたとき」…（中略）…「100年以内に9.5%の確率で示されたとき」…（中略）…「1000年以内に63.2%の確率で発生すると示されたとき」と、全てについて質問し、それぞれ「非常に不安を感じる」～「まったく不安を感じない」の6件法で回答を得た。「30年確率26.0%」については700年確率で99.9%に達するため

700年確率まで、「30年確率 50.2%」については、300年で99.9%に達するため300年確率までを聞いた。

表 4.1.1 確率の換算表

	30年3%軸	30年26%軸	30年50%軸
1年確率（1年以内に発生する確率）	0.1%	1.0%	2.3%
5年確率（5年以内に発生する確率）	0.5%	4.9%	11.0%
10年確率（10年以内に発生する確率）	1.0%	9.6%	20.8%
20年確率（20年以内に発生する確率）	2.0%	18.2%	37.2%
30年確率（30年以内に発生する確率）	3.0%	26.0%	50.2%
40年確率（40年以内に発生する確率）	3.9%	33.1%	60.6%
50年確率（50年以内に発生する確率）	4.9%	39.5%	68.8%
60年確率（60年以内に発生する確率）	5.8%	45.3%	75.2%
70年確率（70年以内に発生する確率）	6.8%	50.5%	80.4%
80年確率（80年以内に発生する確率）	7.7%	55.2%	84.5%
90年確率（90年以内に発生する確率）	8.6%	59.5%	87.7%
100年確率（100年以内に発生する確率）	9.5%	63.4%	90.2%
150年発生確率（150年以内に発生する確率）	13.9%	77.9%	97.0%
200年発生確率（200年以内に発生する確率）	18.1%	86.6%	99.0%
300年発生確率（300年以内に発生する確率）	25.9%	95.1%	99.9%
400年発生確率（400年以内に発生する確率）	33.0%	98.2%	
500年発生確率（500年以内に発生する確率）	39.4%	99.3%	
600年発生確率（600年以内に発生する確率）	45.1%	99.8%	
700年発生確率（700年以内に発生する確率）	50.4%	99.9%	
800年発生確率（800年以内に発生する確率）	55.1%		
900年発生確率（900年以内に発生する確率）	59.4%		
1000年発生確率（1000年以内に発生する確率）	63.2%		

4.2 確率表現を言い換えることで、「不安感」はどう変わるか

まず不安感について聞いた具体的な結果については、図 4.2.1～図 4.2.12 に示した通りである²。全体的に「不安感」（「非常に不安を感じる」＋「不安を感じる」＋「どちらかといえば不安を感じる」の合計）を見ると、1年確率で示した場合から10年確率、20年確率と増えていくと、不安感も増えてピークがあり、その後減っていくという傾向が浮き彫りになり、何年確率で示すかによって違いが出てくるのがわかった。

そして、全体を総括すると、表 4.2.1 の通り、いずれの確率及び震度階においても、不安感を感じる人は「10年確率」～「20年確率」で示したところで最も増え、ピークとなることがわかった。

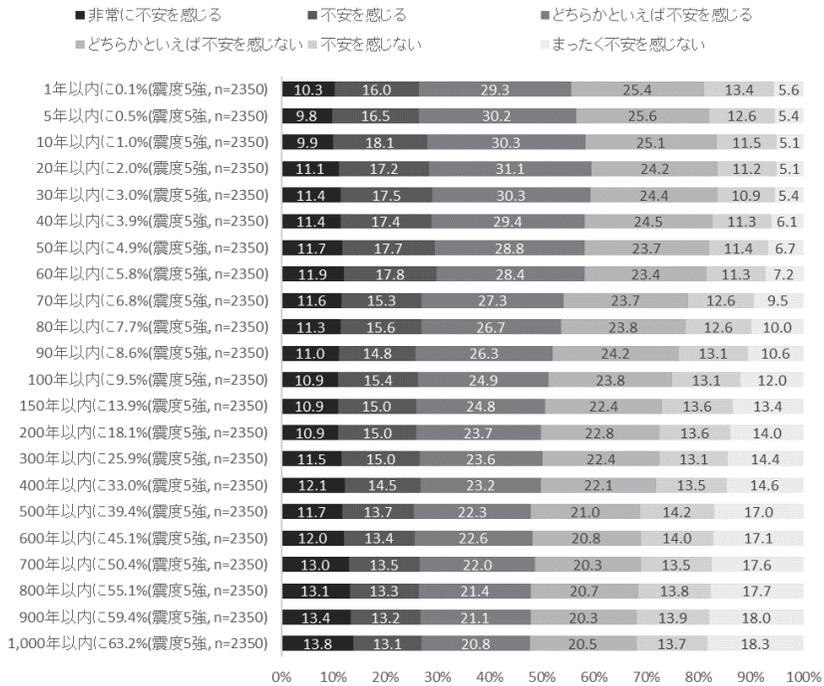


図 4.2.1 どの程度不安を感じるか（「30年以内に3.0%」軸、震度5強）（N=2,350）

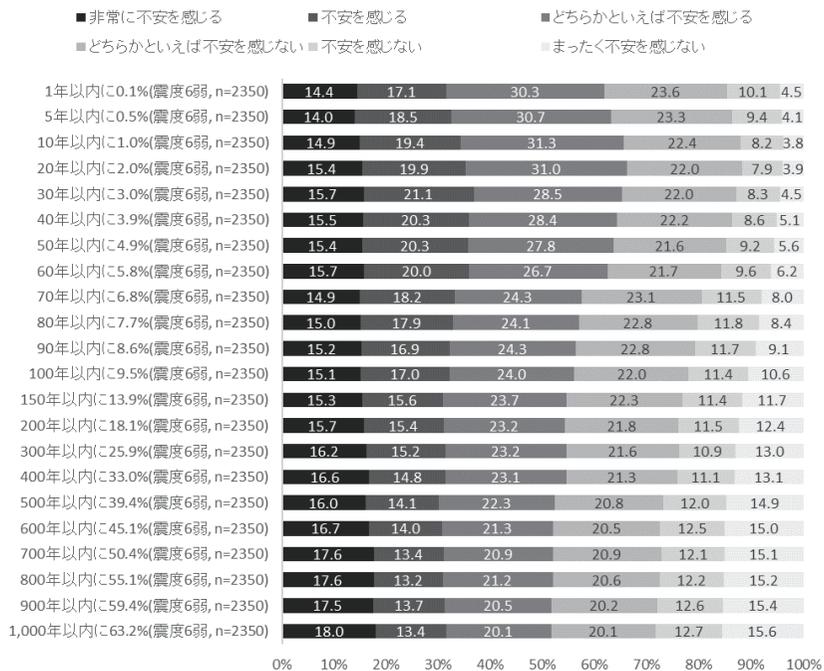


図 4.2.2 どの程度不安を感じるか（「30年以内に3.0%」軸、震度6弱）（N=2,350）

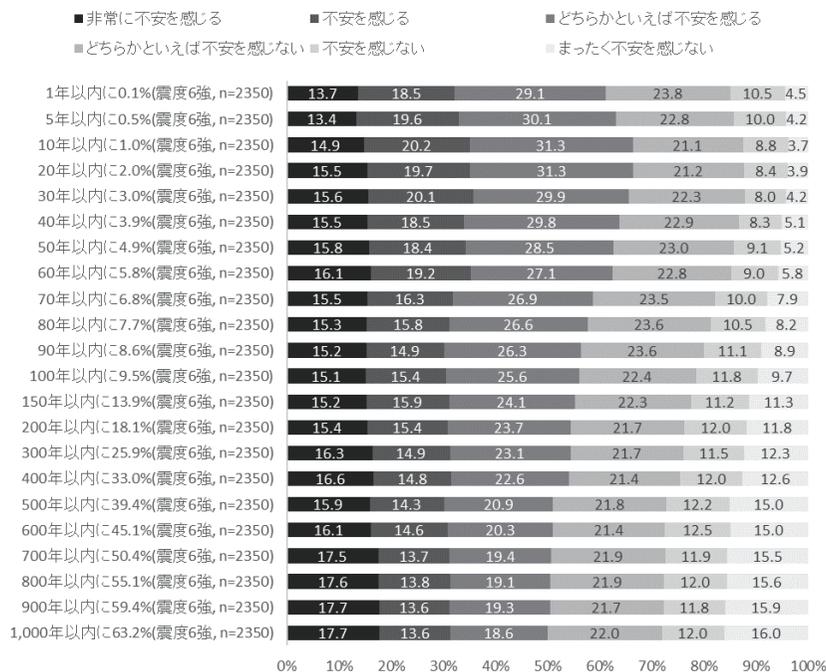


図 4.2.3 どの程度不安を感じるか（「30年以内に3.0%」軸、震度6強）（N=2,350）

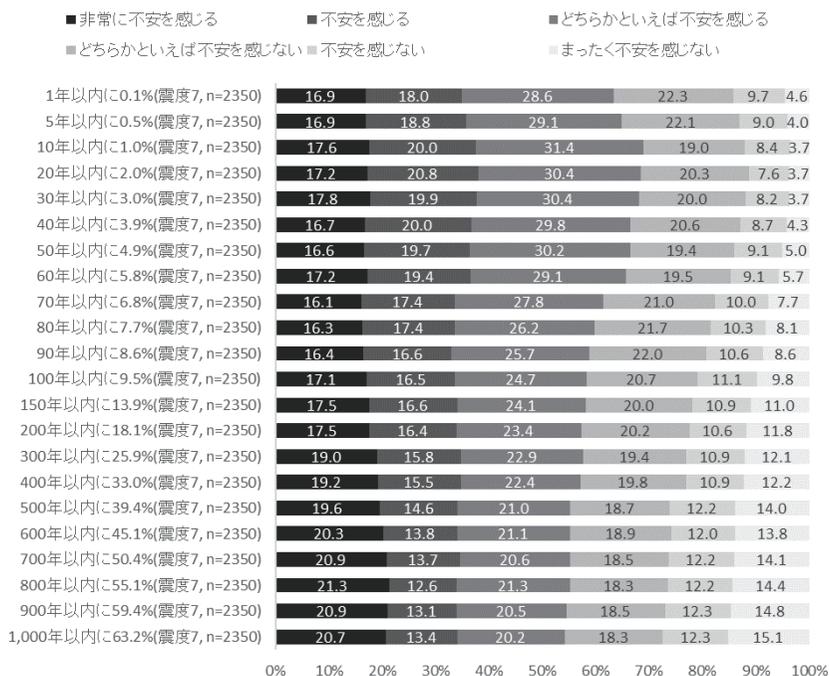


図 4.2.4 どの程度不安を感じるか（「30年以内に3.0%」軸、震度7）（N=2,350）

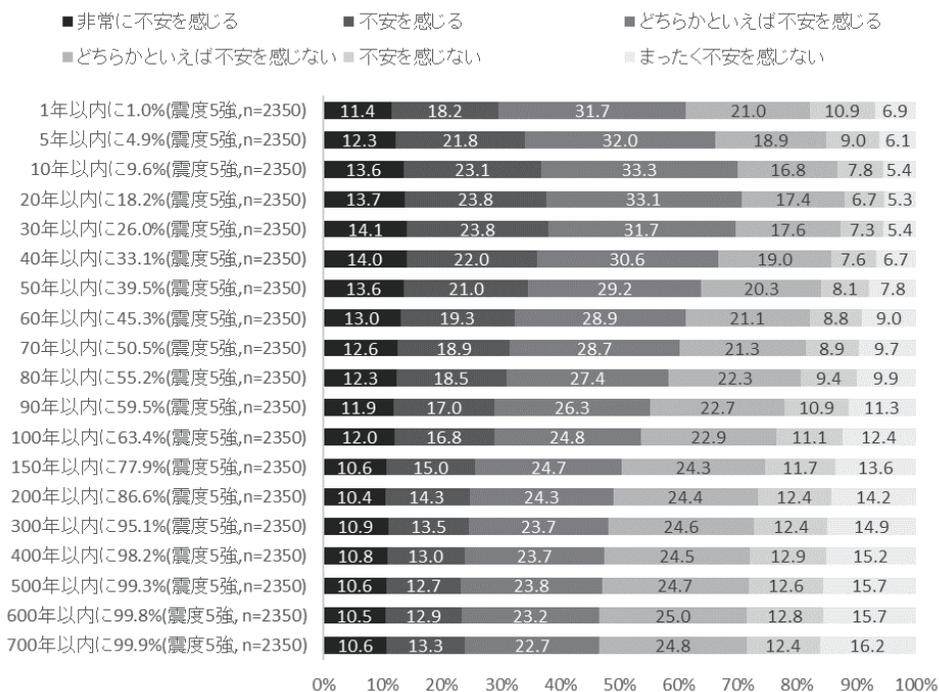


図 4.2.5 どの程度不安を感じるか（「30年以内に26.0%」軸、震度5強）（N=2,350）

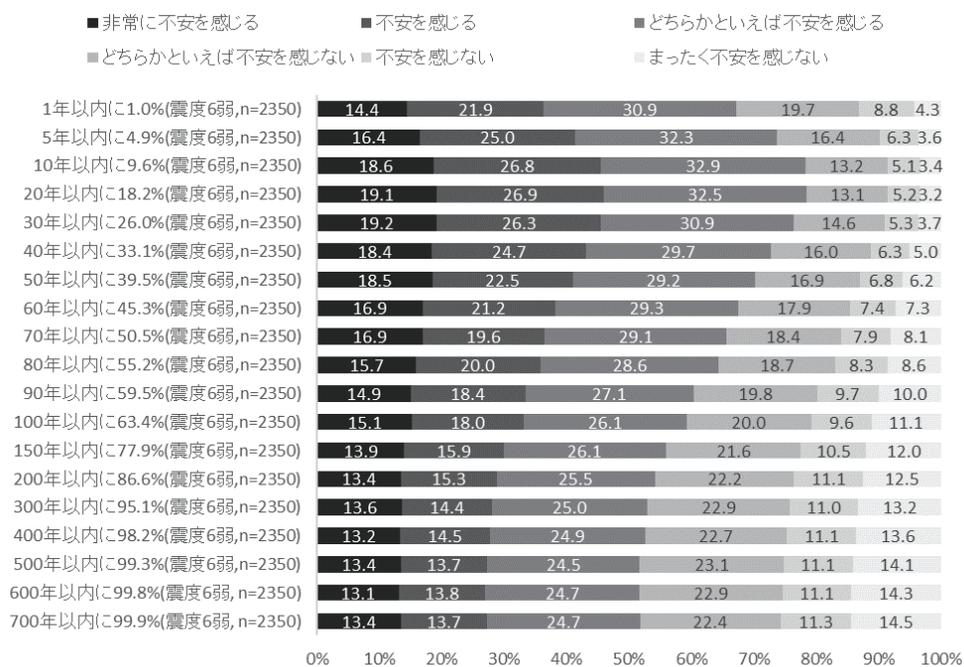


図 4.2.6 どの程度不安を感じるか（「30年以内に26.0%」軸、震度6弱）（N=2,350）

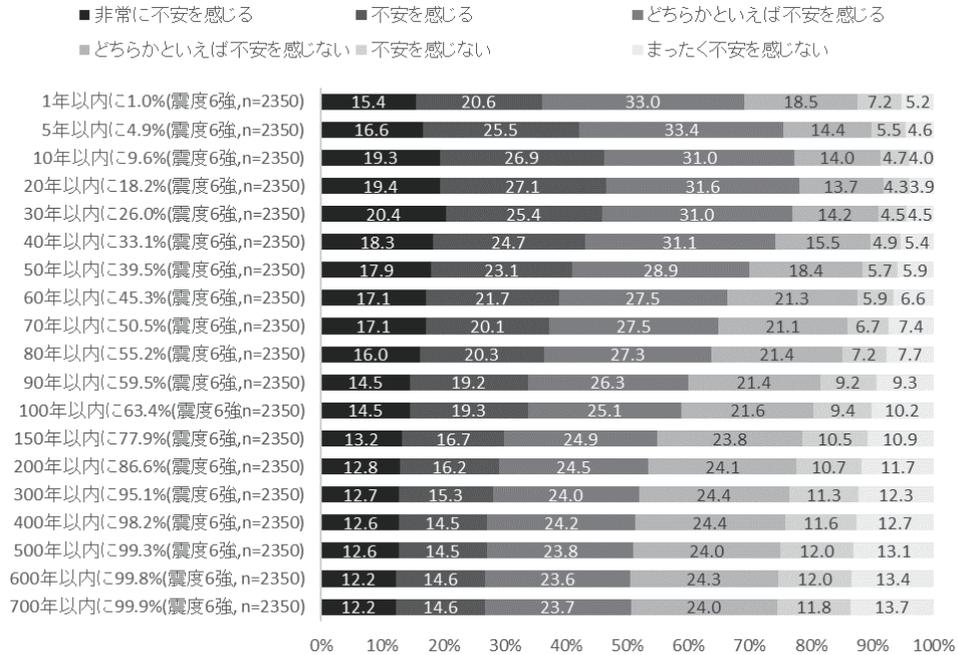


図 4.2.7 どの程度不安を感じるか（「30年以内に26.0%」軸、震度6強）（N=2,350）



図 4.2.8 どの程度不安を感じるか（「30年以内に26.0%」軸、震度7）（N=2,350）

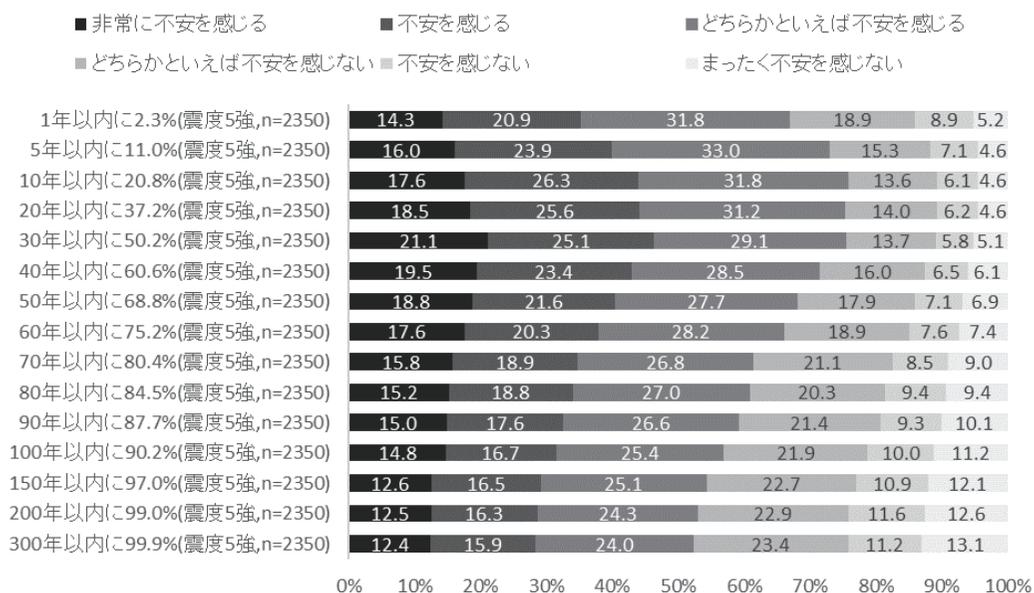


図 4.2.9 どの程度不安を感じるか（「30年以内に50.2%」軸、震度5強）（N=2,350）

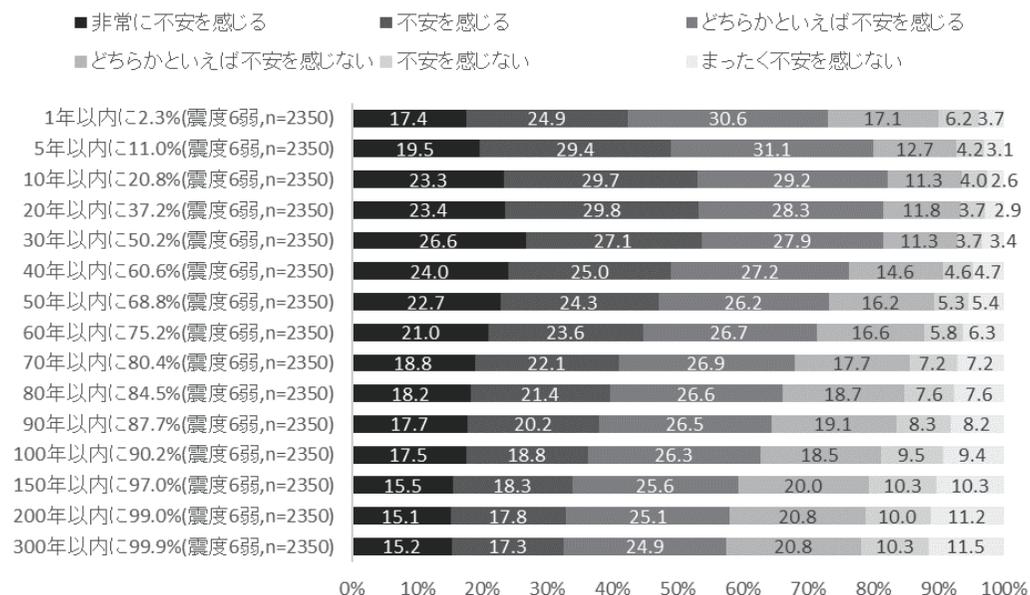


図 4.2.10 どの程度不安を感じるか（「30年以内に50.2%」軸、震度6弱）（N=2,350）

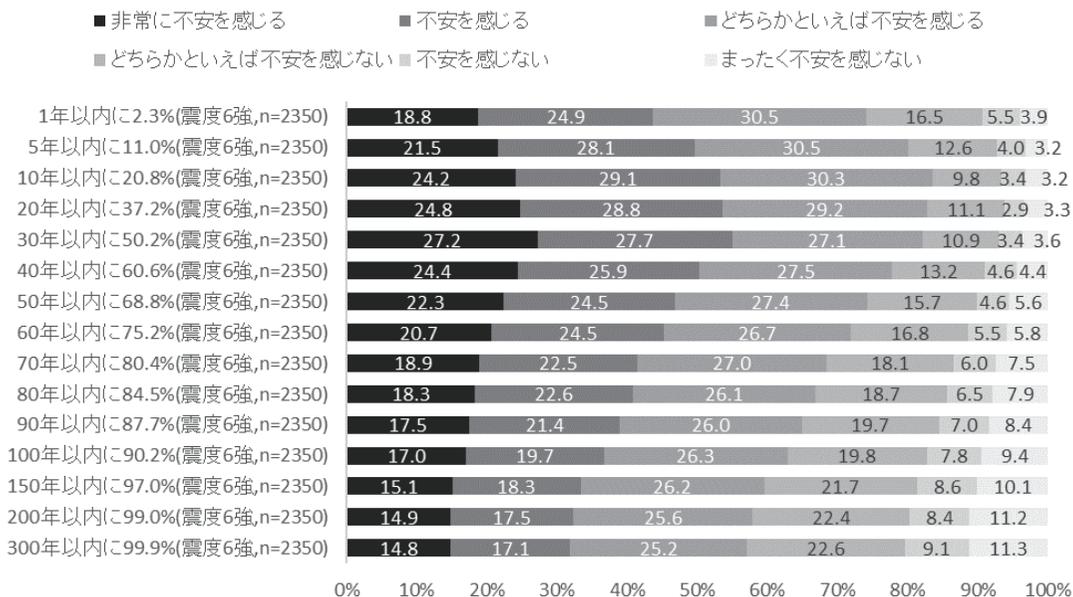


図 4. 2. 11 どの程度不安を感じるか（「30年以内に50.2%」軸、震度6強）（N=2,350）

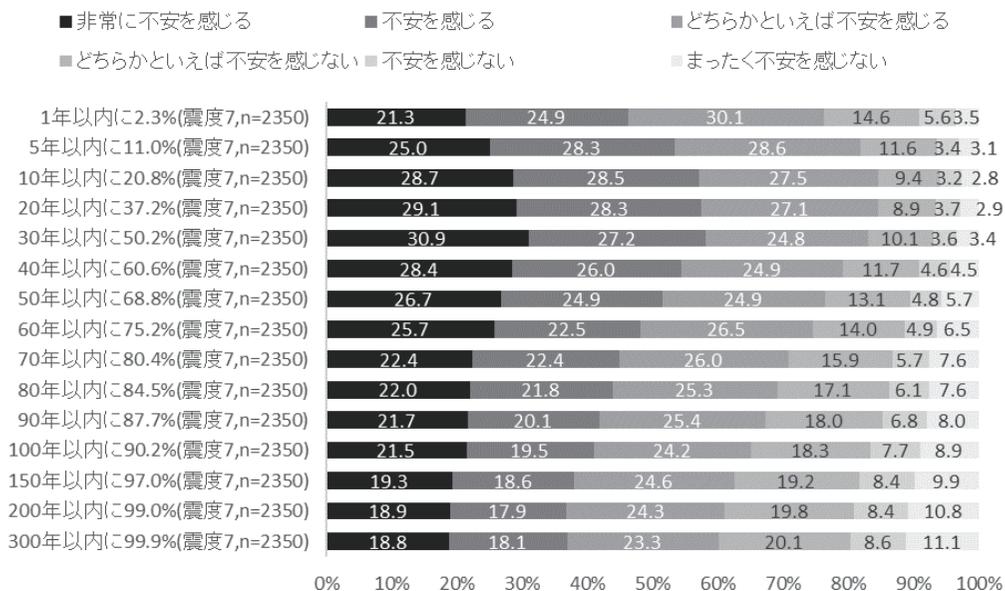


図 4. 2. 12 どの程度不安を感じるか（「30年以内に50.2%」軸、震度7）（N=2,350）

表 4.2.1 不安感がピークになる年確率

【30年確率3.0%を軸とした場合】				
	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
不安感のピーク（第一位）	20年確率	20年確率	20年確率	10年確率
（回答割合）	(59.5%)	(66.2%)	(66.5%)	(68.9%)
不安感のピーク（第二位）	30年確率	10年確率	10年確率	20年確率
（回答割合）	(59.2%)	(65.6%)	(66.3%)	(68.4%)
不安感のピーク（第三位）	10年確率	30年確率	30年確率	30年確率
（回答割合）	(58.3%)	(65.2%)	(65.6%)	(68.1%)
【30年確率26.0%を軸とした場合】				
	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
不安感のピーク（第一位）	20年確率	20年確率	20年確率	10年確率
（回答割合）	(70.6%)	(78.4%)	(78.0%)	(81.5%)
不安感のピーク（第二位）	10年確率	10年確率	10年確率	20年確率
（回答割合）	(70.0%)	(78.3%)	(77.2%)	(80.5%)
不安感のピーク（第三位）	30年確率	30年確率	30年確率	30年確率
（回答割合）	(69.7%)	(76.3%)	(76.9%)	(77.7%)
【30年確率50.2%を軸とした場合】				
	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
不安感のピーク（第一位）	10年確率	10年確率	10年確率	10年確率、
（回答割合）	(75.7%)	(82.2%)	(83.5%)	20年確率
不安感のピーク（第二位）	30年確率	20年確率、	20年確率	(84.6%)
（回答割合）	(75.4%)	30年確率、	(82.8%)	
不安感のピーク（第三位）	20年確率	(81.5%)	30年確率	30年確率
（回答割合）	(75.3%)		(82.1%)	(83.0%)

表 4.2.1 は、「30年確率 3.0%」軸、「30年確率 26.0%」軸、「30年確率 50.2%」軸、3つのパターンについて、何年確率で示した場合に「不安感」（「非常に不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」の合計）を感じる人の割合がピークとなるかを示した表である。震度階別に見ると、6弱と6強では前後したり大きな違いはないが、震度5強、6（弱、強）、7と上がるにつれて、不安感を感じる人が多くなっている。また30年確率が3.0%か、26.0%か、50.2%かについて見ると、当然のことではあるが、確率が高い方が「不安感」は高まる。またピーク（上位3位まで）は、全て「10年確率」（10年以内に発生する確率で示された場合）～「30年確率」（30年以内に発生する確率で示された場合）であった。

4.3 確率表現を言い換えることで、「対策の必要性」の意識はどう変わるか

次に「対策の必要性」について、「次のような表現で示された場合、どの程度『個人的に（自分自身の）対策の必要性』を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。」と聞いた。回答は「非常に対策の必要性を感じる」～「まったく対策の必要性を感じない」の6件法で回答を得た。「不安感」についてと同様、「30年確率 3.0%」、「30年確率 26.0%」、「30年確率 50.2%」の3つを軸に、それぞれ震度5強、6弱、6強、7の場合について聞いた。対策の必要性について聞

いた結果は、図 4.3.1～図 4.3.12 に示した通りである²。対策の必要性の意識も不安感と同様に「10年確率」～「20年確率」で示したところで最も増え、ピークとなることがわかった。

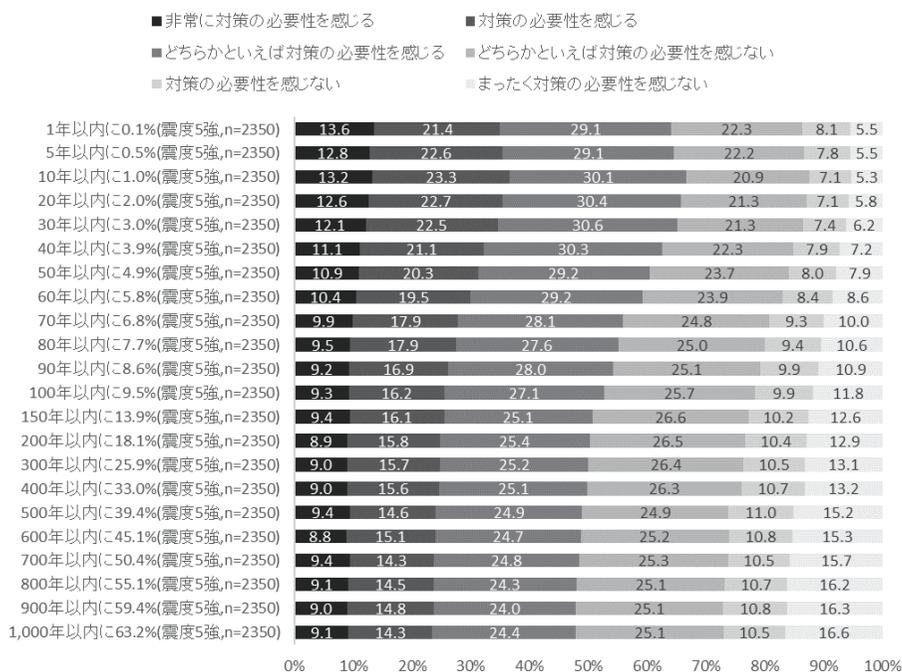


図 4.3.1 対策の必要性の認識（「30年以内に3.0%」軸、震度5強）（N=2,350）

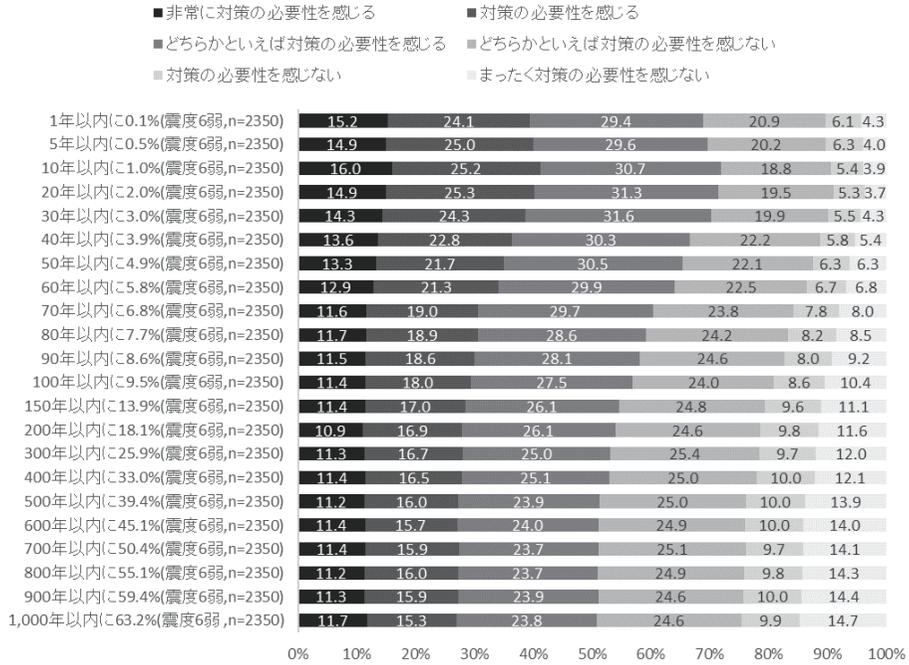


図 4.3.2 対策の必要性の認識（「30年以内に3.0%」軸、震度6弱）（N=2,350）

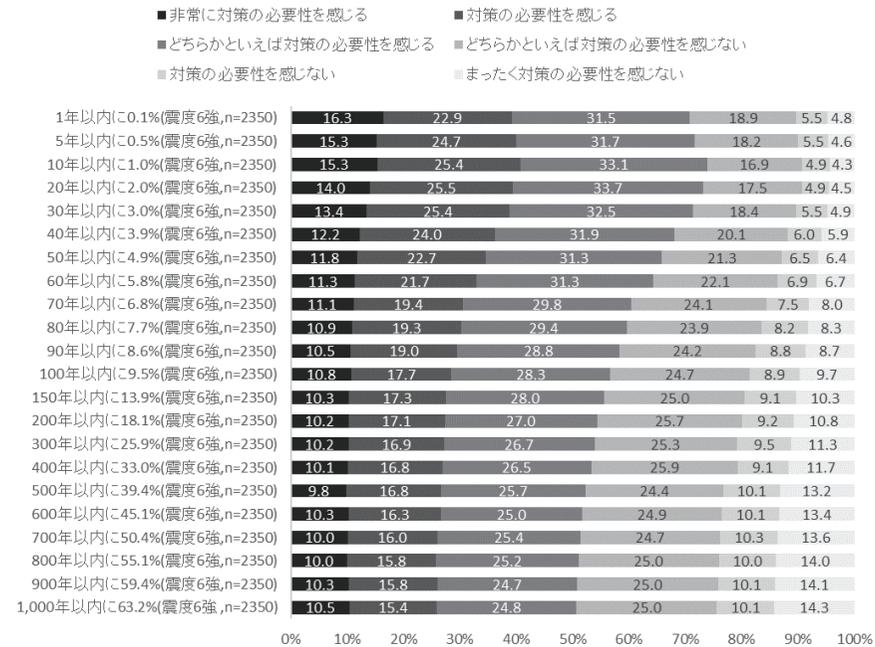


図 4.3.3 対策の必要性の認識（「30年以内に3.0%」軸、震度6強）（N=2,350）

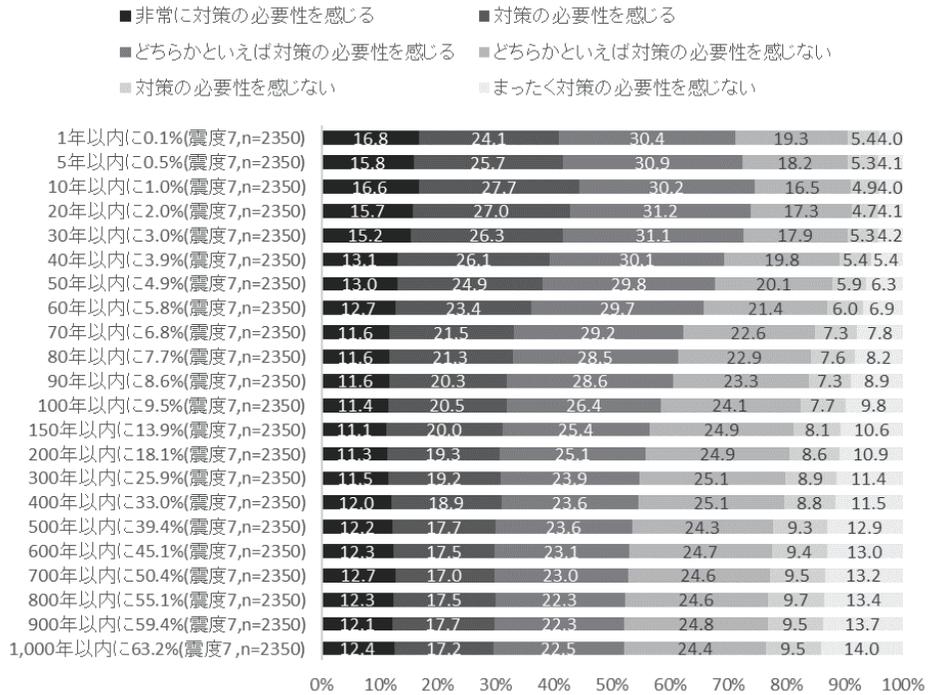


図 4.3.4 対策の必要性の認識（「30年以内に3.0%」軸、震度7）（N=2,350）

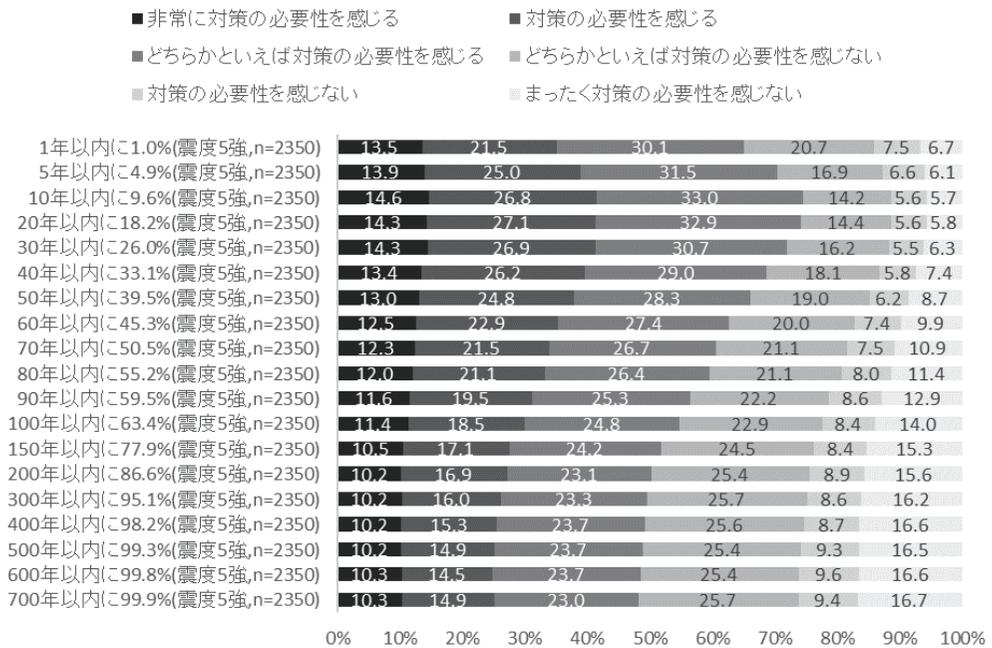


図 4.3.5 対策の必要性の認識（「30年以内に26.0%」軸、震度5強）（N=2,350）

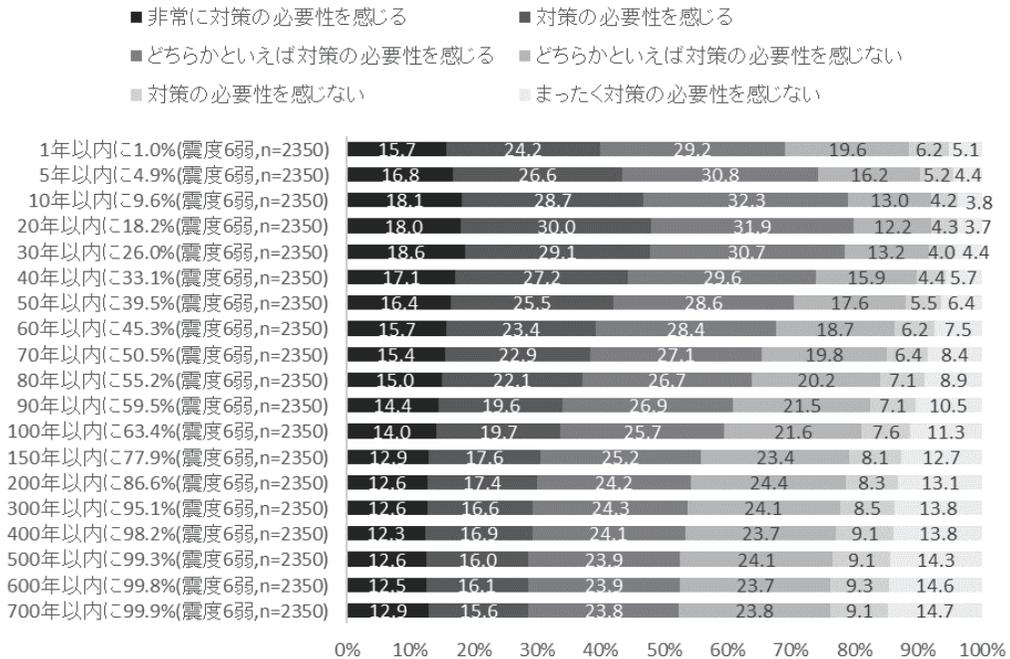


図 4.3.6 対策の必要性の認識（「30年以内に26.0%」軸、震度6弱）（N=2,350）

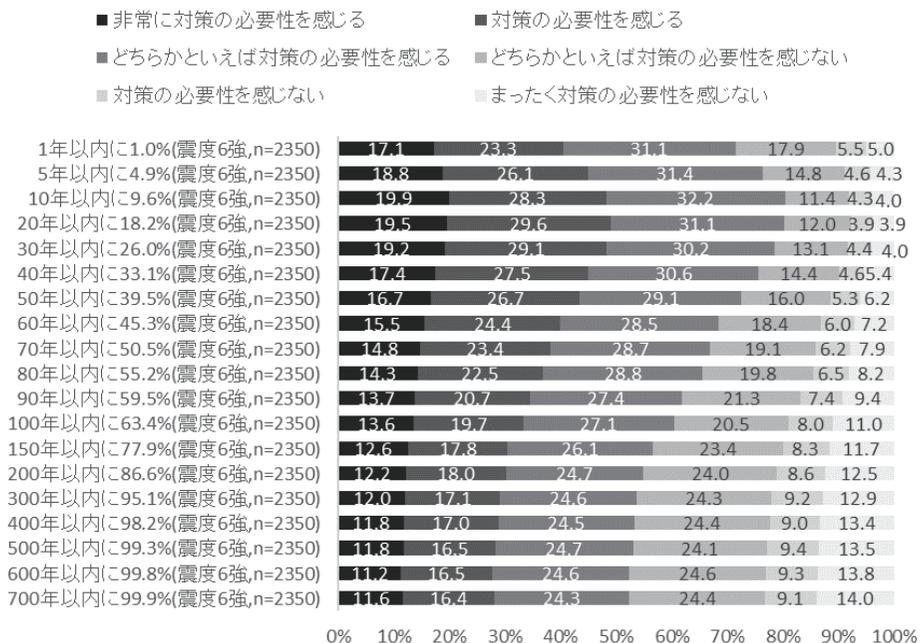


図 4.3.7 対策の必要性の認識（「30年以内に26.0%」軸、震度6強）（N=2,350）



図 4.3.8 対策の必要性の認識（「30年以内に26.0%」軸、震度7）（N=2,350）

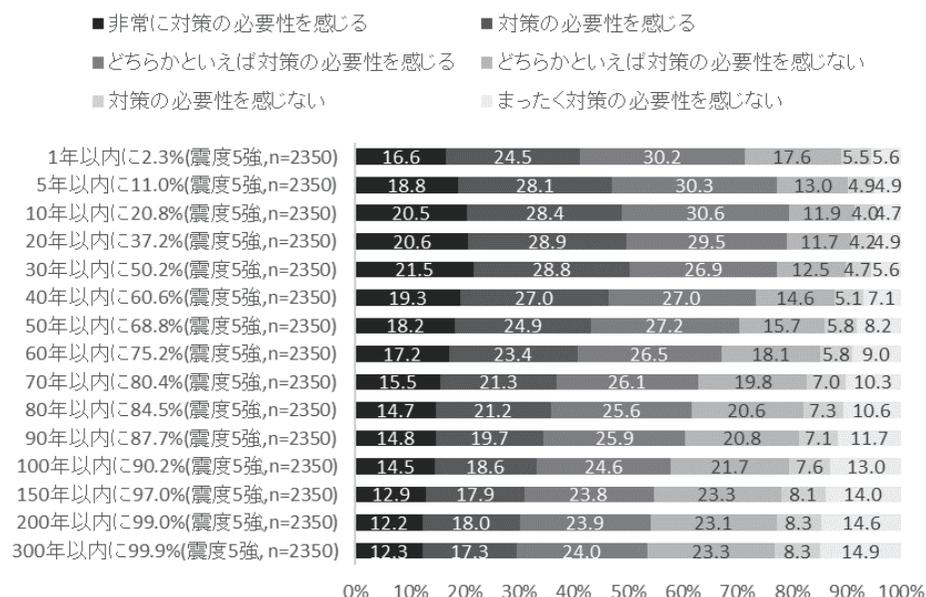


図 4.3.9 対策の必要性の認識（「30年以内に50.2%」軸、震度5強）（N=2,350）

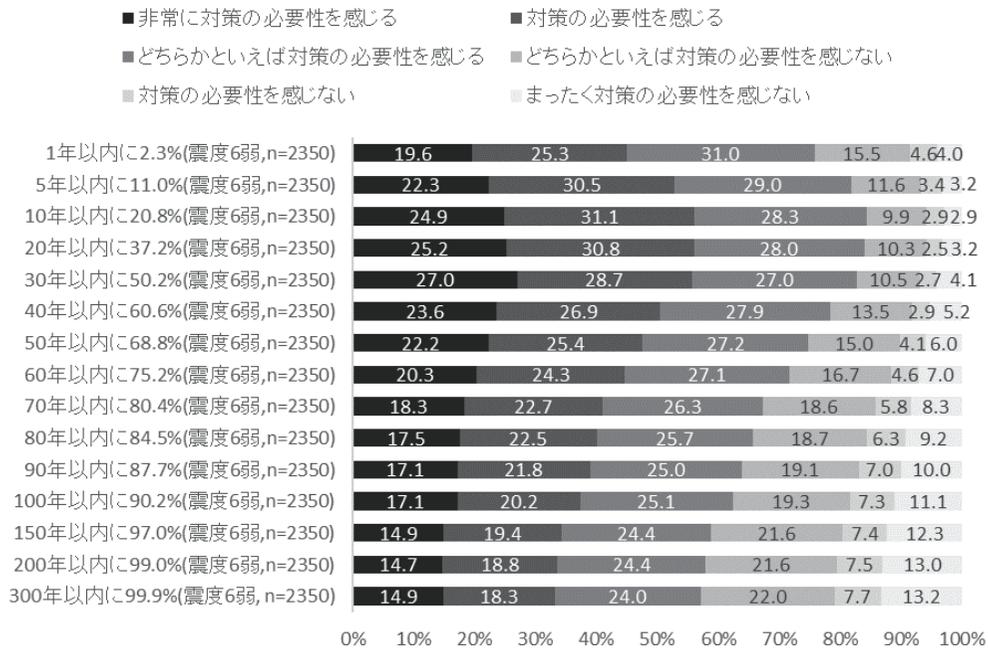


図 4.3.10 対策の必要性の認識（「30年以内に50.2%」軸、震度6弱）(N=2,350)

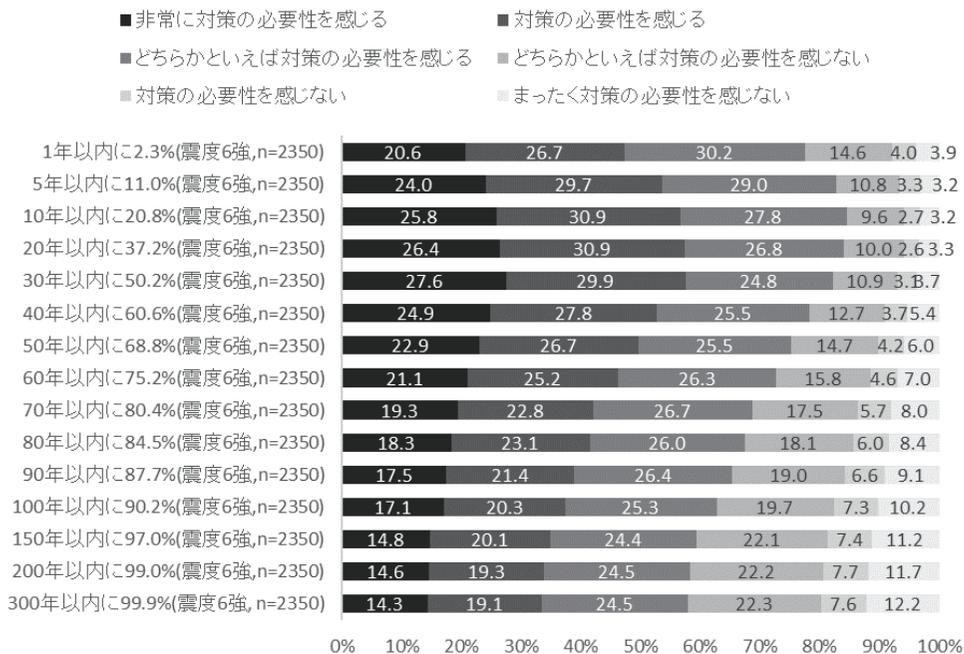


図 4.3.11 対策の必要性の認識（「30年以内に50.2%」軸、震度6強）(N=2,350)

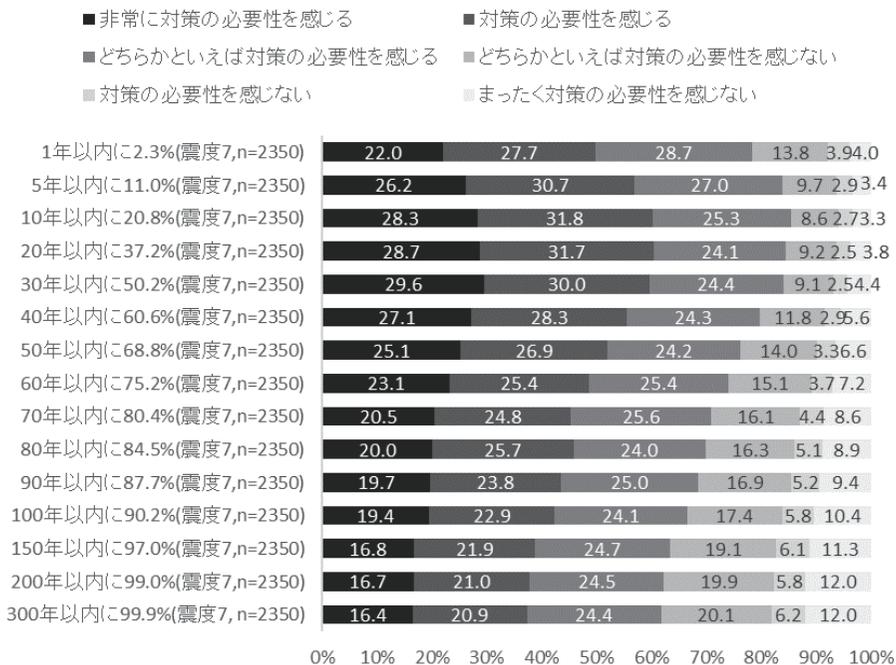


図 4.3.12 対策の必要性の認識（「30年以内に50.2%」軸、震度7）（N=2,350）

表 4.3.1 対策の必要性の意識がピークになる年確率

【30年確率3.0%を軸とした場合】				
	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
対策の必要性認識のピーク （第一位）（回答割合）	10年確率 (66.6%)	10年確率 (71.9%)	10年確率 (73.8%)	10年確率 (74.6%)
対策の必要性認識のピーク （第二位）（回答割合）	20年確率 (65.7%)	20年確率 (71.5%)	20年確率 (73.1%)	20年確率 (73.9%)
対策の必要性認識のピーク （第三位）（回答割合）	30年確率 (65.1%)	30年確率 (70.3%)	5年確率 (71.7%)	30年確率 (72.7%)
【30年確率26.0%を軸とした場合】				
	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
対策の必要性認識のピーク （第一位）（回答割合）	10年確率 (74.5%)	20年確率 (79.9%)	10年確率 (80.3%)	20年確率 (81.9%)
対策の必要性認識のピーク （第二位）（回答割合）	20年確率 (74.2%)	10年確率 (79.0%)	20年確率 (80.2%)	10年確率 (81.5%)
対策の必要性認識のピーク （第三位）（回答割合）	30年確率 (72.0%)	30年確率 (78.4%)	30年確率 (78.5%)	30年確率 (80.2%)
【30年確率50.2%を軸とした場合】				
	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
対策の必要性認識のピーク （第一位）（回答割合）	10年確率 (79.4%)	10年確率 (84.3%)	10年確率 (84.5%)	10年確率 (85.4%)
対策の必要性認識のピーク （第二位）（回答割合）	20年確率 (79.1%)	20年確率 (84.0%)	20年確率 (84.1%)	20年確率 (84.5%)
対策の必要性認識のピーク （第三位）（回答割合）	30年確率、 5年確率 (77.2%)	30年確率 (82.7%)	5年確率 (82.7%)	30年確率 (84.0%)

結果、いずれの確率及び震度に関しても「不安感」と同様、「10年～20年確率」で表現したところに最大のピークがあるとわかった(表 4.3.1)。具体的には図 4.3.1～図 4.3.12 で示した通りである。30年確率 3.0%、26.0%、50.2%のいずれにおいても、震度 5 強、6 弱、6 強、7 のいずれの震度階についても、共通して「対策の必要性」認識が最も高まるのは、「10年確率」～「20年確率」で示されたときであった(表 4.3.1)。震度階別に見ても、「不安感」についてと同様、6 弱と 6 強では前後したり大きな違いはないが、震度 5 強、6 (弱、強)、7 と上がるにつれて、「対策の必要性」の意識が高まる傾向にあった。また 30年確率が、3.0%、26.0%、50.2%と、高くなる方が、当然のことではあるが「対策の必要性」意識は高まることが確認できた。「不安感」と異なるのは、第三番目のピークに「5年確率」も若干含まれるということであった。

4.4 自発的に「不安感」や「対策の必要性」を意識する確率は、何%程度か

ここで各個人が自発的に、各震度階において、30年以内に「何%以上」と示されることでその確率が「高い」と感じたり、「不安」を感じたり、「個人的に(自分自身の)対策の必要性」を認識するのか。自由記述で回答してもらった結果の平均値を見ていく。

まず何%以上であれば「高い」、「不安」、「個人的に(自分自身の)対策の必要性を感じる」のか。回答の平均値を参照すると、震度 5 強の場合は「40.4～41.4%」、震度 6 弱及び 6 強の場合は「36.1～36.9%」、震度 7 の場合、「34.0～34.1%」で、「高い」と感じたり、「不安」を感じたり、「対策の必要性」を感じるものであることが見てとれた。地震動予測地図で「高い」とされる「30年 3.0%」や、最も濃い赤に近い色で示される「30年 26.0%」の確率に比べると、差があると見てとれる。

逆に何%以下であれば、「低い」、「大したことない」、「対策の必要性はない」と感じられるか、回答された確率についても見ていく。震度 5 強の場合は「12.4～13.9%」、震度 6 弱及び 6 強については「11.0～12.8%」、震度 7 の場合は「9.2～10.6%」以下であれば「低い」、「大したことない」、「個人的に(自分自身の)対策の必要性はない」と感じていることが浮き彫りになった。

表 4.4 それぞれ意識を思い起こさせる指標となる確率（平均値）

	震度5強 (n=2,350)	震度6弱 (n=2,350)	震度6強 (n=2,350)	震度7 (n=2,350)
・現在住んでいる場所で震度5強以上（6弱以上、6強以上、7）の地震は、30年以内に○%（何パーセント）以上であれば「高い」と感じますか %	40.4%	36.9%	36.1%	34.1%
・現在住んでいる場所で震度5強以上（6弱以上、6強以上、7）の地震は、30年以内に○%（何パーセント）以上であれば「不安」を感じますか %	41.0%	36.9%	36.7%	34.1%
・現在住んでいる場所で震度5強以上（6弱以上、6強以上、7）の地震は、30年以内に○%（何パーセント）以上であれば「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか %	41.4%	36.9%	36.8%	34.0%
・現在住んでいる場所で震度5強以上（6弱以上、6強以上、7）の地震は、30年以内に○（何パーセント）%以下であれば「低い」と感じますか %	13.9%	12.8%	12.4%	10.6%
・現在住んでいる場所で震度5強以上の地震（6弱以上、6強以上、7）は、30年以内に○（何パーセント）%以下であれば「大したことない」を感じますか %	12.4%	11.6%	11.2%	9.4%
・現在住んでいる場所で震度5強以上の地震（6弱以上、6強以上、7）は、30年以内に○（何パーセント）%以下であれば「個人的に（自分自身の）対策の必要性はない」と感じますか %	12.6%	11.6%	11.0%	9.2%

5. 地震に関する意識

5.1 地震動予測地図に関わる諸意識

最後に、地震動予測地図に関わる諸意識について見ていく。「地震動予測地図の表現の仕方や確率について、それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。(Q.34)」と聞き、「強くそう思う」～「まったくそう思わない」の6件法で聞いた。

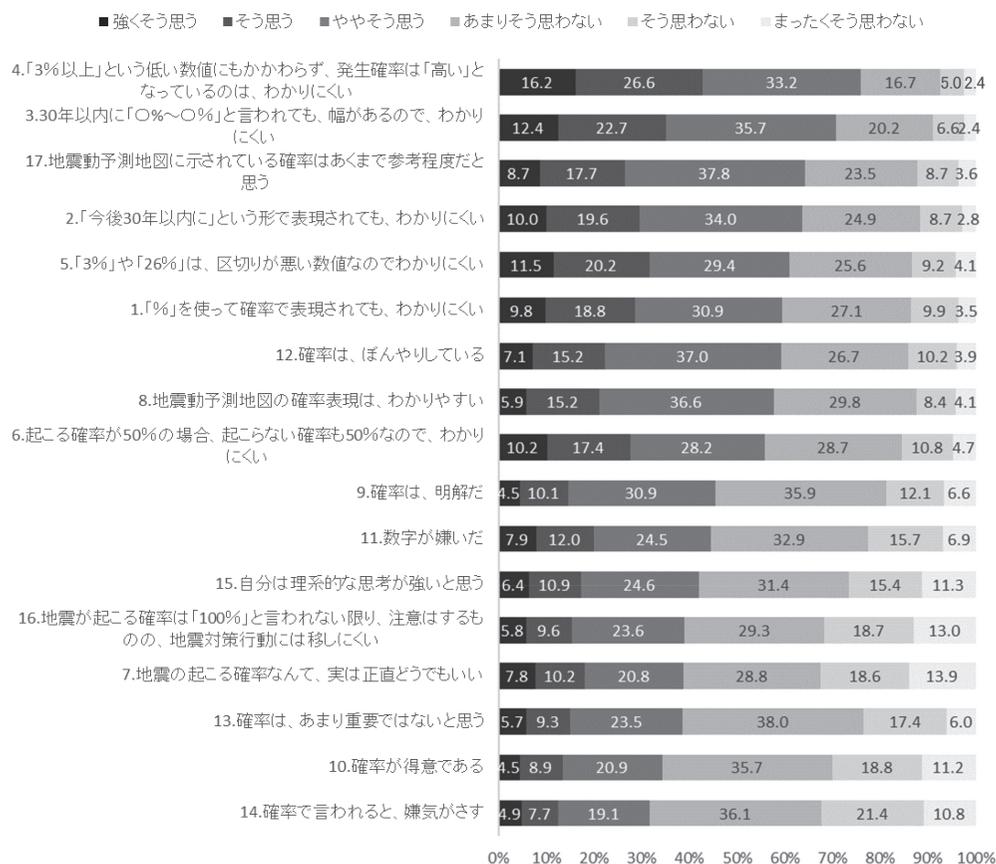


図 5.1 地震動予測地図を見て感じる事 (N=9,400)

上位3位まで見ると、「『3%以上』という低い数値にもかかわらず、発生確率は『高い』となっているのは、わかりにくい」が76.0%（「強くそう思う」+「そう思う」+「ややそう思う」の合計、以下同様）、「30年以内に『〇%～〇%』と言われても、幅があるのでわかりにくい」が70.8%、「地震動予測地図に示されている確率はあくまで参考程度だと思ふ」が64.2%で、順に多かった（図5.1）。

一方、下位3位まで見ると、6割以上が「そう思わない」（「あまりそう思わない」

+「そう思わない」+「まったくそう思わない」の合計)と回答していた項目として、「確率で言われると嫌気がさす」(68.3%)、「確率が得意である」(65.7%)、「確率は、あまり重要ではないと思う」(61.4%)があげられた。これらの結果から、確率に関して重要性が認識されつつ、得意ではないが、嫌気がさすわけでもないといった像が浮かび上がった。

5.2 その他のリスク評価及び職業と比較した、地震及び地震学、地震学者への意識

地震その他のリスク評価、及びさまざまな職業分野を含めた地震のリスク評価や地震学及び地震学者に対する意識についても聞いた。まず「地震の予測」の他、「天気予報」、「火山の噴火予知」、「景気の前測」が、どの程度可能と考えられているのか見ていく。

「あなたは、現在の地震学・科学による地震動の事前の予測は可能だと思いますか。あなたの主観でかまいませんので、あてはまるものを1つだけお選びください。

(Q.36)」と聞いた。回答項目は、それぞれ「精度は極めて高く、ほぼ確実に予測(予報、予知)できる」～「精度は極めて低く、まったく予測(予報、予知)できない」の5件法で回答を得た。

その結果、「天気の前報」は「予報できる」(「精度は極めて高く、ほぼ確実に予報できる」+「精度は高く、ある程度の精度で予報できる」の合計)が、過半数で多く53.2%であったが、「地震の予測」、「火山の噴火の予知」、「景気の前測」については、「予測(予知)できるものもある」という回答が最も多く、「予測(予知)できない」との回答と合わせると、7～8割以上が「できるものもある」、あるいは「できない」といった回答であった(図5.2)。

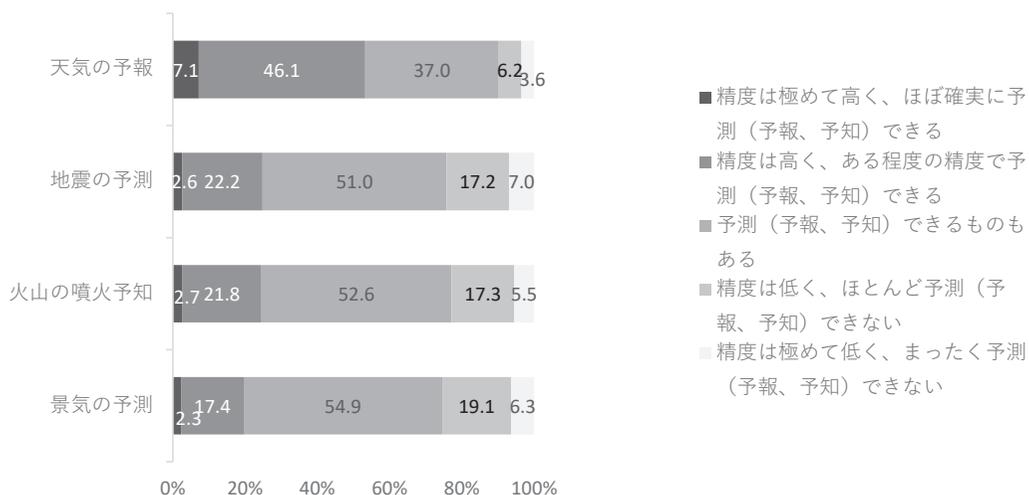


図 5.2 予測・予報・予知に対する意識

さらに地震学者をはじめ、気象庁、火山学者、経済学者、それ以外のさまざまな職業及び組織に対して「一般的に言って、次のような人や組織を信頼していますか。それぞれ、あてはまるものを1つだけお選び下さい（Q.41）」と聞き、「非常に信頼している」～「まったく信頼していない」の4件法で聞いた。

「地震学者」について、「信頼している」（「非常に信頼している」＋「ある程度信頼している」の合計）は、6割超（61.9%）であった（図5.3）。また先の予報、予測、予知の可能性をどう見ているかと（図5.2）、それぞれを担うと思われる職業に対する信頼感が関わっている可能性があるのか、「気象庁」については、8割超（81.7%）、地震学者及び火山学者は6割超（それぞれ61.9%、61.5%）、経済学者は4割超（41.5%）であった（図5.3）。

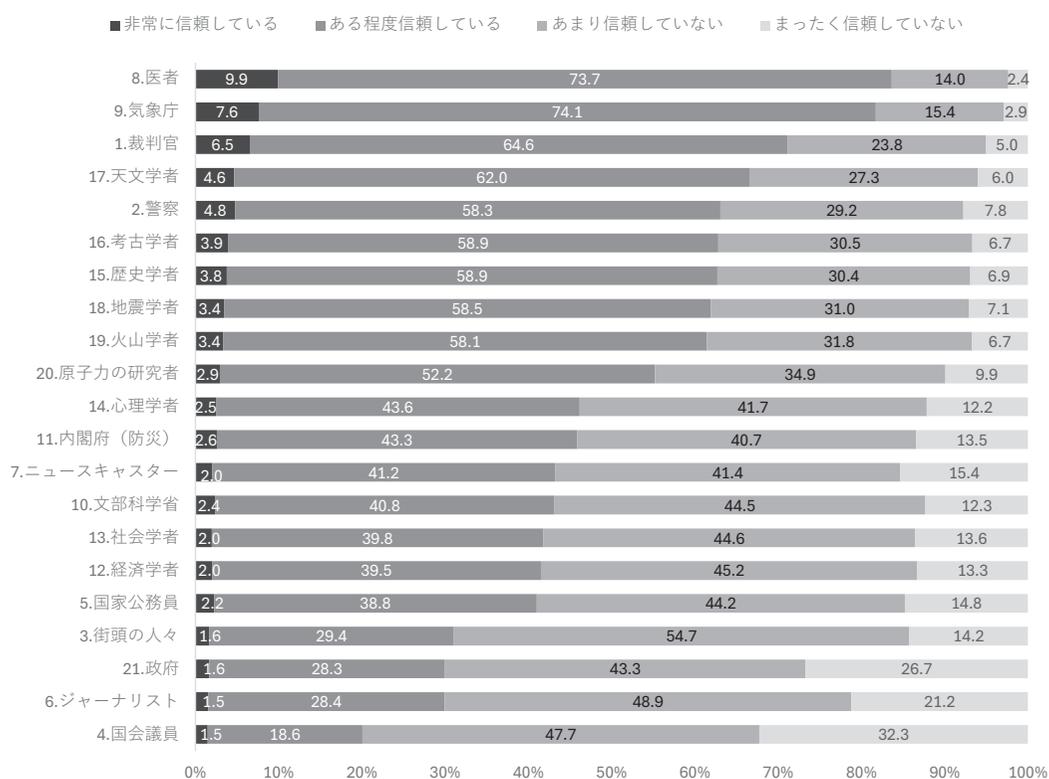


図 5.3 職業に対する信頼性（n=9,400）

他にも医者、気象庁、また地震に関する政策に関わると考えられる政府と比較し、これまで議論してきた地震を扱う地震学者の業務に対する信頼について聞いた（Q.42）。結果を参照すると、「医者の診断や治療」、「気象庁の気象予報や気象観測」に対し

て信頼度が高く、また「地震学者の地震の解説」について、約7割（66.0%）が信頼（「非常に信頼している」＋「ある程度信頼している」）を示し、「地震学者の地震の予測」についても約6割（60.6%）が信頼を示し、いずれも6割以上であることが見てとれた（図5.4）。

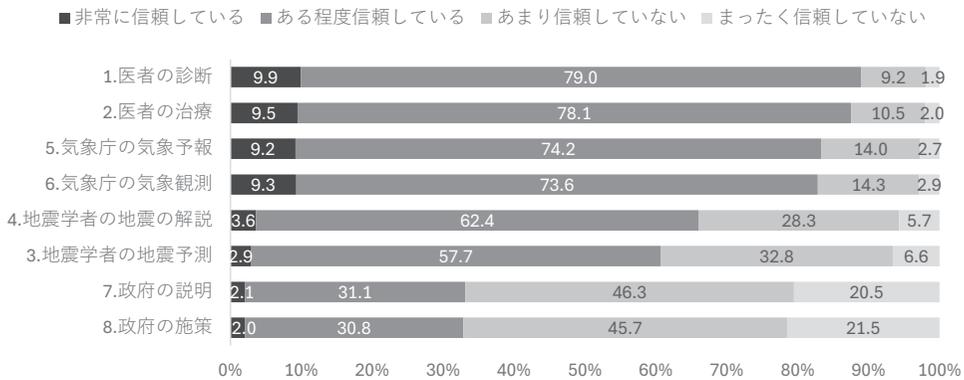


図 5.4 各業務内容に対する信頼性 (n=9,400)

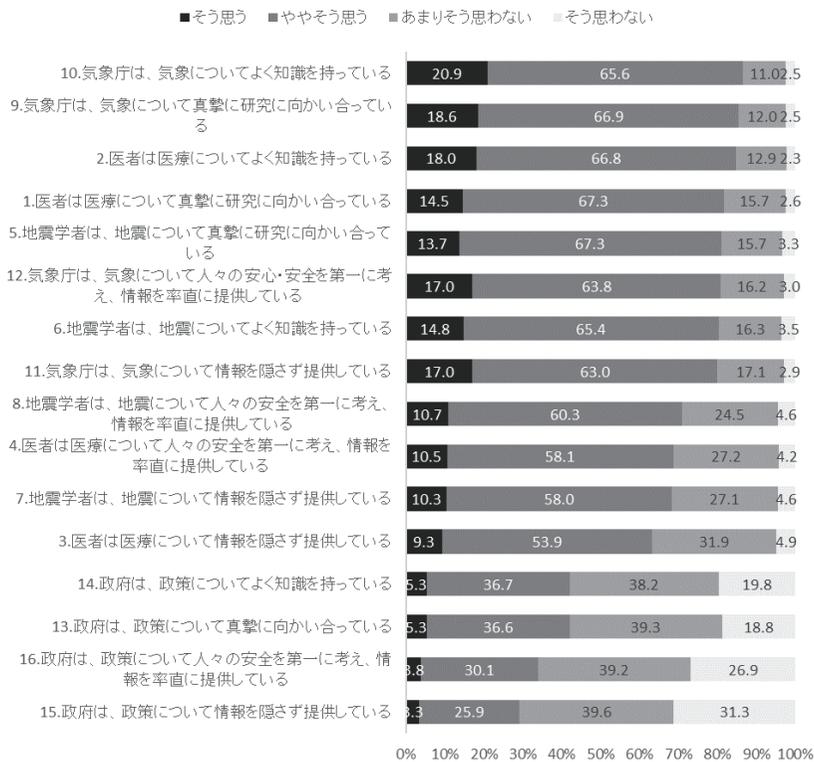


図 5.5 各業務への取り組みに関する信頼感 (n=9,400)

業務への取り組みについても、「地震学者」に焦点をあけると「そう思う」（「そう思う」＋「ややそう思う」の合計）の回答率をもとに、「5.地震学者は、地震について真摯に研究に向かい合っている」（81.0%）、「6.地震学者は、地震についてよく知識を持っている」（80.2%）、「8.地震学者は、地震について人々の安全を第一に考え、情報を率直に提供している」（71.0%）、「7.地震学者は、地震について情報を隠さず提供している」（68.3%）と、それぞれが約7割～8割程度、肯定的に捉えていると見てとれた（図5.5）。

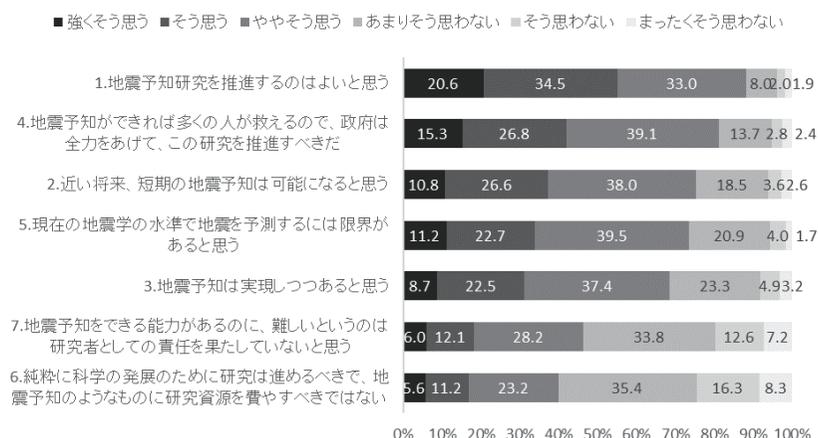


図 5.6 地震予知に関する意識 (n=9,400)

さらに地震予知研究を進めていくこと等に対する意識についても、好意的な意識が多くみられ、「地震予知研究を推進するのはよいと思う」に対しては「そう思う」（「強くそう思う」＋「そう思う」＋「ややそう思う」の合計）が約9割（88.1%）、「地震予知ができれば多くの人が救えるので、政府は全力をあげて、この研究を推進すべきだ」についても約8割（81.2%）が合意を示している（図5.6）。

そして、「純粋に科学の発展のために研究を進めるべきで、地震予知のようなものに研究費を費やすべきではない」は、「そう思わない」（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」＋「まったくそう思わない」）が6割（60.0%）が多かった。

6. おわりに—まとめ

本研究では、地震防災に資することを目的として国に作成された地震動予測地図に焦点をあて、地震への不安感や、地震に関する情報源、地震防災対策の現状、地震動予測地図の認知や信頼、示される確率に対する意識、地震学者に対する意識などについて調査した結果を報告した。結果、下記の諸点が明らかになった。

(1) 自然災害等の中で最も不安感(「非常に不安を感じる」+「やや不安を感じる」の合計)が高いのは、「地震」(83.8%)であった。感染症への不安感(82.1%)が非常に高まっていた時期においても、全体的には「地震」への不安感がより高かった。

(2) 地震に関する情報源として「よくある」のは、メディアに関しては「テレビのニュース」(55.3%)、「ネットのニュース」(46.5%)、「ネットの情報(報道機関のニュース以外)」(31.0%)、人とのコミュニケーションについては「家族」(36.2%)、「職場の人」(21.3%)、「友人・知人」(10.8%)であった

(3) また「地震対策」は、約8割(77.0%)が何かしらの対策を行っている一方で、約2割(23.0%)は「地震対策は行っていない」としていた。対策を行っている理由は、「大きな地震があったこと」(80.0%)が主な理由であるが、他に「メディアを通して地震対策の必要性を感じたこと」(39.7%)の他、「地震動予測地図やハザードマップを見たこと」(14.0%)の順に多くあげられていた。一方、対策を行わない理由としては、「特に理由はなく、なんとなく行っていない」(48.5%)が最も多かった。

(4) 地震動予測地図の認知度は、約4割(43.7%)であり、地震動予測地図に対する信頼感について、地図については82.2%(「非常に信頼できる」+「ある程度信頼できる」)、発生確率については80.7%と、いずれも8割以上と高かった。

(5) 地震動予測地図で示される確率表現について「不安感」や「対策の必要性」を示す人が最も多くなるのは、「30年以内に3.0%」、「30年以内に26.0%」、「30年以内に50.2%」、どれを軸とした場合でも、さらに、震度5強、6弱、6強、7のどの場合においても「10年確率」(10年以内に発生する確率)～「20年確率」(20年以内に発生する確率)で示したところであることがわかった。ピークを超えて、40年確率、50年確率、60年確率…と長くなると、示される確率の数値は高くなるものの、期間が長すぎておそらく切迫性も感じられにくくなり、イメージしにくくなるなどの理由から、「不安感」も「対策の必要性」の意識も下がるのではないかと考察される。また一方で、年確率、例えば最も短い「1年確率」において「不安感」や「対策の必要性」の意識が最大化するわけでもなかった。このことから、「10年確率」～「20年確率」がより“効果的”なのではないかと考えられた。

(6) 一方、「30年以内に〇%」で確率が「高い」、「不安」、「対策の必要性が必要」と認識されるのか、自由記述式で回答を得た結果、大体平均 35.0%~40.0%程度であることがわかった。

(7) 地震予知研究を進めていくことに対しては、好意的な意見が多く、約 9 割(88.1%)が「地震予知研究を推進するのはよいと思う」としており、さらなる研究が求められている。

以上が、本研究から得られた結果である。

註

¹ 本報告の他属性別すなわち性別、年代、地域（太平洋沿岸地域、日本海沿岸地域）による、確率表現に対する認知の違いや意識の違いに関する分析については、参考文献内 Saito, Yasumoto & Sekiya(2022)を参照いただきたい。

² 図 4.1.1~図 4.1.12 及び図 5.1.1~図 5.1.12 の図中の%は、四捨五入をして表示しているため、表示の%を足し合わせても 100%にならない箇所もある。

参考文献

防災科学技術研究所ウェブサイト「全国地震動予測地図とは」<https://www.jishis.bosai.go.jp/shm> (2024年1月28日アクセス)

廣井脩 (1995) 『災害と日本人—巨大地震の社会心理』時事通信社。

堀洋直監修：吉田富二雄編 (2001) 『心理測定尺度集Ⅱ—人間と社会のつながりをとらえる〈対人関係・価値観〉』、サイエンス社。

地震本部 (2010) 「確率を受け止める上での参考情報」

https://www.jishin.go.jp/main/chousa/10_yosokuchizu/k_sanko.pdf (2024年1月28日アクセス)

地震本部 (2014) 「地震調査研究成果の普及展開方策に関する調査について」
https://www.jishin.go.jp/resource/column/kohyo_sum2_kohyo_sum2/ (2024年1月28日アクセス)

地震本部 (2021) 「全国地震動予測地図 2020年版」

https://www.jishin.go.jp/evaluation/seismic_hazard_map/shm_report/shm_report_2020/ (2024年1月28日アクセス)

中谷内一也 (2012) 『リスクの社会心理学—人間の理解と信頼の構築に向けて』有斐閣。

齋藤さやか・関谷直也 (2017) 「地震発生確率とリスク認知—地震動予測地図の確率表現に関する調査研究」『地域安全学会論文集』No31、pp. 49-57.

Sayaka Saito, Shinya Yasumoto and Naoya Sekiya, 2022, Earthquake probability in the National Seismic Hazard Maps for Japan and people' s risk perceptions: the search for more effective expression, Earth, Planets and Space 2022 74:82

附属資料（アンケート調査の単純集計）

■ 自然災害に関する意識についてお伺いします。

Q1.あなたは、下記に示す自然災害などについてどの程度、不安を感じていますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に不安を感じる	やや不安を感じる	どちらともいえない	あまり不安を感じない	まったく不安を感じない
1 地震 (n=9400)	100.0	39.6	44.2	7.8	6.7	1.7
2 津波 (n=9400)	100.0	16.2	23.8	16.0	25.7	18.3
3 河川の氾濫 (n=9400)	100.0	17.2	36.1	17.2	21.2	8.4
4 崖崩れや土石流 (n=9400)	100.0	12.3	25.5	20.6	27.3	14.3
5 火山噴火 (n=9400)	100.0	7.3	15.9	19.6	30.7	26.5
6 大雪 (n=9400)	100.0	13.4	24.5	17.2	24.8	20.1
7 竜巻 (n=9400)	100.0	9.3	26.7	26.7	25.4	11.9
8 台風 (n=9400)	100.0	24.6	48.7	15.3	8.5	2.9
9 感染症 (n=9400)	100.0	45.4	36.7	11.5	4.5	2.0

Q2. あなたは、地震や地震対策について、(1)メディアから情報を得ることはありますか。また、(2)人とのコミュニケーションから情報を得ることはありますか。それぞれ1つずつお選びください。

Q2-1. (1) メディアから

	全体	よくある	ときどきある	まれにある	あまりない	まったくない
1 テレビのニュース (n=9400)	100.0	55.3	28.6	9.4	3.8	2.8
2 新聞記事 (n=9400)	100.0	20.5	23.6	15.9	17.5	22.6
3 雑誌記事 (n=9400)	100.0	4.7	14.6	21.1	30.2	29.4
4 ネットのニュース (n=9400)	100.0	46.5	33.2	12.9	5.0	2.5
5 ネットの情報（報道機関のニュース以外） (n=9400)	100.0	31.0	32.6	18.3	10.9	7.1

Q2-2. (2) 人とのコミュニケーションから

	全体	よくある	ときどきある	まれにある	あまりない	まったくない
1 家族 (n=9400)	100.0	36.2	32.9	14.8	10.1	6.0
2 職場の人 (n=9400)	100.0	21.3	30.7	16.4	12.1	19.5
3 近所の人 (n=9400)	100.0	4.4	14.4	20.6	29.2	31.3
4 友人・知人 (n=9400)	100.0	10.8	32.3	25.8	18.9	12.3
5 専門家 (n=9400)	100.0	4.0	12.2	16.4	23.6	43.8

Q3.あなたはふだん、どのような地震対策を行っていますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

全体 (n=9400)		%
1	非常用持ち出し袋の準備	32.7
2	水の備蓄	43.7
3	食料の備蓄	40.6
4	家具転倒防止	25.8
5	地震保険への加入	30.5
6	出入り口の確保	13.7
7	避難所・避難場所の確認	33.8
8	避難所・避難場所への道順の確認	16.6
9	地震避難訓練・防災訓練への参加	7.8
10	ガラス飛散防止	6.3
11	ブロック塀転倒防止	2.2
12	耐震補強	6.9
13	転居	1.3
14	地震に備えた家族の話し合い	14.3
15	ラジオの準備	21.9
16	寝袋や毛布の準備	10.9
17	その他:	0.6
18	地震対策は行っていない	23.0

Q3-1.あなたが地震対策を始めたきっかけは、何ですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。(いくつでも)

全体 (n=7238)		%
1	大きな地震（東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震など）があったこと	80.0
2	メディア（テレビや新聞、インターネットなど）を通して地震対策の必要性を感じたこと	39.7
3	学校の授業や職場の研修などで地震対策について学んだこと	10.9
4	家族や知人・友人など身近な人が地震対策をしているのを見たこと	9.9
5	家族や知人・友人など身近な人に地震対策をすすめられたこと	7.6
6	防災イベントや防災訓練に参加したこと	7.9
7	地震動予測地図や地震ハザードマップを見たこと	14.0
8	店頭などで防災グッズを見たこと	9.5
9	家族形態の変化があった（結婚や出産、二世帯住宅への引越など）こと	6.0
10	特にきっかけはなく、気づいたらやっていた	7.8
11	その他:	1.1

Q3-2.あなたはなぜ、地震対策を行っていないのですか。(いくつでも)

全体 (n=2162)		%
1	忙しくて暇がないから	9.6
2	面倒だから	16.4
3	自分が大きな地震の被害にあうとは思わないから	8.3
4	地震対策の優先順位は低いから	6.8
5	きっかけがないから	18.7
6	お金がかかるから	14.5
7	地震対策は個人ではなく、国や自治体、その他の組織がやるべきだと思うから	1.7
8	特に理由はなく、なんとなく行っていない	48.5
9	その他:	1.3

Q4.あなたは、現在のご自身の地震対策を自己評価（採点）するとしたら、100点満点中、何点くらいだと思いますか。0～100点の間でお答えください。（SA）

全体 (n=9400)		%
1	100点	0.4
2	90点	0.9
3	80点	3.2
4	70点	7.6
5	60点	13.0
6	50点	19.1
7	40点	9.2
8	30点	15.0
9	20点	10.4
10	10点	9.9
11	0点	11.2

Q5.あなたがまだ取り組めていない地震対策の中で、取り入れたいとお考えのもの（こと）はありますか。もしあれば、お考えのことを、すべてご記入ください。（ご自由にお書きください）（省略）

■「全国地震動予測地図（確率論的地震動予測地図。以下、「地震動予測地図」と表記）」についてお伺いします。以下の「地震動予測地図」は、「今後30年以内に各地点が震度6弱以上の揺れに見舞われる確率を示したもの」です。

Q6.あなたはこれまでに、こうした「地震動予測地図」を見たことがありますか。 ※ [画像を拡大] をクリックしていただくと拡大してご覧いただけます。（SA）

全体 (n=9400)		%
1	見たことがある	43.7
2	今回初めて見た	56.3

Q7.あなたの家がある場所の色は、以下のどれですか。 ※ [画像を拡大] をクリックしていただくと拡大してご覧いただけます。（SA）

全体 (n=9400)		%
1	0～0.1%	8.1
2	0.1～3%	26.9
3	3～6%	21.5
4	6～26%	22.9
5	26～100%	20.6

Q8.あなたは地震動予測地図について、信頼できると思いますか。

全体 (n=9400)		%
1	非常に信頼できる	5.6
2	ある程度信頼できる	76.6
3	あまり信頼できない	15.2
4	まったく信頼できない	2.6

Q9.地震動予測地図には、今後 30 年以内に震度 6 弱以上の地震が発生する確率が示されていますが、あなたは、これらの発生確率を、信頼できますか。※ [画像を拡大] をクリックしていただくと拡大してご覧いただけます。(SA)

全体 (n=9400)		%
1	非常に信頼できる	100.0
2	ある程度信頼できる	6.5
3	あまり信頼できない	74.2
4	まったく信頼できない	16.9
		2.4

Q10.地震動予測地図を見て、あなたは、どのように思いますか。以下それぞれの項目について、あてはまるものを 1 つずつお選びください。※ [画像を拡大] をクリックしていただくと拡大してご覧いただけます。

	全体	強く そう 思う	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思 わない	そう 思 わ ない	ま っ た く そ う 思 わ ない	
1	地図を見て、強い恐怖を感じる (n=9400)	100.0	16.1	26.7	33.4	17.2	4.0	2.7
2	地図を見て、地震のリスクが高いと感じる (n=9400)	100.0	17.2	30.9	33.1	13.4	3.2	2.2
3	地図を見て、地震が来る可能性は地域によって異なるとわかる (n=9400)	100.0	20.0	40.4	27.1	9.0	1.8	1.8
4	地図を見て、もうじき地震が来るのだと感じる (n=9400)	100.0	10.4	21.4	34.3	25.0	5.9	3.0
5	地図を見て、常に地震には警戒していかなければと思う (n=9400)	100.0	18.1	31.0	33.8	12.2	2.8	2.1
6	地図の内容について、詳細にわたって知りたいと思う (n=9400)	100.0	13.1	24.8	34.0	20.3	4.6	3.1
7	地図を見て、地震や地震対策に関する情報収集をもっと積極的に行おうと思う (n=9400)	100.0	11.4	24.8	36.8	20.1	4.1	2.8
8	地図を見て、自分で出来ることから進んで地震対策をしようと思う (n=9400)	100.0	12.2	26.6	39.3	16.2	3.1	2.5
9	地図を見て、定期的に地震対策について見直そうと思う (n=9400)	100.0	10.2	24.1	39.7	19.6	3.7	2.7
10	地図を見て、地震対策を完璧に行おうと思う (n=9400)	100.0	8.1	18.8	35.9	27.9	5.6	3.8
11	地図の内容を、引っ越しする際に参考にしようと思う (n=9400)	100.0	8.6	16.6	27.9	26.5	10.6	9.8
12	地図を見て、地域の人と地震対策についてしっかり話し合いをしたいと思う (n=9400)	100.0	6.5	15.1	33.5	28.8	9.5	6.6
13	地図を見て、身近な人と地震対策についてしっかり話し合いをしたいと思う (n=9400)	100.0	8.9	21.4	36.5	22.1	6.4	4.6
14	地図を見ても、地震のリスクは伝わってこないと思う (n=9400)	100.0	5.3	11.2	22.8	29.5	20.7	10.5
15	地図を見て、大いに地震対策に活用したいと思う (n=9400)	100.0	9.2	23.2	39.0	20.9	4.7	2.9
16	地図を見ても、どう活用すればよいのかわからないと感じる (n=9400)	100.0	6.7	15.6	31.8	28.1	11.8	6.0

■地震予測の表現方法についてお伺いします。

「震度5強の地震」は、非常な恐怖を感じ、多くの人が行動に支障を感じる程の地震、耐震性の低い木造住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがあるほどの地震です。

「震度6弱の地震」は、立っていることが困難になるほどの地震、耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものがあるほどの地震です。「震度6強の地震」は、立っていることができず、はわないと動くことができないほどの地震、耐震性の高い木造住宅でも、壁や柱がかなり破損したり、耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では倒壊するものがあるほどの地震です。「震度7の地震」は、揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できないほどの地震、耐震性の高い木造住宅や鉄筋コンクリート造建物でも、傾いたり、大きく破壊するものがあるほどの地震です。

Q11.地震の発生について次のような表現で示された場合、あなたはどの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

		全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1	30年以内に震度5強の地震が発生する確率は「やや高い」 (n=9400)	100.0	19.4	30.5	33.8	11.1	3.3	1.9
2	30年以内に震度5強の地震が発生する確率は「高い」 (n=9400)	100.0	23.2	33.5	29.6	9.1	2.7	1.8
3	30年以内に震度6弱の地震が発生する確率は「やや高い」 (n=9400)	100.0	26.6	32.6	28.4	8.6	2.3	1.6
4	30年以内に震度6弱の地震が発生する確率は「高い」 (n=9400)	100.0	32.4	32.8	23.8	7.4	2.0	1.5
5	30年以内に震度6強の地震が発生する確率は「やや高い」 (n=9400)	100.0	32.6	31.7	24.8	7.4	2.0	1.5
6	30年以内に震度6強の地震が発生する確率は「高い」 (n=9400)	100.0	38.9	30.7	21.1	6.0	1.8	1.5
7	30年以内に震度7の地震が発生する確率は「やや高い」 (n=9400)	100.0	43.7	25.9	20.4	6.5	2.0	1.6
8	30年以内に震度7の地震が発生する確率は「高い」 (n=9400)	100.0	49.7	23.1	18.0	5.9	1.7	1.6

Q12.地震の発生について次のような表現で示された場合、あなたはどの程度「個人的に(自分自身の)対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要性 を感じる	どちら かとい えば対 策の必 要性を 感じる	どちら かとい えば対 策の必 要性を 感じない	対策の 必要 性を 感じ ない	まった く対策 の必要 性を感 じない
1 30年以内に震度5強の地震が発生する確率は「やや高い」(n=9400)	100.0	17.5	32.0	35.2	11.0	2.4	1.8
2 30年以内に震度5強の地震が発生する確率は「高い」(n=9400)	100.0	20.7	33.3	32.6	9.5	2.2	1.7
3 30年以内に震度6弱の地震が発生する確率は「やや高い」(n=9400)	100.0	25.9	33.5	29.9	7.8	1.6	1.4
4 30年以内に震度6弱の地震が発生する確率は「高い」(n=9400)	100.0	30.4	34.4	25.8	6.5	1.6	1.4
5 30年以内に震度6強の地震が発生する確率は「やや高い」(n=9400)	100.0	32.2	34.0	25.1	6.0	1.4	1.3
6 30年以内に震度6強の地震が発生する確率は「高い」(n=9400)	100.0	37.7	32.9	22.0	4.8	1.2	1.4
7 30年以内に震度7の地震が発生する確率は「やや高い」(n=9400)	100.0	43.8	28.2	20.4	5.1	1.2	1.4
8 30年以内に震度7の地震が発生する確率は「高い」(n=9400)	100.0	48.3	26.5	18.4	4.3	1.1	1.4

Q13-1.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に 不安を 感じる	不安を 感じる	どちら かとい えば不 安を感 じる	どちら かとい えば不 安を感 じない	不安を 感じ ない	まった く不安 を感 じない
1 震度5強の地震が1年以内に0.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.3	16.0	29.3	25.4	13.4	5.6
2 震度5強の地震が5年以内に0.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.8	16.5	30.2	25.6	12.6	5.4
3 震度5強の地震が10年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.9	18.1	30.3	25.1	11.5	5.1
4 震度5強の地震が20年以内に2.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.1	17.2	31.1	24.2	11.2	5.1
5 震度5強の地震が30年以内に3.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.4	17.5	30.3	24.4	10.9	5.4
6 震度5強の地震が40年以内に3.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.4	17.4	29.4	24.5	11.3	6.1
7 震度5強の地震が50年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.7	17.7	28.8	23.7	11.4	6.7
8 震度5強の地震が60年以内に5.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.9	17.8	28.4	23.4	11.3	7.2
9 震度5強の地震が70年以内に6.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.6	15.3	27.3	23.7	12.6	9.5
10 震度5強の地震が80年以内に7.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.3	15.6	26.7	23.8	12.6	10.0
11 震度5強の地震が90年以内に8.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.0	14.8	26.3	24.2	13.1	10.6
12 震度5強の地震が100年以内に9.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.9	15.4	24.9	23.8	13.1	12.0
13 震度5強の地震が150年以内に13.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.9	15.0	24.8	22.4	13.6	13.4
14 震度5強の地震が200年以内に18.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.9	15.0	23.7	22.8	13.6	14.0
15 震度5強の地震が300年以内に25.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.5	15.0	23.6	22.4	13.1	14.4
16 震度5強の地震が400年以内に33.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.1	14.5	23.2	22.1	13.5	14.6
17 震度5強の地震が500年以内に39.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.7	13.7	22.3	21.0	14.2	17.0
18 震度5強の地震が600年以内に45.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.0	13.4	22.6	20.8	14.0	17.1
19 震度5強の地震が700年以内に50.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.0	13.5	22.0	20.3	13.5	17.6
20 震度5強の地震が800年以内に55.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.1	13.3	21.4	20.7	13.8	17.7
21 震度5強の地震が900年以内に59.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.4	13.2	21.1	20.3	13.9	18.0
22 震度5強の地震が1,000年以内に63.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.8	13.1	20.8	20.5	13.7	18.3

Q13-2.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1 震度6弱の地震が1年以内に0.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.4	17.1	30.3	23.6	10.1	4.5
2 震度6弱の地震が5年以内に0.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.0	18.5	30.7	23.3	9.4	4.1
3 震度6弱の地震が10年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.9	19.4	31.3	22.4	8.2	3.8
4 震度6弱の地震が20年以内に2.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.4	19.9	31.0	22.0	7.9	3.9
5 震度6弱の地震が30年以内に3.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.7	21.1	28.5	22.0	8.3	4.5
6 震度6弱の地震が40年以内に3.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.5	20.3	28.4	22.2	8.6	5.1
7 震度6弱の地震が50年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.4	20.3	27.8	21.6	9.2	5.6
8 震度6弱の地震が60年以内に5.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.7	20.0	26.7	21.7	9.6	6.2
9 震度6弱の地震が70年以内に6.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.9	18.2	24.3	23.1	11.5	8.0
10 震度6弱の地震が80年以内に7.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.0	17.9	24.1	22.8	11.8	8.4
11 震度6弱の地震が90年以内に8.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.2	16.9	24.3	22.8	11.7	9.1
12 震度6弱の地震が100年以内に9.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.1	17.0	24.0	22.0	11.4	10.6
13 震度6弱の地震が150年以内に13.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.3	15.6	23.7	22.3	11.4	11.7
14 震度6弱の地震が200年以内に18.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.7	15.4	23.2	21.8	11.5	12.4
15 震度6弱の地震が300年以内に25.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.2	15.2	23.2	21.6	10.9	13.0
16 震度6弱の地震が400年以内に33.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.6	14.8	23.1	21.3	11.1	13.1
17 震度6弱の地震が500年以内に39.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.0	14.1	22.3	20.8	12.0	14.9
18 震度6弱の地震が600年以内に45.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.7	14.0	21.3	20.5	12.5	15.0
19 震度6弱の地震が700年以内に50.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.6	13.4	20.9	20.9	12.1	15.1
20 震度6弱の地震が800年以内に55.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.6	13.2	21.2	20.6	12.2	15.2
21 震度6弱の地震が900年以内に59.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.5	13.7	20.5	20.2	12.6	15.4
22 震度6弱の地震が1,000年以内に63.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.0	13.4	20.1	20.1	12.7	15.6

Q13-3.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1 震度6強の地震が1年以内に0.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.7	18.5	29.1	23.8	10.5	4.5
2 震度6強の地震が5年以内に0.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.4	19.6	30.1	22.8	10.0	4.2
3 震度6強の地震が10年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.9	20.2	31.3	21.1	8.8	3.7
4 震度6強の地震が20年以内に2.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.5	19.7	31.3	21.2	8.4	3.9
5 震度6強の地震が30年以内に3.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.6	20.1	29.9	22.3	8.0	4.2
6 震度6強の地震が40年以内に3.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.5	18.5	29.8	22.9	8.3	5.1
7 震度6強の地震が50年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.8	18.4	28.5	23.0	9.1	5.2
8 震度6強の地震が60年以内に5.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.1	19.2	27.1	22.8	9.0	5.8
9 震度6強の地震が70年以内に6.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.5	16.3	26.9	23.5	10.0	7.9
10 震度6強の地震が80年以内に7.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.3	15.8	26.6	23.6	10.5	8.2
11 震度6強の地震が90年以内に8.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.2	14.9	26.3	23.6	11.1	8.9
12 震度6強の地震が100年以内に9.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.1	15.4	25.6	22.4	11.8	9.7
13 震度6強の地震が150年以内に13.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.2	15.9	24.1	22.3	11.2	11.3
14 震度6強の地震が200年以内に18.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.4	15.4	23.7	21.7	12.0	11.8
15 震度6強の地震が300年以内に25.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.3	14.9	23.1	21.7	11.5	12.3
16 震度6強の地震が400年以内に33.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.6	14.8	22.6	21.4	12.0	12.6
17 震度6強の地震が500年以内に39.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.9	14.3	20.9	21.8	12.2	15.0
18 震度6強の地震が600年以内に45.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.1	14.6	20.3	21.4	12.5	15.0
19 震度6強の地震が700年以内に50.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.5	13.7	19.4	21.9	11.9	15.5
20 震度6強の地震が800年以内に55.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.6	13.8	19.1	21.9	12.0	15.6
21 震度6強の地震が900年以内に59.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.7	13.6	19.3	21.7	11.8	15.9
22 震度6強の地震が1,000年以内に63.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.7	13.6	18.6	22.0	12.0	16.0

Q13-4.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1 震度7の地震が1年以内に0.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.9	18.0	28.6	22.3	9.7	4.6
2 震度7の地震が5年以内に0.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.9	18.8	29.1	22.1	9.0	4.0
3 震度7の地震が10年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.6	20.0	31.4	19.0	8.4	3.7
4 震度7の地震が20年以内に2.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.2	20.8	30.4	20.3	7.6	3.7
5 震度7の地震が30年以内に3.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.8	19.9	30.4	20.0	8.2	3.7
6 震度7の地震が40年以内に3.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.7	20.0	29.8	20.6	8.7	4.3
7 震度7の地震が50年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.6	19.7	30.2	19.4	9.1	5.0
8 震度7の地震が60年以内に5.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.2	19.4	29.1	19.5	9.1	5.7
9 震度7の地震が70年以内に6.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.1	17.4	27.8	21.0	10.0	7.7
10 震度7の地震が80年以内に7.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.3	17.4	26.2	21.7	10.3	8.1
11 震度7の地震が90年以内に8.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.4	16.6	25.7	22.0	10.6	8.6
12 震度7の地震が100年以内に9.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.1	16.5	24.7	20.7	11.1	9.8
13 震度7の地震が150年以内に13.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.5	16.6	24.1	20.0	10.9	11.0
14 震度7の地震が200年以内に18.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.5	16.4	23.4	20.2	10.6	11.8
15 震度7の地震が300年以内に25.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.0	15.8	22.9	19.4	10.9	12.1
16 震度7の地震が400年以内に33.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.2	15.5	22.4	19.8	10.9	12.2
17 震度7の地震が500年以内に39.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.6	14.6	21.0	18.7	12.2	14.0
18 震度7の地震が600年以内に45.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.3	13.8	21.1	18.9	12.0	13.8
19 震度7の地震が700年以内に50.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.9	13.7	20.6	18.5	12.2	14.1
20 震度7の地震が800年以内に55.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	21.3	12.6	21.3	18.3	12.2	14.4
21 震度7の地震が900年以内に59.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.9	13.1	20.5	18.5	12.3	14.8
22 震度7の地震が1,000年以内に63.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.7	13.4	20.2	18.3	12.3	15.1

Q14-1.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も不安を感じるのは、次のうちどれですか。最も「不安」を感じるのは、震度5強の地震が…(SA)

	全体 (n=2350)	%
1 1年以内に0.1%の確率で発生すると示されたとき		15.0
2 5年以内に0.5%の確率で発生すると示されたとき		9.7
3 10年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき		18.8
4 20年以内に2.0%の確率で発生すると示されたとき		6.3
5 30年以内に3.0%の確率で発生すると示されたとき		10.3
6 40年以内に3.9%の確率で発生すると示されたとき		1.4
7 50年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき		5.2
8 60年以内に5.8%の確率で発生すると示されたとき		1.4
9 70年以内に6.8%の確率で発生すると示されたとき		0.3
10 80年以内に7.7%の確率で発生すると示されたとき		0.4
11 90年以内に8.6%の確率で発生すると示されたとき		0.2
12 100年以内に9.5%の確率で発生すると示されたとき		2.5
13 150年以内に13.9%の確率で発生すると示されたとき		0.6
14 200年以内に18.1%の確率で発生すると示されたとき		0.1
15 300年以内に25.9%の確率で発生すると示されたとき		0.4
16 400年以内に33.0%の確率で発生すると示されたとき		0.2
17 500年以内に39.4%の確率で発生すると示されたとき		0.1
18 600年以内に45.1%の確率で発生すると示されたとき		0.2
19 700年以内に50.4%の確率で発生すると示されたとき		0.6
20 800年以内に55.1%の確率で発生すると示されたとき		0.0
21 900年以内に59.4%の確率で発生すると示されたとき		0.0
22 1,000年以内に63.2%の確率で発生すると示されたとき		1.3
23 いずれも、不安感は変わらない		25.2

Q14-2.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も不安を感じるのは、次のうちどれですか。最も「不安」を感じるのは、震度6弱の地震が…(SA)

全体 (n=2350)		%
1	1年以内に0.1%の確率で発生すると示されたとき	14.3
2	5年以内に0.5%の確率で発生すると示されたとき	9.4
3	10年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	21.9
4	20年以内に2.0%の確率で発生すると示されたとき	7.7
5	30年以内に3.0%の確率で発生すると示されたとき	10.4
6	40年以内に3.9%の確率で発生すると示されたとき	2.0
7	50年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	4.3
8	60年以内に5.8%の確率で発生すると示されたとき	1.7
9	70年以内に6.8%の確率で発生すると示されたとき	0.3
10	80年以内に7.7%の確率で発生すると示されたとき	0.3
11	90年以内に8.6%の確率で発生すると示されたとき	0.4
12	100年以内に9.5%の確率で発生すると示されたとき	2.3
13	150年以内に13.9%の確率で発生すると示されたとき	0.5
14	200年以内に18.1%の確率で発生すると示されたとき	0.3
15	300年以内に25.9%の確率で発生すると示されたとき	0.4
16	400年以内に33.0%の確率で発生すると示されたとき	0.5
17	500年以内に39.4%の確率で発生すると示されたとき	0.2
18	600年以内に45.1%の確率で発生すると示されたとき	0.0
19	700年以内に50.4%の確率で発生すると示されたとき	0.4
20	800年以内に55.1%の確率で発生すると示されたとき	0.1
21	900年以内に59.4%の確率で発生すると示されたとき	0.1
22	1,000年以内に63.2%の確率で発生すると示されたとき	1.2
23	いずれも、不安感は変わらない	21.4

Q14-3.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も不安を感じるのは、次のうちどれですか。最も「不安」を感じるのは、震度6強の地震が…(SA)

全体 (n=2350)		%
1	1年以内に0.1%の確率で発生すると示されたとき	14.2
2	5年以内に0.5%の確率で発生すると示されたとき	9.2
3	10年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	22.0
4	20年以内に2.0%の確率で発生すると示されたとき	7.5
5	30年以内に3.0%の確率で発生すると示されたとき	10.1
6	40年以内に3.9%の確率で発生すると示されたとき	2.3
7	50年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	5.1
8	60年以内に5.8%の確率で発生すると示されたとき	1.2
9	70年以内に6.8%の確率で発生すると示されたとき	0.3
10	80年以内に7.7%の確率で発生すると示されたとき	0.2
11	90年以内に8.6%の確率で発生すると示されたとき	0.1
12	100年以内に9.5%の確率で発生すると示されたとき	2.9
13	150年以内に13.9%の確率で発生すると示されたとき	0.4
14	200年以内に18.1%の確率で発生すると示されたとき	0.2
15	300年以内に25.9%の確率で発生すると示されたとき	0.6
16	400年以内に33.0%の確率で発生すると示されたとき	0.2
17	500年以内に39.4%の確率で発生すると示されたとき	0.4
18	600年以内に45.1%の確率で発生すると示されたとき	0.1
19	700年以内に50.4%の確率で発生すると示されたとき	0.5
20	800年以内に55.1%の確率で発生すると示されたとき	0.1
21	900年以内に59.4%の確率で発生すると示されたとき	0.1
22	1,000年以内に63.2%の確率で発生すると示されたとき	1.6
23	いずれも、不安感は変わらない	20.6

Q14-4.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も不安を感じるのは、次のうちどれですか。最も「不安」を感じるのは、震度7の地震が…(SA)

全体 (n=2350)		%
1	1年以内に0.1%の確率で発生すると示されたとき	14.7
2	5年以内に0.5%の確率で発生すると示されたとき	8.8
3	10年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	22.4
4	20年以内に2.0%の確率で発生すると示されたとき	7.2
5	30年以内に3.0%の確率で発生すると示されたとき	11.1
6	40年以内に3.9%の確率で発生すると示されたとき	2.2
7	50年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	5.4
8	60年以内に5.8%の確率で発生すると示されたとき	1.4
9	70年以内に6.8%の確率で発生すると示されたとき	0.4
10	80年以内に7.7%の確率で発生すると示されたとき	0.3
11	90年以内に8.6%の確率で発生すると示されたとき	0.1
12	100年以内に9.5%の確率で発生すると示されたとき	3.0
13	150年以内に13.9%の確率で発生すると示されたとき	0.5
14	200年以内に18.1%の確率で発生すると示されたとき	0.3
15	300年以内に25.9%の確率で発生すると示されたとき	0.4
16	400年以内に33.0%の確率で発生すると示されたとき	0.3
17	500年以内に39.4%の確率で発生すると示されたとき	0.2
18	600年以内に45.1%の確率で発生すると示されたとき	0.1
19	700年以内に50.4%の確率で発生すると示されたとき	0.2
20	800年以内に55.1%の確率で発生すると示されたとき	0.0
21	900年以内に59.4%の確率で発生すると示されたとき	0.0
22	1,000年以内に63.2%の確率で発生すると示されたとき	1.5
23	いずれも、不安感は変わらない	19.4

Q15-1.地震の発生について次のような表現で示された場合、あなたはどの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない	
1	震度5強の地震が1,000年に1回発生する (n=2350)	100.0	5.7	8.2	17.9	28.7	20.1	19.3
2	震度5強の地震が900年に1回発生する (n=2350)	100.0	5.6	8.2	18.5	29.2	19.7	18.9
3	震度5強の地震が800年に1回発生する (n=2350)	100.0	5.3	8.5	18.9	29.2	19.4	18.8
4	震度5強の地震が700年に1回発生する (n=2350)	100.0	5.3	8.3	18.9	29.2	19.7	18.5
5	震度5強の地震が600年に1回発生する (n=2350)	100.0	5.7	9.1	19.0	28.3	19.5	18.3
6	震度5強の地震が500年に1回発生する (n=2350)	100.0	6.1	9.8	20.6	27.6	18.4	17.5
7	震度5強の地震が400年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.0	10.6	19.9	27.7	17.8	17.0
8	震度5強の地震が300年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.2	13.0	20.7	25.7	16.3	16.0
9	震度5強の地震が200年に1回発生する (n=2350)	100.0	10.6	15.2	22.3	22.9	14.8	14.1

Q15-2.地震の発生について次のような表現で示された場合、あなたはどの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

		全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1	震度6弱の地震が1,000年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.2	9.8	19.6	28.3	20.3	14.9
2	震度6弱の地震が900年に1回発生する (n=2350)	100.0	6.7	10.8	19.8	28.3	20.3	14.2
3	震度6弱の地震が800年に1回発生する (n=2350)	100.0	6.9	9.9	20.2	29.5	19.5	14.0
4	震度6弱の地震が700年に1回発生する (n=2350)	100.0	6.8	10.8	20.4	28.5	19.8	13.7
5	震度6弱の地震が600年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.2	10.8	21.2	28.2	19.2	13.3
6	震度6弱の地震が500年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.1	12.3	21.5	27.3	18.2	12.6
7	震度6弱の地震が400年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.4	12.9	21.6	26.6	17.2	12.3
8	震度6弱の地震が300年に1回発生する (n=2350)	100.0	10.5	15.2	23.0	24.3	15.4	11.7
9	震度6弱の地震が200年に1回発生する (n=2350)	100.0	14.3	15.7	24.9	21.3	13.7	10.1

Q15-3.地震の発生について次のような表現で示された場合、あなたはどの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

		全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1	震度6強の地震が1,000年に1回発生する (n=2350)	100.0	6.2	9.6	22.4	27.2	18.6	16.0
2	震度6強の地震が900年に1回発生する (n=2350)	100.0	5.4	10.2	23.1	27.4	18.4	15.4
3	震度6強の地震が800年に1回発生する (n=2350)	100.0	6.2	9.4	23.1	27.8	18.1	15.4
4	震度6強の地震が700年に1回発生する (n=2350)	100.0	6.1	9.7	23.1	28.1	18.0	15.0
5	震度6強の地震が600年に1回発生する (n=2350)	100.0	6.4	10.3	23.5	27.6	17.8	14.4
6	震度6強の地震が500年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.0	11.7	23.9	26.5	17.1	13.9
7	震度6強の地震が400年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.1	12.5	24.2	25.7	16.1	13.4
8	震度6強の地震が300年に1回発生する (n=2350)	100.0	10.5	14.9	23.6	24.6	14.4	12.0
9	震度6強の地震が200年に1回発生する (n=2350)	100.0	13.9	17.2	25.1	20.4	12.6	10.9

Q15-4.地震の発生について次のような表現で示された場合、あなたはどの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

		全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1	震度7の地震が1,000年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.8	10.0	22.6	27.1	17.4	15.0
2	震度7の地震が900年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.2	10.1	22.9	27.4	17.2	15.1
3	震度7の地震が800年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.0	10.2	23.0	27.6	17.3	15.0
4	震度7の地震が700年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.3	10.6	22.7	27.5	17.1	14.9
5	震度7の地震が600年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.3	10.6	22.7	27.5	17.1	14.8
6	震度7の地震が500年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.1	10.8	23.1	27.3	16.2	14.5
7	震度7の地震が400年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.5	10.9	23.1	27.4	16.3	13.8
8	震度7の地震が300年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.8	12.9	23.3	25.3	15.7	12.9
9	震度7の地震が200年に1回発生する (n=2350)	100.0	12.7	15.9	24.3	22.5	13.1	11.6

Q16-1.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

		全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1	震度5強の地震が1年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.4	18.2	31.7	21.0	10.9	6.9
2	震度5強の地震が5年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.3	21.8	32.0	18.9	9.0	6.1
3	震度5強の地震が10年以内に9.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.6	23.1	33.3	16.8	7.8	5.4
4	震度5強の地震が20年以内に18.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.7	23.8	33.1	17.4	6.7	5.3
5	震度5強の地震が30年以内に26.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.1	23.8	31.7	17.6	7.3	5.4
6	震度5強の地震が40年以内に33.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.0	22.0	30.6	19.0	7.6	6.7
7	震度5強の地震が50年以内に39.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.6	21.0	29.2	20.3	8.1	7.8
8	震度5強の地震が60年以内に45.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.0	19.3	28.9	21.1	8.8	9.0
9	震度5強の地震が70年以内に50.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.6	18.9	28.7	21.3	8.9	9.7
10	震度5強の地震が80年以内に55.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.3	18.5	27.4	22.3	9.4	9.9
11	震度5強の地震が90年以内に59.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.9	17.0	26.3	22.7	10.9	11.3
12	震度5強の地震が100年以内に63.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.0	16.8	24.8	22.9	11.1	12.4
13	震度5強の地震が150年以内に77.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.6	15.0	24.7	24.3	11.7	13.6
14	震度5強の地震が200年以内に86.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.4	14.3	24.3	24.4	12.4	14.2
15	震度5強の地震が300年以内に95.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.9	13.5	23.7	24.6	12.4	14.9
16	震度5強の地震が400年以内に98.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.8	13.0	23.7	24.5	12.9	15.2
17	震度5強の地震が500年以内に99.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.6	12.7	23.8	24.7	12.6	15.7
18	震度5強の地震が600年以内に99.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.5	12.9	23.2	25.0	12.8	15.7
19	震度5強の地震が700年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.6	13.3	22.7	24.8	12.4	16.2

Q16-2.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

		全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1	震度6弱の地震が1年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.4	21.9	30.9	19.7	8.8	4.3
2	震度6弱の地震が5年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.4	25.0	32.3	16.4	6.3	3.6
3	震度6弱の地震が10年以内に9.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.6	26.8	32.9	13.2	5.1	3.4
4	震度6弱の地震が20年以内に18.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.1	26.9	32.5	13.1	5.2	3.2
5	震度6弱の地震が30年以内に26.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.2	26.3	30.9	14.6	5.3	3.7
6	震度6弱の地震が40年以内に33.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.4	24.7	29.7	16.0	6.3	5.0
7	震度6弱の地震が50年以内に39.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.5	22.5	29.2	16.9	6.8	6.2
8	震度6弱の地震が60年以内に45.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.9	21.2	29.3	17.9	7.4	7.3
9	震度6弱の地震が70年以内に50.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.9	19.6	29.1	18.4	7.9	8.1
10	震度6弱の地震が80年以内に55.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.7	20.0	28.6	18.7	8.3	8.6
11	震度6弱の地震が90年以内に59.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.9	18.4	27.1	19.8	9.7	10.0
12	震度6弱の地震が100年以内に63.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.1	18.0	26.1	20.0	9.6	11.1
13	震度6弱の地震が150年以内に77.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.9	15.9	26.1	21.6	10.5	12.0
14	震度6弱の地震が200年以内に86.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.4	15.3	25.5	22.2	11.1	12.5
15	震度6弱の地震が300年以内に95.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.6	14.4	25.0	22.9	11.0	13.2
16	震度6弱の地震が400年以内に98.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.2	14.5	24.9	22.7	11.1	13.6
17	震度6弱の地震が500年以内に99.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.4	13.7	24.5	23.1	11.1	14.1
18	震度6弱の地震が600年以内に99.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.1	13.8	24.7	22.9	11.1	14.3
19	震度6弱の地震が700年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.4	13.7	24.7	22.4	11.3	14.5

16-3.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

		全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1	震度6強の地震が1年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.4	20.6	33.0	18.5	7.2	5.2
2	震度6強の地震が5年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.6	25.5	33.4	14.4	5.5	4.6
3	震度6強の地震が10年以内に9.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.3	26.9	31.0	14.0	4.7	4.0
4	震度6強の地震が20年以内に18.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.4	27.1	31.6	13.7	4.3	3.9
5	震度6強の地震が30年以内に26.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.4	25.4	31.0	14.2	4.5	4.5
6	震度6強の地震が40年以内に33.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.3	24.7	31.1	15.5	4.9	5.4
7	震度6強の地震が50年以内に39.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.9	23.1	28.9	18.4	5.7	5.9
8	震度6強の地震が60年以内に45.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.1	21.7	27.5	21.3	5.9	6.6
9	震度6強の地震が70年以内に50.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.1	20.1	27.5	21.1	6.7	7.4
10	震度6強の地震が80年以内に55.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.0	20.3	27.3	21.4	7.2	7.7
11	震度6強の地震が90年以内に59.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.5	19.2	26.3	21.4	9.2	9.3
12	震度6強の地震が100年以内に63.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.5	19.3	25.1	21.6	9.4	10.2
13	震度6強の地震が150年以内に77.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.2	17.7	24.9	23.8	10.5	10.9
14	震度6強の地震が200年以内に86.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.8	16.2	24.5	24.1	10.7	11.7
15	震度6強の地震が300年以内に95.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.7	15.3	24.0	24.4	11.3	12.3
16	震度6強の地震が400年以内に98.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.6	14.5	24.2	24.4	11.6	12.7
17	震度6強の地震が500年以内に99.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.6	14.5	23.8	24.0	12.0	13.1
18	震度6強の地震が600年以内に99.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.2	14.6	23.6	24.3	12.0	13.4
19	震度6強の地震が700年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.2	14.6	23.7	24.0	11.8	13.7

Q16-4.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

		全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1	震度7の地震が1年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.4	22.7	31.1	17.6	6.6	4.5
2	震度7の地震が5年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.8	27.1	31.7	13.5	5.1	3.8
3	震度7の地震が10年以内に9.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	21.7	27.9	31.9	10.9	4.3	3.2
4	震度7の地震が20年以内に18.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	22.4	27.0	31.1	11.9	4.3	3.3
5	震度7の地震が30年以内に26.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	22.5	25.6	29.6	13.2	5.3	3.8
6	震度7の地震が40年以内に33.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.9	24.4	28.8	14.9	6.2	4.9
7	震度7の地震が50年以内に39.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.1	23.4	29.0	15.6	6.7	6.3
8	震度7の地震が60年以内に45.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.0	22.5	27.7	17.9	6.8	7.1
9	震度7の地震が70年以内に50.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.1	20.9	26.7	18.9	7.7	7.7
10	震度7の地震が80年以内に55.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.0	20.2	26.5	19.5	7.8	8.0
11	震度7の地震が90年以内に59.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.1	19.0	25.5	20.0	8.9	9.5
12	震度7の地震が100年以内に63.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.9	19.0	24.7	19.8	9.3	10.3
13	震度7の地震が150年以内に77.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.7	17.6	24.5	20.3	10.5	11.5
14	震度7の地震が200年以内に86.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.6	17.1	23.8	21.3	10.0	12.2
15	震度7の地震が300年以内に95.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.7	16.4	22.6	21.9	10.8	12.7
16	震度7の地震が400年以内に98.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.1	15.9	22.7	22.1	11.2	13.1
17	震度7の地震が500年以内に99.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.1	15.9	22.2	22.0	11.1	13.8
18	震度7の地震が600年以内に99.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.0	16.1	21.6	21.9	11.3	14.1
19	震度7の地震が700年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.2	16.0	21.7	21.7	11.3	14.1

Q17-1.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も不安を感じるのは、次のうちどれですか。 最も「不安」を感じるのは、震度 5 強の地震が… (SA)

	全体 (n=2350)	%
1	1年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	15.3
2	5年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	12.7
3	10年以内に9.6%の確率で発生すると示されたとき	17.0
4	20年以内に18.2%の確率で発生すると示されたとき	8.7
5	30年以内に26.0%の確率で発生すると示されたとき	9.7
6	40年以内に33.1%の確率で発生すると示されたとき	3.7
7	50年以内に39.5%の確率で発生すると示されたとき	4.3
8	60年以内に45.3%の確率で発生すると示されたとき	1.5
9	70年以内に50.5%の確率で発生すると示されたとき	2.4
10	80年以内に55.2%の確率で発生すると示されたとき	0.4
11	90年以内に59.5%の確率で発生すると示されたとき	0.3
12	100年以内に63.4%の確率で発生すると示されたとき	1.2
13	150年以内に77.9%の確率で発生すると示されたとき	0.1
14	200年以内に86.6%の確率で発生すると示されたとき	0.3
15	300年以内に95.1%の確率で発生すると示されたとき	0.3
16	400年以内に98.2%の確率で発生すると示されたとき	0.1
17	500年以内に99.3%の確率で発生すると示されたとき	0.2
18	600年以内に99.8%の確率で発生すると示されたとき	0.1
19	700年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	1.1
20	いずれも、不安感は変わらない	20.8

Q17-2.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も不安を感じるのは、次のうちどれですか。 最も「不安」を感じるのは、震度 6 弱の地震が… (SA)

	全体 (n=2350)	%
1	1年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	14.7
2	5年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	13.0
3	10年以内に9.6%の確率で発生すると示されたとき	19.5
4	20年以内に18.2%の確率で発生すると示されたとき	9.6
5	30年以内に26.0%の確率で発生すると示されたとき	10.9
6	40年以内に33.1%の確率で発生すると示されたとき	3.6
7	50年以内に39.5%の確率で発生すると示されたとき	3.9
8	60年以内に45.3%の確率で発生すると示されたとき	1.3
9	70年以内に50.5%の確率で発生すると示されたとき	1.6
10	80年以内に55.2%の確率で発生すると示されたとき	0.4
11	90年以内に59.5%の確率で発生すると示されたとき	0.5
12	100年以内に63.4%の確率で発生すると示されたとき	1.7
13	150年以内に77.9%の確率で発生すると示されたとき	0.2
14	200年以内に86.6%の確率で発生すると示されたとき	0.2
15	300年以内に95.1%の確率で発生すると示されたとき	0.3
16	400年以内に98.2%の確率で発生すると示されたとき	0.0
17	500年以内に99.3%の確率で発生すると示されたとき	0.1
18	600年以内に99.8%の確率で発生すると示されたとき	0.1
19	700年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	1.1
20	いずれも、不安感は変わらない	17.1

Q17-3.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も不安を感じるのは、次のうちどれですか。最も「不安」を感じるのは、震度6強の地震が…(SA)

全体 (n=2350)		%
1	1年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	15.1
2	5年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	13.3
3	10年以内に9.6%の確率で発生すると示されたとき	18.6
4	20年以内に18.2%の確率で発生すると示されたとき	8.9
5	30年以内に26.0%の確率で発生すると示されたとき	11.8
6	40年以内に33.1%の確率で発生すると示されたとき	3.6
7	50年以内に39.5%の確率で発生すると示されたとき	4.2
8	60年以内に45.3%の確率で発生すると示されたとき	1.0
9	70年以内に50.5%の確率で発生すると示されたとき	2.0
10	80年以内に55.2%の確率で発生すると示されたとき	0.3
11	90年以内に59.5%の確率で発生すると示されたとき	0.3
12	100年以内に63.4%の確率で発生すると示されたとき	1.8
13	150年以内に77.9%の確率で発生すると示されたとき	0.2
14	200年以内に86.6%の確率で発生すると示されたとき	0.3
15	300年以内に95.1%の確率で発生すると示されたとき	0.4
16	400年以内に98.2%の確率で発生すると示されたとき	0.0
17	500年以内に99.3%の確率で発生すると示されたとき	0.0
18	600年以内に99.8%の確率で発生すると示されたとき	0.0
19	700年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	1.4
20	いずれも、不安感は変わらない	16.8

Q17-4.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も不安を感じるのは、次のうちどれですか。最も「不安」を感じるのは、震度7の地震が…(SA)

全体 (n=2350)		%
1	1年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	16.6
2	5年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	12.6
3	10年以内に9.6%の確率で発生すると示されたとき	19.2
4	20年以内に18.2%の確率で発生すると示されたとき	9.4
5	30年以内に26.0%の確率で発生すると示されたとき	10.8
6	40年以内に33.1%の確率で発生すると示されたとき	3.8
7	50年以内に39.5%の確率で発生すると示されたとき	3.8
8	60年以内に45.3%の確率で発生すると示されたとき	1.6
9	70年以内に50.5%の確率で発生すると示されたとき	2.0
10	80年以内に55.2%の確率で発生すると示されたとき	0.6
11	90年以内に59.5%の確率で発生すると示されたとき	0.4
12	100年以内に63.4%の確率で発生すると示されたとき	1.5
13	150年以内に77.9%の確率で発生すると示されたとき	0.3
14	200年以内に86.6%の確率で発生すると示されたとき	0.2
15	300年以内に95.1%の確率で発生すると示されたとき	0.2
16	400年以内に98.2%の確率で発生すると示されたとき	0.0
17	500年以内に99.3%の確率で発生すると示されたとき	0.0
18	600年以内に99.8%の確率で発生すると示されたとき	0.0
19	700年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	1.1
20	いずれも、不安感是不変らない	16.1

Q18-1.地震の発生について次のような表現で示された場合、あなたはどの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1 震度5強の地震が100年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.7	13.9	27.2	24.9	13.7	11.6
2 震度5強の地震が90年に1回発生する (n=2350)	100.0	6.9	12.5	27.6	26.6	14.4	12.0
3 震度5強の地震が80年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.4	12.9	27.3	26.9	14.0	11.6
4 震度5強の地震が70年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.7	12.7	28.7	25.7	14.0	11.3
5 震度5強の地震が60年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.3	14.3	28.4	24.9	13.2	10.9
6 震度5強の地震が50年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.7	17.1	30.3	20.8	12.5	9.6
7 震度5強の地震が40年に1回発生する (n=2350)	100.0	11.1	19.6	29.2	20.0	11.4	8.7
8 震度5強の地震が30年に1回発生する (n=2350)	100.0	15.7	22.8	27.4	18.1	8.8	7.2
9 震度5強の地震が20年に1回発生する (n=2350)	100.0	20.9	24.6	28.0	14.2	6.3	6.0
10 震度5強の地震が10年に1回発生する (n=2350)	100.0	29.1	24.6	25.2	11.6	5.1	4.4

Q18-2.地震の発生について次のような表現で示された場合、あなたはどの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1 震度6弱の地震が100年に1回発生する (n=2350)	100.0	11.7	17.4	28.9	23.0	10.4	8.6
2 震度6弱の地震が90年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.8	16.3	29.2	25.2	11.7	8.9
3 震度6弱の地震が80年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.1	16.2	29.5	25.5	11.0	8.7
4 震度6弱の地震が70年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.8	17.0	29.4	24.9	10.8	8.1
5 震度6弱の地震が60年に1回発生する (n=2350)	100.0	10.9	18.2	29.4	23.4	10.3	7.8
6 震度6弱の地震が50年に1回発生する (n=2350)	100.0	13.0	21.9	29.4	20.4	8.4	6.9
7 震度6弱の地震が40年に1回発生する (n=2350)	100.0	16.0	22.9	29.4	18.2	7.6	6.0
8 震度6弱の地震が30年に1回発生する (n=2350)	100.0	22.1	25.1	29.7	13.2	5.3	4.6
9 震度6弱の地震が20年に1回発生する (n=2350)	100.0	27.6	28.7	25.5	10.1	4.4	3.7
10 震度6弱の地震が10年に1回発生する (n=2350)	100.0	37.4	26.9	21.9	7.6	3.3	2.9

Q18-3.地震の発生について次のような表現で示された場合、あなたはどの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1 震度6強の地震が100年に1回発生する (n=2350)	100.0	11.3	17.1	30.9	22.9	9.8	8.0
2 震度6強の地震が90年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.0	16.0	32.4	24.4	10.2	8.0
3 震度6強の地震が80年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.3	16.1	31.8	24.8	10.0	8.0
4 震度6強の地震が70年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.6	16.6	31.9	25.0	9.4	7.5
5 震度6強の地震が60年に1回発生する (n=2350)	100.0	11.0	17.6	31.0	23.9	9.1	7.3
6 震度6強の地震が50年に1回発生する (n=2350)	100.0	14.0	21.8	30.5	19.8	7.3	6.7
7 震度6強の地震が40年に1回発生する (n=2350)	100.0	16.3	23.3	31.1	17.0	6.3	6.0
8 震度6強の地震が30年に1回発生する (n=2350)	100.0	22.4	26.5	28.0	13.4	4.9	4.9
9 震度6強の地震が20年に1回発生する (n=2350)	100.0	29.7	28.0	24.7	9.8	4.1	3.7
10 震度6強の地震が10年に1回発生する (n=2350)	100.0	40.4	23.9	22.4	7.1	3.1	3.2

Q18-4.地震の発生について次のような表現で示された場合、あなたはどの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1 震度7の地震が100年に1回発生する (n=2350)	100.0	12.0	18.1	28.3	23.0	9.6	9.0
2 震度7の地震が90年に1回発生する (n=2350)	100.0	11.5	18.7	29.1	22.9	9.4	8.4
3 震度7の地震が80年に1回発生する (n=2350)	100.0	12.4	18.3	29.5	22.6	9.2	8.0
4 震度7の地震が70年に1回発生する (n=2350)	100.0	12.9	19.1	29.4	22.1	8.8	7.7
5 震度7の地震が60年に1回発生する (n=2350)	100.0	14.6	20.2	29.1	20.7	8.0	7.4
6 震度7の地震が50年に1回発生する (n=2350)	100.0	19.2	23.4	27.5	16.3	7.3	6.3
7 震度7の地震が40年に1回発生する (n=2350)	100.0	22.1	24.3	26.9	15.1	6.1	5.5
8 震度7の地震が30年に1回発生する (n=2350)	100.0	29.5	25.1	25.6	11.0	4.8	4.1
9 震度7の地震が20年に1回発生する (n=2350)	100.0	37.7	25.4	21.7	8.5	3.3	3.3
10 震度7の地震が10年に1回発生する (n=2350)	100.0	46.4	22.7	19.4	6.3	2.5	2.6

Q19-1.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1 震度5強の地震が1年以内に2.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.3	20.9	31.8	18.9	8.9	5.2
2 震度5強の地震が5年以内に11.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.0	23.9	33.0	15.3	7.1	4.6
3 震度5強の地震が10年以内に20.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.6	26.3	31.8	13.6	6.1	4.6
4 震度5強の地震が20年以内に37.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.5	25.6	31.2	14.0	6.2	4.6
5 震度5強の地震が30年以内に50.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	21.1	25.1	29.1	13.7	5.8	5.1
6 震度5強の地震が40年以内に60.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.5	23.4	28.5	16.0	6.5	6.1
7 震度5強の地震が50年以内に68.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.8	21.6	27.7	17.9	7.1	6.9
8 震度5強の地震が60年以内に75.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.6	20.3	28.2	18.9	7.6	7.4
9 震度5強の地震が70年以内に80.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.8	18.9	26.8	21.1	8.5	9.0
10 震度5強の地震が80年以内に84.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.2	18.8	27.0	20.3	9.4	9.4
11 震度5強の地震が90年以内に87.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.0	17.6	26.6	21.4	9.3	10.1
12 震度5強の地震が100年以内に90.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.8	16.7	25.4	21.9	10.0	11.2
13 震度5強の地震が150年以内に97.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.6	16.5	25.1	22.7	10.9	12.1
14 震度5強の地震が200年以内に99.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.5	16.3	24.3	22.9	11.6	12.6
15 震度5強の地震が300年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.4	15.9	24.0	23.4	11.2	13.1

Q19-2.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1 震度6弱の地震が1年以内に2.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.4	24.9	30.6	17.1	6.2	3.7
2 震度6弱の地震が5年以内に11.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.5	29.4	31.1	12.7	4.2	3.1
3 震度6弱の地震が10年以内に20.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	23.3	29.7	29.2	11.3	4.0	2.6
4 震度6弱の地震が20年以内に37.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	23.4	29.8	28.3	11.8	3.7	2.9
5 震度6弱の地震が30年以内に50.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	26.6	27.1	27.9	11.3	3.7	3.4
6 震度6弱の地震が40年以内に60.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	24.0	25.0	27.2	14.6	4.6	4.7
7 震度6弱の地震が50年以内に68.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	22.7	24.3	26.2	16.2	5.3	5.4
8 震度6弱の地震が60年以内に75.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	21.0	23.6	26.7	16.6	5.8	6.3
9 震度6弱の地震が70年以内に80.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.8	22.1	26.9	17.7	7.2	7.2
10 震度6弱の地震が80年以内に84.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.2	21.4	26.6	18.7	7.6	7.6
11 震度6弱の地震が90年以内に87.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.7	20.2	26.5	19.1	8.3	8.2
12 震度6弱の地震が100年以内に90.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.5	18.8	26.3	18.5	9.5	9.4
13 震度6弱の地震が150年以内に97.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.5	18.3	25.6	20.0	10.3	10.3
14 震度6弱の地震が200年以内に99.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.1	17.8	25.1	20.8	10.0	11.2
15 震度6弱の地震が300年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.2	17.3	24.9	20.8	10.3	11.5

Q19-3.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1 震度6強の地震が1年以内に2.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.8	24.9	30.5	16.5	5.5	3.9
2 震度6強の地震が5年以内に11.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	21.5	28.1	30.5	12.6	4.0	3.2
3 震度6強の地震が10年以内に20.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	24.2	29.1	30.3	9.8	3.4	3.2
4 震度6強の地震が20年以内に37.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	24.8	28.8	29.2	11.1	2.9	3.3
5 震度6強の地震が30年以内に50.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	27.2	27.7	27.1	10.9	3.4	3.6
6 震度6強の地震が40年以内に60.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	24.4	25.9	27.5	13.2	4.6	4.4
7 震度6強の地震が50年以内に68.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	22.3	24.5	27.4	15.7	4.6	5.6
8 震度6強の地震が60年以内に75.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.7	24.5	26.7	16.8	5.5	5.8
9 震度6強の地震が70年以内に80.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.9	22.5	27.0	18.1	6.0	7.5
10 震度6強の地震が80年以内に84.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.3	22.6	26.1	18.7	6.5	7.9
11 震度6強の地震が90年以内に87.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.5	21.4	26.0	19.7	7.0	8.4
12 震度6強の地震が100年以内に90.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.0	19.7	26.3	19.8	7.8	9.4
13 震度6強の地震が150年以内に97.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.1	18.3	26.2	21.7	8.6	10.1
14 震度6強の地震が200年以内に99.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.9	17.5	25.6	22.4	8.4	11.2
15 震度6強の地震が300年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.8	17.1	25.2	22.6	9.1	11.3

Q19-4.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「不安」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に不安を感じる	不安を感じる	どちらかといえば不安を感じる	どちらかといえば不安を感じない	不安を感じない	まったく不安を感じない
1 震度7の地震が1年以内に2.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	21.3	24.9	30.1	14.6	5.6	3.5
2 震度7の地震が5年以内に11.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	25.0	28.3	28.6	11.6	3.4	3.1
3 震度7の地震が10年以内に20.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	28.7	28.5	27.5	9.4	3.2	2.8
4 震度7の地震が20年以内に37.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	29.1	28.3	27.1	8.9	3.7	2.9
5 震度7の地震が30年以内に50.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	30.9	27.2	24.8	10.1	3.6	3.4
6 震度7の地震が40年以内に60.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	28.4	26.0	24.9	11.7	4.6	4.5
7 震度7の地震が50年以内に68.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	26.7	24.9	24.9	13.1	4.8	5.7
8 震度7の地震が60年以内に75.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	25.7	22.5	26.5	14.0	4.9	6.5
9 震度7の地震が70年以内に80.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	22.4	22.4	26.0	15.9	5.7	7.6
10 震度7の地震が80年以内に84.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	22.0	21.8	25.3	17.1	6.1	7.6
11 震度7の地震が90年以内に87.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	21.7	20.1	25.4	18.0	6.8	8.0
12 震度7の地震が100年以内に90.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	21.5	19.5	24.2	18.3	7.7	8.9
13 震度7の地震が150年以内に97.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.3	18.6	24.6	19.2	8.4	9.9
14 震度7の地震が200年以内に99.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.9	17.9	24.3	19.8	8.4	10.8
15 震度7の地震が300年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.8	18.1	23.3	20.1	8.6	11.1

Q20-1.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も不安を感じるのは、次のうちどれですか。最も「不安」を感じるのは、震度 5 強の地震が… (SA)

全体 (n=2350)		%
1	1年以内に2.3%の確率で発生すると示されたとき	15.3
2	5年以内に11.0%の確率で発生すると示されたとき	15.3
3	10年以内に20.8%の確率で発生すると示されたとき	17.7
4	20年以内に37.2%の確率で発生すると示されたとき	8.1
5	30年以内に50.2%の確率で発生すると示されたとき	14.7
6	40年以内に60.6%の確率で発生すると示されたとき	2.7
7	50年以内に68.8%の確率で発生すると示されたとき	2.9
8	60年以内に75.2%の確率で発生すると示されたとき	0.9
9	70年以内に80.4%の確率で発生すると示されたとき	0.8
10	80年以内に84.5%の確率で発生すると示されたとき	0.2
11	90年以内に87.7%の確率で発生すると示されたとき	0.1
12	100年以内に90.2%の確率で発生すると示されたとき	0.9
13	150年以内に97.0%の確率で発生すると示されたとき	0.2
14	200年以内に99.0%の確率で発生すると示されたとき	0.0
15	300年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	1.1
16	いずれも、不安感は変わらない	19.1

Q20-2.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も不安を感じるのは、次のうちどれですか。最も「不安」を感じるのは、震度 6 弱の地震が… (SA)

全体 (n=2350)		%
1	1年以内に2.3%の確率で発生すると示されたとき	15.2
2	5年以内に11.0%の確率で発生すると示されたとき	16.0
3	10年以内に20.8%の確率で発生すると示されたとき	19.2
4	20年以内に37.2%の確率で発生すると示されたとき	8.4
5	30年以内に50.2%の確率で発生すると示されたとき	14.6
6	40年以内に60.6%の確率で発生すると示されたとき	2.7
7	50年以内に68.8%の確率で発生すると示されたとき	2.8
8	60年以内に75.2%の確率で発生すると示されたとき	1.1
9	70年以内に80.4%の確率で発生すると示されたとき	0.5
10	80年以内に84.5%の確率で発生すると示されたとき	0.3
11	90年以内に87.7%の確率で発生すると示されたとき	0.2
12	100年以内に90.2%の確率で発生すると示されたとき	1.4
13	150年以内に97.0%の確率で発生すると示されたとき	0.1
14	200年以内に99.0%の確率で発生すると示されたとき	0.1
15	300年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	1.0
16	いずれも、不安感は変わらない	16.5

Q20-3.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も不安を感じるのは、次のうちどれですか。最も「不安」を感じるのは、震度6強の地震が…(SA)

全体 (n=2350)		%
1	1年以内に2.3%の確率で発生すると示されたとき	15.3
2	5年以内に11.0%の確率で発生すると示されたとき	16.9
3	10年以内に20.8%の確率で発生すると示されたとき	19.7
4	20年以内に37.2%の確率で発生すると示されたとき	9.1
5	30年以内に50.2%の確率で発生すると示されたとき	13.4
6	40年以内に60.6%の確率で発生すると示されたとき	2.3
7	50年以内に68.8%の確率で発生すると示されたとき	2.6
8	60年以内に75.2%の確率で発生すると示されたとき	1.0
9	70年以内に80.4%の確率で発生すると示されたとき	0.5
10	80年以内に84.5%の確率で発生すると示されたとき	0.3
11	90年以内に87.7%の確率で発生すると示されたとき	0.2
12	100年以内に90.2%の確率で発生すると示されたとき	1.7
13	150年以内に97.0%の確率で発生すると示されたとき	0.2
14	200年以内に99.0%の確率で発生すると示されたとき	0.1
15	300年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	0.9
16	いずれも、不安感は変わらない	15.8

Q20-4.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も不安を感じるのは、次のうちどれですか。最も「不安」を感じるのは、震度7の地震が…(SA)

全体 (n=2350)		%
1	1年以内に2.3%の確率で発生すると示されたとき	16.7
2	5年以内に11.0%の確率で発生すると示されたとき	17.1
3	10年以内に20.8%の確率で発生すると示されたとき	18.6
4	20年以内に37.2%の確率で発生すると示されたとき	7.9
5	30年以内に50.2%の確率で発生すると示されたとき	14.8
6	40年以内に60.6%の確率で発生すると示されたとき	2.6
7	50年以内に68.8%の確率で発生すると示されたとき	2.9
8	60年以内に75.2%の確率で発生すると示されたとき	1.3
9	70年以内に80.4%の確率で発生すると示されたとき	0.5
10	80年以内に84.5%の確率で発生すると示されたとき	0.4
11	90年以内に87.7%の確率で発生すると示されたとき	0.1
12	100年以内に90.2%の確率で発生すると示されたとき	1.2
13	150年以内に97.0%の確率で発生すると示されたとき	0.0
14	200年以内に99.0%の確率で発生すると示されたとき	0.2
15	300年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	0.9
16	いずれも、不安感は変わらない	14.9

Q21.あなたは今後、一生のうちに、現在住んでいる場所で以下の震度の地震が発生すると思いますか。(SA)

	全体	発生する と思う	発生しな いと思う	
1	震度5強以上の地震 (n=9400)	100.0	86.6	13.4
2	震度6弱以上の地震 (n=9400)	100.0	72.1	27.9
3	震度6強以上の地震 (n=9400)	100.0	56.2	43.8
4	震度7の地震 (n=9400)	100.0	40.5	59.5

Q22-1.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度5強の地震が1年以内に0.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.6	21.4	29.1	22.3	8.1	5.5
2 震度5強の地震が5年以内に0.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.8	22.6	29.1	22.2	7.8	5.5
3 震度5強の地震が10年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.2	23.3	30.1	20.9	7.1	5.3
4 震度5強の地震が20年以内に2.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.6	22.7	30.4	21.3	7.1	5.8
5 震度5強の地震が30年以内に3.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.1	22.5	30.6	21.3	7.4	6.2
6 震度5強の地震が40年以内に3.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.1	21.1	30.3	22.3	7.9	7.2
7 震度5強の地震が50年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.9	20.3	29.2	23.7	8.0	7.9
8 震度5強の地震が60年以内に5.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.4	19.5	29.2	23.9	8.4	8.6
9 震度5強の地震が70年以内に6.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.9	17.9	28.1	24.8	9.3	10.0
10 震度5強の地震が80年以内に7.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.5	17.9	27.6	25.0	9.4	10.6
11 震度5強の地震が90年以内に8.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.2	16.9	28.0	25.1	9.9	10.9
12 震度5強の地震が100年以内に9.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.3	16.2	27.1	25.7	9.9	11.8
13 震度5強の地震が150年以内に13.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.4	16.1	25.1	26.6	10.2	12.6
14 震度5強の地震が200年以内に18.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	8.9	15.8	25.4	26.5	10.4	12.9
15 震度5強の地震が300年以内に25.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.0	15.7	25.2	26.4	10.5	13.1
16 震度5強の地震が400年以内に33.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.0	15.6	25.1	26.3	10.7	13.2
17 震度5強の地震が500年以内に39.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.4	14.6	24.9	24.9	11.0	15.2
18 震度5強の地震が600年以内に45.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	8.8	15.1	24.7	25.2	10.8	15.3
19 震度5強の地震が700年以内に50.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.4	14.3	24.8	25.3	10.5	15.7
20 震度5強の地震が800年以内に55.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.1	14.5	24.3	25.1	10.7	16.2
21 震度5強の地震が900年以内に59.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.0	14.8	24.0	25.1	10.8	16.3
22 震度5強の地震が1,000年以内に63.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.1	14.3	24.4	25.1	10.5	16.6

Q22-2.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度6弱の地震が1年以内に0.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.2	24.1	29.4	20.9	6.1	4.3
2 震度6弱の地震が5年以内に0.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.9	25.0	29.6	20.2	6.3	4.0
3 震度6弱の地震が10年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.0	25.2	30.7	18.8	5.4	3.9
4 震度6弱の地震が20年以内に2.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.9	25.3	31.3	19.5	5.3	3.7
5 震度6弱の地震が30年以内に3.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.3	24.3	31.6	19.9	5.5	4.3
6 震度6弱の地震が40年以内に3.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.6	22.8	30.3	22.2	5.8	5.4
7 震度6弱の地震が50年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.3	21.7	30.5	22.1	6.3	6.3
8 震度6弱の地震が60年以内に5.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.9	21.3	29.9	22.5	6.7	6.8
9 震度6弱の地震が70年以内に6.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.6	19.0	29.7	23.8	7.8	8.0
10 震度6弱の地震が80年以内に7.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.7	18.9	28.6	24.2	8.2	8.5
11 震度6弱の地震が90年以内に8.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.5	18.6	28.1	24.6	8.0	9.2
12 震度6弱の地震が100年以内に9.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.4	18.0	27.5	24.0	8.6	10.4
13 震度6弱の地震が150年以内に13.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.4	17.0	26.1	24.8	9.6	11.1
14 震度6弱の地震が200年以内に18.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.9	16.9	26.1	24.6	9.8	11.6
15 震度6弱の地震が300年以内に25.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.3	16.7	25.0	25.4	9.7	12.0
16 震度6弱の地震が400年以内に33.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.4	16.5	25.1	25.0	10.0	12.1
17 震度6弱の地震が500年以内に39.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.2	16.0	23.9	25.0	10.0	13.9
18 震度6弱の地震が600年以内に45.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.4	15.7	24.0	24.9	10.0	14.0
19 震度6弱の地震が700年以内に50.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.4	15.9	23.7	25.1	9.7	14.1
20 震度6弱の地震が800年以内に55.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.2	16.0	23.7	24.9	9.8	14.3
21 震度6弱の地震が900年以内に59.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.3	15.9	23.9	24.6	10.0	14.4
22 震度6弱の地震が1,000年以内に63.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.7	15.3	23.8	24.6	9.9	14.7

Q22-3.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度6強の地震が1年以内に0.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.3	22.9	31.5	18.9	5.5	4.8
2 震度6強の地震が5年以内に0.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.3	24.7	31.7	18.2	5.5	4.6
3 震度6強の地震が10年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.3	25.4	33.1	16.9	4.9	4.3
4 震度6強の地震が20年以内に2.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.0	25.5	33.7	17.5	4.9	4.5
5 震度6強の地震が30年以内に3.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.4	25.4	32.5	18.4	5.5	4.9
6 震度6強の地震が40年以内に3.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.2	24.0	31.9	20.1	6.0	5.9
7 震度6強の地震が50年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.8	22.7	31.3	21.3	6.5	6.4
8 震度6強の地震が60年以内に5.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.3	21.7	31.3	22.1	6.9	6.7
9 震度6強の地震が70年以内に6.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.1	19.4	29.8	24.1	7.5	8.0
10 震度6強の地震が80年以内に7.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.9	19.3	29.4	23.9	8.2	8.3
11 震度6強の地震が90年以内に8.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.5	19.0	28.8	24.2	8.8	8.7
12 震度6強の地震が100年以内に9.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.8	17.7	28.3	24.7	8.9	9.7
13 震度6強の地震が150年以内に13.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.3	17.3	28.0	25.0	9.1	10.3
14 震度6強の地震が200年以内に18.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.2	17.1	27.0	25.7	9.2	10.8
15 震度6強の地震が300年以内に25.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.2	16.9	26.7	25.3	9.5	11.3
16 震度6強の地震が400年以内に33.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.1	16.8	26.5	25.9	9.1	11.7
17 震度6強の地震が500年以内に39.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	9.8	16.8	25.7	24.4	10.1	13.2
18 震度6強の地震が600年以内に45.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.3	16.3	25.0	24.9	10.1	13.4
19 震度6強の地震が700年以内に50.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.0	16.0	25.4	24.7	10.3	13.6
20 震度6強の地震が800年以内に55.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.0	15.8	25.2	25.0	10.0	14.0
21 震度6強の地震が900年以内に59.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.3	15.8	24.7	25.0	10.1	14.1
22 震度6強の地震が1,000年以内に63.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.5	15.4	24.8	25.0	10.1	14.3

Q22-4.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度7の地震が1年以内に0.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.8	24.1	30.4	19.3	5.4	4.0
2 震度7の地震が5年以内に0.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.8	25.7	30.9	18.2	5.3	4.1
3 震度7の地震が10年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.6	27.7	30.2	16.5	4.9	4.0
4 震度7の地震が20年以内に2.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.7	27.0	31.2	17.3	4.7	4.1
5 震度7の地震が30年以内に3.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.2	26.3	31.1	17.9	5.3	4.2
6 震度7の地震が40年以内に3.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.1	26.1	30.1	19.8	5.4	5.4
7 震度7の地震が50年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.0	24.9	29.8	20.1	5.9	6.3
8 震度7の地震が60年以内に5.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.7	23.4	29.7	21.4	6.0	6.9
9 震度7の地震が70年以内に6.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.6	21.5	29.2	22.6	7.3	7.8
10 震度7の地震が80年以内に7.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.6	21.3	28.5	22.9	7.6	8.2
11 震度7の地震が90年以内に8.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.6	20.3	28.6	23.3	7.3	8.9
12 震度7の地震が100年以内に9.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.4	20.5	26.4	24.1	7.7	9.8
13 震度7の地震が150年以内に13.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.1	20.0	25.4	24.9	8.1	10.6
14 震度7の地震が200年以内に18.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.3	19.3	25.1	24.9	8.6	10.9
15 震度7の地震が300年以内に25.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.5	19.2	23.9	25.1	8.9	11.4
16 震度7の地震が400年以内に33.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.0	18.9	23.6	25.1	8.8	11.5
17 震度7の地震が500年以内に39.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.2	17.7	23.6	24.3	9.3	12.9
18 震度7の地震が600年以内に45.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.3	17.5	23.1	24.7	9.4	13.0
19 震度7の地震が700年以内に50.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.7	17.0	23.0	24.6	9.5	13.2
20 震度7の地震が800年以内に55.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.3	17.5	22.3	24.6	9.7	13.4
21 震度7の地震が900年以内に59.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.1	17.7	22.3	24.8	9.5	13.7
22 震度7の地震が1,000年以内に63.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.4	17.2	22.5	24.4	9.5	14.0

Q23-1.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、次のうちどれですか。最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、震度5強の地震が…（SA）

	全体 (n=2350)	%
1	1年以内に0.1%の確率で発生すると示されたとき	13.7
2	5年以内に0.5%の確率で発生すると示されたとき	8.2
3	10年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	16.3
4	20年以内に2.0%の確率で発生すると示されたとき	7.4
5	30年以内に3.0%の確率で発生すると示されたとき	8.4
6	40年以内に3.9%の確率で発生すると示されたとき	2.5
7	50年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	4.5
8	60年以内に5.8%の確率で発生すると示されたとき	1.9
9	70年以内に6.8%の確率で発生すると示されたとき	0.5
10	80年以内に7.7%の確率で発生すると示されたとき	0.4
11	90年以内に8.6%の確率で発生すると示されたとき	0.2
12	100年以内に9.5%の確率で発生すると示されたとき	1.7
13	150年以内に13.9%の確率で発生すると示されたとき	0.5
14	200年以内に18.1%の確率で発生すると示されたとき	0.1
15	300年以内に25.9%の確率で発生すると示されたとき	0.2
16	400年以内に33.0%の確率で発生すると示されたとき	0.4
17	500年以内に39.4%の確率で発生すると示されたとき	0.1
18	600年以内に45.1%の確率で発生すると示されたとき	0.1
19	700年以内に50.4%の確率で発生すると示されたとき	0.3
20	800年以内に55.1%の確率で発生すると示されたとき	0.1
21	900年以内に59.4%の確率で発生すると示されたとき	0.0
22	1,000年以内に63.2%の確率で発生すると示されたとき	0.6
23	いずれも、「個人的な（自分自身の）対策の必要性」の感じ方は変わらない	31.8

Q23-2.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、次のうちどれですか。最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、震度6弱の地震が…（SA）

	全体 (n=2350)	%
1	1年以内に0.1%の確率で発生すると示されたとき	12.9
2	5年以内に0.5%の確率で発生すると示されたとき	8.5
3	10年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	18.0
4	20年以内に2.0%の確率で発生すると示されたとき	8.1
5	30年以内に3.0%の確率で発生すると示されたとき	9.2
6	40年以内に3.9%の確率で発生すると示されたとき	2.5
7	50年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	4.2
8	60年以内に5.8%の確率で発生すると示されたとき	2.0
9	70年以内に6.8%の確率で発生すると示されたとき	0.5
10	80年以内に7.7%の確率で発生すると示されたとき	0.3
11	90年以内に8.6%の確率で発生すると示されたとき	0.2
12	100年以内に9.5%の確率で発生すると示されたとき	2.2
13	150年以内に13.9%の確率で発生すると示されたとき	0.7
14	200年以内に18.1%の確率で発生すると示されたとき	0.3
15	300年以内に25.9%の確率で発生すると示されたとき	0.2
16	400年以内に33.0%の確率で発生すると示されたとき	0.2
17	500年以内に39.4%の確率で発生すると示されたとき	0.2
18	600年以内に45.1%の確率で発生すると示されたとき	0.1
19	700年以内に50.4%の確率で発生すると示されたとき	0.3
20	800年以内に55.1%の確率で発生すると示されたとき	0.0
21	900年以内に59.4%の確率で発生すると示されたとき	0.1
22	1,000年以内に63.2%の確率で発生すると示されたとき	0.6
23	いずれも、「個人的な（自分自身の）対策の必要性」の感じ方は変わらない	28.6

Q23-3.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、次のうちどれですか。最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、震度6強の地震が…

	全体 (n=2350)	%
1	1年以内に0.1%の確率で発生すると示されたとき	13.3
2	5年以内に0.5%の確率で発生すると示されたとき	7.9
3	10年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	18.3
4	20年以内に2.0%の確率で発生すると示されたとき	7.9
5	30年以内に3.0%の確率で発生すると示されたとき	8.7
6	40年以内に3.9%の確率で発生すると示されたとき	2.9
7	50年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	5.0
8	60年以内に5.8%の確率で発生すると示されたとき	1.5
9	70年以内に6.8%の確率で発生すると示されたとき	0.6
10	80年以内に7.7%の確率で発生すると示されたとき	0.4
11	90年以内に8.6%の確率で発生すると示されたとき	0.3
12	100年以内に9.5%の確率で発生すると示されたとき	2.9
13	150年以内に13.9%の確率で発生すると示されたとき	0.8
14	200年以内に18.1%の確率で発生すると示されたとき	0.2
15	300年以内に25.9%の確率で発生すると示されたとき	0.4
16	400年以内に33.0%の確率で発生すると示されたとき	0.2
17	500年以内に39.4%の確率で発生すると示されたとき	0.2
18	600年以内に45.1%の確率で発生すると示されたとき	0.2
19	700年以内に50.4%の確率で発生すると示されたとき	0.3
20	800年以内に55.1%の確率で発生すると示されたとき	0.1
21	900年以内に59.4%の確率で発生すると示されたとき	0.1
22	1,000年以内に63.2%の確率で発生すると示されたとき	0.6
23	いずれも、「個人的な（自分自身の）対策の必要性」の感じ方は変わらない	27.2

Q23-4.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、次のうちどれですか。最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、震度7の地震が…

	全体 (n=2350)	%
1	1年以内に0.1%の確率で発生すると示されたとき	14.7
2	5年以内に0.5%の確率で発生すると示されたとき	8.5
3	10年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	17.9
4	20年以内に2.0%の確率で発生すると示されたとき	9.0
5	30年以内に3.0%の確率で発生すると示されたとき	10.0
6	40年以内に3.9%の確率で発生すると示されたとき	2.6
7	50年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	5.5
8	60年以内に5.8%の確率で発生すると示されたとき	1.6
9	70年以内に6.8%の確率で発生すると示されたとき	0.6
10	80年以内に7.7%の確率で発生すると示されたとき	0.2
11	90年以内に8.6%の確率で発生すると示されたとき	0.1
12	100年以内に9.5%の確率で発生すると示されたとき	2.2
13	150年以内に13.9%の確率で発生すると示されたとき	0.8
14	200年以内に18.1%の確率で発生すると示されたとき	0.3
15	300年以内に25.9%の確率で発生すると示されたとき	0.3
16	400年以内に33.0%の確率で発生すると示されたとき	0.2
17	500年以内に39.4%の確率で発生すると示されたとき	0.2
18	600年以内に45.1%の確率で発生すると示されたとき	0.0
19	700年以内に50.4%の確率で発生すると示されたとき	0.3
20	800年以内に55.1%の確率で発生すると示されたとき	0.2
21	900年以内に59.4%の確率で発生すると示されたとき	0.0
22	1,000年以内に63.2%の確率で発生すると示されたとき	0.6
23	いずれも、「個人的な（自分自身の）対策の必要性」の感じ方は変わらない	24.3

Q24-1.地震の発生について次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の必 要性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性を 感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の必 要性を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度5強の地震が1,000年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.4	10.8	19.1	29.4	13.1	20.2
2 震度5強の地震が900年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.2	11.4	19.6	29.0	13.1	19.7
3 震度5強の地震が800年に1回発生する (n=2350)	100.0	6.9	10.9	20.1	29.6	13.3	19.2
4 震度5強の地震が700年に1回発生する (n=2350)	100.0	6.8	11.3	20.4	29.1	13.4	18.9
5 震度5強の地震が600年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.2	11.1	20.7	29.1	13.1	18.7
6 震度5強の地震が500年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.4	12.3	21.9	27.6	12.5	18.4
7 震度5強の地震が400年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.2	12.3	22.4	27.1	12.3	17.7
8 震度5強の地震が300年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.0	14.6	22.7	25.8	11.4	16.4
9 震度5強の地震が200年に1回発生する (n=2350)	100.0	11.0	15.6	23.4	24.1	10.8	15.1

Q24-2.地震の発生について次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の必 要性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性を 感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の必 要性を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度6弱の地震が1,000年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.0	12.9	20.6	28.1	12.4	18.0
2 震度6弱の地震が900年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.3	13.8	21.1	27.6	12.6	17.5
3 震度6弱の地震が800年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.8	12.9	21.5	28.3	12.0	17.4
4 震度6弱の地震が700年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.0	13.2	21.6	28.3	11.9	17.0
5 震度6弱の地震が600年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.1	13.4	22.5	27.7	11.5	16.8
6 震度6弱の地震が500年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.7	14.5	23.2	26.8	10.6	16.1
7 震度6弱の地震が400年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.4	15.3	23.3	25.5	10.9	15.5
8 震度6弱の地震が300年に1回発生する (n=2350)	100.0	11.5	17.3	22.6	23.7	10.2	14.6
9 震度6弱の地震が200年に1回発生する (n=2350)	100.0	13.8	18.2	23.5	21.5	9.5	13.4

Q24-3.地震の発生について次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。）

	全体	非常に対 策の必要 性を感じる	対策の必 要性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性を 感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の必 要性を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度6強の地震が1,000年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.4	11.9	22.5	29.4	11.8	16.9
2 震度6強の地震が900年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.7	12.0	22.9	29.2	11.7	16.6
3 震度6強の地震が800年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.0	12.0	23.5	29.4	12.0	16.1
4 震度6強の地震が700年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.4	12.1	23.2	29.7	11.7	15.8
5 震度6強の地震が600年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.6	12.3	23.7	29.3	11.6	15.5
6 震度6強の地震が500年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.2	14.3	23.6	27.8	11.0	15.1
7 震度6強の地震が400年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.8	15.1	23.9	27.1	10.5	14.6
8 震度6強の地震が300年に1回発生する (n=2350)	100.0	11.0	15.8	24.9	25.0	9.5	13.8
9 震度6強の地震が200年に1回発生する (n=2350)	100.0	13.3	17.5	25.7	22.1	9.0	12.5

Q24-4.地震の発生について次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

(SA)

	全体	非常に対策の必要性を感じる	対策の必要性を感じる	どちらかといえば対策の必要性を感じる	どちらかといえば対策の必要性を感じない	対策の必要性を感じない	まったく対策の必要性を感じない
1 震度7の地震が1,000年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.4	13.4	20.9	29.4	11.0	16.9
2 震度7の地震が900年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.8	13.9	21.3	29.1	11.0	16.9
3 震度7の地震が800年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.8	13.9	21.7	28.8	11.1	16.8
4 震度7の地震が700年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.7	14.0	22.0	28.5	11.4	16.4
5 震度7の地震が600年に1回発生する (n=2350)	100.0	7.6	14.9	21.3	28.3	11.5	16.4
6 震度7の地震が500年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.0	15.4	21.4	27.3	11.7	16.0
7 震度7の地震が400年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.7	15.7	21.5	27.1	11.3	15.6
8 震度7の地震が300年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.7	16.2	21.9	26.8	10.6	15.0
9 震度7の地震が200年に1回発生する (n=2350)	100.0	11.4	18.7	23.1	23.5	9.8	13.5

Q25-1.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。(SA)

	全体	非常に対策の必要性を感じる	対策の必要性を感じる	どちらかといえば対策の必要性を感じる	どちらかといえば対策の必要性を感じない	対策の必要性を感じない	まったく対策の必要性を感じない
1 震度5強の地震が1年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.5	21.5	30.1	20.7	7.5	6.7
2 震度5強の地震が5年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.9	25.0	31.5	16.9	6.6	6.1
3 震度5強の地震が10年以内に9.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.6	26.8	33.0	14.2	5.6	5.7
4 震度5強の地震が20年以内に18.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.3	27.1	32.9	14.4	5.6	5.8
5 震度5強の地震が30年以内に26.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.3	26.9	30.7	16.2	5.5	6.3
6 震度5強の地震が40年以内に33.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.4	26.2	29.0	18.1	5.8	7.4
7 震度5強の地震が50年以内に39.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.0	24.8	28.3	19.0	6.2	8.7
8 震度5強の地震が60年以内に45.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.5	22.9	27.4	20.0	7.4	9.9
9 震度5強の地震が70年以内に50.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.3	21.5	26.7	21.1	7.5	10.9
10 震度5強の地震が80年以内に55.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.0	21.1	26.4	21.1	8.0	11.4
11 震度5強の地震が90年以内に59.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.6	19.5	25.3	22.2	8.6	12.9
12 震度5強の地震が100年以内に63.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.4	18.5	24.8	22.9	8.4	14.0
13 震度5強の地震が150年以内に77.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.5	17.1	24.2	24.5	8.4	15.3
14 震度5強の地震が200年以内に86.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.2	16.9	23.1	25.4	8.9	15.6
15 震度5強の地震が300年以内に95.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.2	16.0	23.3	25.7	8.6	16.2
16 震度5強の地震が400年以内に98.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.2	15.3	23.7	25.6	8.7	16.6
17 震度5強の地震が500年以内に99.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.2	14.9	23.7	25.4	9.3	16.5
18 震度5強の地震が600年以内に99.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.3	14.5	23.7	25.4	9.6	16.6
19 震度5強の地震が700年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	10.3	14.9	23.0	25.7	9.4	16.7

Q25-2.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度6弱の地震が1年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.7	24.2	29.2	19.6	6.2	5.1
2 震度6弱の地震が5年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.8	26.6	30.8	16.2	5.2	4.4
3 震度6弱の地震が10年以内に9.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.1	28.7	32.3	13.0	4.2	3.8
4 震度6弱の地震が20年以内に18.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.0	30.0	31.9	12.2	4.3	3.7
5 震度6弱の地震が30年以内に26.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.6	29.1	30.7	13.2	4.0	4.4
6 震度6弱の地震が40年以内に33.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.1	27.2	29.6	15.9	4.4	5.7
7 震度6弱の地震が50年以内に39.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.4	25.5	28.6	17.6	5.5	6.4
8 震度6弱の地震が60年以内に45.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.7	23.4	28.4	18.7	6.2	7.5
9 震度6弱の地震が70年以内に50.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.4	22.9	27.1	19.8	6.4	8.4
10 震度6弱の地震が80年以内に55.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.0	22.1	26.7	20.2	7.1	8.9
11 震度6弱の地震が90年以内に59.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.4	19.6	26.9	21.5	7.1	10.5
12 震度6弱の地震が100年以内に63.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.0	19.7	25.7	21.6	7.6	11.3
13 震度6弱の地震が150年以内に77.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.9	17.6	25.2	23.4	8.1	12.7
14 震度6弱の地震が200年以内に86.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.6	17.4	24.2	24.4	8.3	13.1
15 震度6弱の地震が300年以内に95.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.6	16.6	24.3	24.1	8.5	13.8
16 震度6弱の地震が400年以内に99.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.3	16.9	24.1	23.7	9.1	13.8
17 震度6弱の地震が500年以内に99.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.6	16.0	23.9	24.1	9.1	14.3
18 震度6弱の地震が600年以内に99.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.5	16.1	23.9	23.7	9.3	14.6
19 震度6弱の地震が700年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.9	15.6	23.8	23.8	9.1	14.7

Q25-3.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度6強の地震が1年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.1	23.3	31.1	17.9	5.5	5.0
2 震度6強の地震が5年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.8	26.1	31.4	14.8	4.6	4.3
3 震度6強の地震が10年以内に9.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.9	28.3	32.2	11.4	4.3	4.0
4 震度6強の地震が20年以内に18.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.5	29.6	31.1	12.0	3.9	3.9
5 震度6強の地震が30年以内に26.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.2	29.1	30.2	13.1	4.4	4.0
6 震度6強の地震が40年以内に33.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.4	27.5	30.6	14.4	4.6	5.4
7 震度6強の地震が50年以内に39.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.7	26.7	29.1	16.0	5.3	6.2
8 震度6強の地震が60年以内に45.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.5	24.4	28.5	18.4	6.0	7.2
9 震度6強の地震が70年以内に50.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.8	23.4	28.7	19.1	6.2	7.9
10 震度6強の地震が80年以内に55.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.3	22.5	28.8	19.8	6.5	8.2
11 震度6強の地震が90年以内に59.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.7	20.7	27.4	21.3	7.4	9.4
12 震度6強の地震が100年以内に63.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.6	19.7	27.1	20.5	8.0	11.0
13 震度6強の地震が150年以内に77.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.6	17.8	26.1	23.4	8.3	11.7
14 震度6強の地震が200年以内に86.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.2	18.0	24.7	24.0	8.6	12.5
15 震度6強の地震が300年以内に95.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.0	17.1	24.6	24.3	9.2	12.9
16 震度6強の地震が400年以内に98.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.8	17.0	24.5	24.4	9.0	13.4
17 震度6強の地震が500年以内に99.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.8	16.5	24.7	24.1	9.4	13.5
18 震度6強の地震が600年以内に99.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.2	16.5	24.6	24.6	9.3	13.8
19 震度6強の地震が700年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	11.6	16.4	24.3	24.4	9.1	14.0

Q25-4.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない	
1	震度7の地震が1年以内に1.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.9	24.9	30.4	17.0	5.2	4.7
2	震度7の地震が5年以内に4.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.4	28.6	29.7	13.6	4.4	4.3
3	震度7の地震が10年以内に9.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	22.2	29.8	29.5	11.1	3.4	4.0
4	震度7の地震が20年以内に18.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	21.8	30.8	29.4	10.8	3.1	4.1
5	震度7の地震が30年以内に26.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	21.7	29.2	29.3	11.6	3.6	4.6
6	震度7の地震が40年以内に33.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.3	27.9	28.1	13.9	4.4	5.4
7	震度7の地震が50年以内に39.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.8	27.3	26.8	16.2	4.2	6.8
8	震度7の地震が60年以内に45.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.4	25.2	26.5	18.3	4.8	7.7
9	震度7の地震が70年以内に50.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.1	23.9	26.2	19.0	5.6	8.3
10	震度7の地震が80年以内に55.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.2	23.5	26.0	19.5	6.1	8.7
11	震度7の地震が90年以内に59.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.7	21.9	25.3	20.4	6.7	9.9
12	震度7の地震が100年以内に63.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.0	20.6	25.0	20.9	6.8	10.7
13	震度7の地震が150年以内に77.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.0	19.8	24.8	22.2	7.6	11.6
14	震度7の地震が200年以内に86.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.2	18.9	24.0	22.9	8.1	12.0
15	震度7の地震が300年以内に95.1%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.8	18.7	23.4	23.1	8.5	12.5
16	震度7の地震が400年以内に98.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.5	18.3	23.1	23.4	8.6	13.1
17	震度7の地震が500年以内に99.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.5	17.8	23.6	22.9	8.6	13.6
18	震度7の地震が600年以内に99.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.3	18.1	22.4	23.7	8.6	13.9
19	震度7の地震が700年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	13.5	18.0	22.2	23.7	8.6	14.0

Q26-1.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、次のうちどれですか。最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、震度5強の地震が… (SA)

	全体 (n=2350)	%
1	1年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	14.2
2	5年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	13.3
3	10年以内に9.6%の確率で発生すると示されたとき	17.1
4	20年以内に18.2%の確率で発生すると示されたとき	8.9
5	30年以内に26.0%の確率で発生すると示されたとき	9.4
6	40年以内に33.1%の確率で発生すると示されたとき	3.5
7	50年以内に39.5%の確率で発生すると示されたとき	3.8
8	60年以内に45.3%の確率で発生すると示されたとき	1.4
9	70年以内に50.5%の確率で発生すると示されたとき	1.7
10	80年以内に55.2%の確率で発生すると示されたとき	0.7
11	90年以内に59.5%の確率で発生すると示されたとき	0.1
12	100年以内に63.4%の確率で発生すると示されたとき	0.8
13	150年以内に77.9%の確率で発生すると示されたとき	0.0
14	200年以内に86.6%の確率で発生すると示されたとき	0.0
15	300年以内に95.1%の確率で発生すると示されたとき	0.3
16	400年以内に98.2%の確率で発生すると示されたとき	0.0
17	500年以内に99.3%の確率で発生すると示されたとき	0.0
18	600年以内に99.8%の確率で発生すると示されたとき	0.0
19	700年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	0.7
20	いずれも、「個人的な（自分自身の）対策の必要性」の感じ方は変わらない	24.0

Q26-2.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、次のうちどれですか。最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、震度6弱の地震が…（SA）

全体 (n=2350)		%
1	1年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	13.7
2	5年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	12.7
3	10年以内に9.6%の確率で発生すると示されたとき	19.5
4	20年以内に18.2%の確率で発生すると示されたとき	9.0
5	30年以内に26.0%の確率で発生すると示されたとき	10.4
6	40年以内に33.1%の確率で発生すると示されたとき	4.0
7	50年以内に39.5%の確率で発生すると示されたとき	4.3
8	60年以内に45.3%の確率で発生すると示されたとき	1.6
9	70年以内に50.5%の確率で発生すると示されたとき	1.5
10	80年以内に55.2%の確率で発生すると示されたとき	0.2
11	90年以内に59.5%の確率で発生すると示されたとき	0.2
12	100年以内に63.4%の確率で発生すると示されたとき	1.3
13	150年以内に77.9%の確率で発生すると示されたとき	0.3
14	200年以内に86.6%の確率で発生すると示されたとき	0.0
15	300年以内に95.1%の確率で発生すると示されたとき	0.1
16	400年以内に98.2%の確率で発生すると示されたとき	0.0
17	500年以内に99.3%の確率で発生すると示されたとき	0.0
18	600年以内に99.8%の確率で発生すると示されたとき	0.0
19	700年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	0.7
20	いずれも、「個人的な（自分自身の）対策の必要性」の感じ方は変わらない	20.5

Q26-3.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、次のうちどれですか。最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、震度6強の地震が…（SA）

全体 (n=2350)		%
1	1年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	14.8
2	5年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	13.4
3	10年以内に9.6%の確率で発生すると示されたとき	18.3
4	20年以内に18.2%の確率で発生すると示されたとき	8.6
5	30年以内に26.0%の確率で発生すると示されたとき	10.7
6	40年以内に33.1%の確率で発生すると示されたとき	4.6
7	50年以内に39.5%の確率で発生すると示されたとき	3.8
8	60年以内に45.3%の確率で発生すると示されたとき	1.1
9	70年以内に50.5%の確率で発生すると示されたとき	1.6
10	80年以内に55.2%の確率で発生すると示されたとき	0.2
11	90年以内に59.5%の確率で発生すると示されたとき	0.3
12	100年以内に63.4%の確率で発生すると示されたとき	1.4
13	150年以内に77.9%の確率で発生すると示されたとき	0.2
14	200年以内に86.6%の確率で発生すると示されたとき	0.2
15	300年以内に95.1%の確率で発生すると示されたとき	0.2
16	400年以内に98.2%の確率で発生すると示されたとき	0.1
17	500年以内に99.3%の確率で発生すると示されたとき	0.1
18	600年以内に99.8%の確率で発生すると示されたとき	0.1
19	700年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	0.5
20	いずれも、「個人的な（自分自身の）対策の必要性」の感じ方は変わらない	19.8

Q26-4.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、次のうちどれですか。最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、震度7の地震が…（SA）

	%
全体 (n=2350)	100.0
1 1年以内に1.0%の確率で発生すると示されたとき	16.2
2 5年以内に4.9%の確率で発生すると示されたとき	14.3
3 10年以内に9.6%の確率で発生すると示されたとき	17.7
4 20年以内に18.2%の確率で発生すると示されたとき	9.4
5 30年以内に26.0%の確率で発生すると示されたとき	11.0
6 40年以内に33.1%の確率で発生すると示されたとき	3.4
7 50年以内に39.5%の確率で発生すると示されたとき	4.3
8 60年以内に45.3%の確率で発生すると示されたとき	1.1
9 70年以内に50.5%の確率で発生すると示されたとき	1.2
10 80年以内に55.2%の確率で発生すると示されたとき	0.2
11 90年以内に59.5%の確率で発生すると示されたとき	0.3
12 100年以内に63.4%の確率で発生すると示されたとき	1.2
13 150年以内に77.9%の確率で発生すると示されたとき	0.0
14 200年以内に86.6%の確率で発生すると示されたとき	0.2
15 300年以内に95.1%の確率で発生すると示されたとき	0.2
16 400年以内に98.2%の確率で発生すると示されたとき	0.0
17 500年以内に99.3%の確率で発生すると示されたとき	0.1
18 600年以内に99.8%の確率で発生すると示されたとき	0.0
19 700年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	0.6
20 いずれも、「個人的な（自分自身の）対策の必要性」の感じ方は変わらない	18.5

Q27-1.地震の発生について次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度5強の地震が100年に1回発生する (n=2350)	100.0	10.6	15.7	27.4	24.8	8.6	12.9
2 震度5強の地震が90年に1回発生する (n=2350)	100.0	8.9	15.9	26.9	26.4	8.7	13.2
3 震度5強の地震が80年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.0	15.3	27.9	26.1	9.0	12.8
4 震度5強の地震が70年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.3	15.9	27.4	26.3	8.3	12.7
5 震度5強の地震が60年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.9	16.9	27.8	25.2	8.1	12.0
6 震度5強の地震が50年に1回発生する (n=2350)	100.0	12.0	20.0	28.6	20.9	7.6	10.9
7 震度5強の地震が40年に1回発生する (n=2350)	100.0	14.0	21.7	28.6	18.9	7.0	9.8
8 震度5強の地震が30年に1回発生する (n=2350)	100.0	17.7	25.5	28.1	15.7	5.6	7.5
9 震度5強の地震が20年に1回発生する (n=2350)	100.0	23.1	27.0	26.9	12.1	5.0	6.0
10 震度5強の地震が10年に1回発生する (n=2350)	100.0	29.0	26.6	24.9	10.5	3.9	5.2

Q27-2.地震の発生について次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度6弱の地震が100年に1回発生する (n=2350)	100.0	11.0	19.7	26.6	24.7	7.4	10.5
2 震度6弱の地震が90年に1回発生する (n=2350)	100.0	9.1	19.2	27.7	26.0	7.9	10.2
3 震度6弱の地震が80年に1回発生する (n=2350)	100.0	10.0	18.3	28.0	26.0	8.3	9.5
4 震度6弱の地震が70年に1回発生する (n=2350)	100.0	10.4	19.5	28.5	24.5	7.9	9.1
5 震度6弱の地震が60年に1回発生する (n=2350)	100.0	11.4	20.3	28.5	24.0	7.0	8.8
6 震度6弱の地震が50年に1回発生する (n=2350)	100.0	15.1	22.3	29.4	19.7	5.9	7.5
7 震度6弱の地震が40年に1回発生する (n=2350)	100.0	17.6	23.6	29.1	17.6	5.3	6.7
8 震度6弱の地震が30年に1回発生する (n=2350)	100.0	22.9	26.7	29.1	11.8	4.2	5.3
9 震度6弱の地震が20年に1回発生する (n=2350)	100.0	28.2	29.6	25.6	9.2	3.4	4.0
10 震度6弱の地震が10年に1回発生する (n=2350)	100.0	35.6	27.9	22.6	7.7	2.7	3.4

Q27-3.地震の発生について次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策 の必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度6強の地震が100年に1回発生する (n=2350)	100.0	12.3	18.2	30.4	22.6	7.4	9.1
2 震度6強の地震が90年に1回発生する (n=2350)	100.0	10.4	18.0	30.6	23.9	8.0	9.1
3 震度6強の地震が80年に1回発生する (n=2350)	100.0	10.4	18.9	30.9	23.1	7.8	9.0
4 震度6強の地震が70年に1回発生する (n=2350)	100.0	10.5	19.6	30.6	23.0	7.6	8.6
5 震度6強の地震が60年に1回発生する (n=2350)	100.0	11.4	21.4	29.7	22.0	7.3	8.2
6 震度6強の地震が50年に1回発生する (n=2350)	100.0	15.7	23.0	29.9	17.8	6.3	7.2
7 震度6強の地震が40年に1回発生する (n=2350)	100.0	18.5	24.7	28.8	16.3	5.4	6.2
8 震度6強の地震が30年に1回発生する (n=2350)	100.0	23.8	28.0	27.0	12.3	4.0	4.9
9 震度6強の地震が20年に1回発生する (n=2350)	100.0	30.0	29.4	23.7	10.0	2.6	4.3
10 震度6強の地震が10年に1回発生する (n=2350)	100.0	38.1	26.9	21.6	7.7	2.3	3.3

Q27-4.地震の発生について次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策 の必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度7の地震が100年に1回発生する (n=2350)	100.0	12.0	21.0	27.9	22.1	6.4	10.5
2 震度7の地震が90年に1回発生する (n=2350)	100.0	12.0	21.5	28.3	21.5	6.7	10.0
3 震度7の地震が80年に1回発生する (n=2350)	100.0	12.7	21.5	28.0	21.6	6.4	9.8
4 震度7の地震が70年に1回発生する (n=2350)	100.0	13.5	22.0	28.2	20.8	6.1	9.5
5 震度7の地震が60年に1回発生する (n=2350)	100.0	14.8	22.6	28.1	20.0	5.5	9.1
6 震度7の地震が50年に1回発生する (n=2350)	100.0	19.4	24.7	26.9	16.5	4.6	8.0
7 震度7の地震が40年に1回発生する (n=2350)	100.0	22.0	27.3	25.5	14.8	3.4	7.1
8 震度7の地震が30年に1回発生する (n=2350)	100.0	28.7	28.3	24.5	10.5	2.8	5.3
9 震度7の地震が20年に1回発生する (n=2350)	100.0	35.4	28.6	21.7	7.4	2.3	4.5
10 震度7の地震が10年に1回発生する (n=2350)	100.0	43.0	26.0	19.0	6.5	1.9	3.6

Q28-1.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策 の必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度5強の地震が1年以内に2.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.6	24.5	30.2	17.6	5.5	5.6
2 震度5強の地震が5年以内に11.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.8	28.1	30.3	13.0	4.9	4.9
3 震度5強の地震が10年以内に20.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.5	28.4	30.6	11.9	4.0	4.7
4 震度5強の地震が20年以内に37.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.6	28.9	29.5	11.7	4.2	4.9
5 震度5強の地震が30年以内に50.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	21.5	28.8	26.9	12.5	4.7	5.6
6 震度5強の地震が40年以内に60.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.3	27.0	27.0	14.6	5.1	7.1
7 震度5強の地震が50年以内に68.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.2	24.9	27.2	15.7	5.8	8.2
8 震度5強の地震が60年以内に75.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.2	23.4	26.5	18.1	5.8	9.0
9 震度5強の地震が70年以内に80.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	15.5	21.3	26.1	19.8	7.0	10.3
10 震度5強の地震が80年以内に84.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.7	21.2	25.6	20.6	7.3	10.6
11 震度5強の地震が90年以内に87.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.8	19.7	25.9	20.8	7.1	11.7
12 震度5強の地震が100年以内に90.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.5	18.6	24.6	21.7	7.6	13.0
13 震度5強の地震が150年以内に97.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.9	17.9	23.8	23.3	8.1	14.0
14 震度5強の地震が200年以内に99.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.2	18.0	23.9	23.1	8.3	14.6
15 震度5強の地震が300年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	12.3	17.3	24.0	23.3	8.3	14.9

Q28-2.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度6弱の地震が1年以内に2.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.6	25.3	31.0	15.5	4.6	4.0
2 震度6弱の地震が5年以内に11.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	22.3	30.5	29.0	11.6	3.4	3.2
3 震度6弱の地震が10年以内に20.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	24.9	31.1	28.3	9.9	2.9	2.9
4 震度6弱の地震が20年以内に37.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	25.2	30.8	28.0	10.3	2.5	3.2
5 震度6弱の地震が30年以内に50.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	27.0	28.7	27.0	10.5	2.7	4.1
6 震度6弱の地震が40年以内に60.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	23.6	26.9	27.9	13.5	2.9	5.2
7 震度6弱の地震が50年以内に68.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	22.2	25.4	27.2	15.0	4.1	6.0
8 震度6弱の地震が60年以内に75.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.3	24.3	27.1	16.7	4.6	7.0
9 震度6弱の地震が70年以内に80.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.3	22.7	26.3	18.6	5.8	8.3
10 震度6弱の地震が80年以内に84.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.5	22.5	25.7	18.7	6.3	9.2
11 震度6弱の地震が90年以内に87.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.1	21.8	25.0	19.1	7.0	10.0
12 震度6弱の地震が100年以内に90.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.1	20.2	25.1	19.3	7.3	11.1
13 震度6弱の地震が150年以内に97.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.9	19.4	24.4	21.6	7.4	12.3
14 震度6弱の地震が200年以内に99.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.7	18.8	24.4	21.6	7.5	13.0
15 震度6弱の地震が300年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.9	18.3	24.0	22.0	7.7	13.2

Q28-3.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度6強の地震が1年以内に2.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.6	26.7	30.2	14.6	4.0	3.9
2 震度6強の地震が5年以内に11.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	24.0	29.7	29.0	10.8	3.3	3.2
3 震度6強の地震が10年以内に20.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	25.8	30.9	27.8	9.6	2.7	3.2
4 震度6強の地震が20年以内に37.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	26.4	30.9	26.8	10.0	2.6	3.3
5 震度6強の地震が30年以内に50.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	27.6	29.9	24.8	10.9	3.1	3.7
6 震度6強の地震が40年以内に60.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	24.9	27.8	25.5	12.7	3.7	5.4
7 震度6強の地震が50年以内に68.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	22.9	26.7	25.5	14.7	4.2	6.0
8 震度6強の地震が60年以内に75.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	21.1	25.2	26.3	15.8	4.6	7.0
9 震度6強の地震が70年以内に80.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.3	22.8	26.7	17.5	5.7	8.0
10 震度6強の地震が80年以内に84.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	18.3	23.1	26.0	18.1	6.0	8.4
11 震度6強の地震が90年以内に87.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.5	21.4	26.4	19.0	6.6	9.1
12 震度6強の地震が100年以内に90.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	17.1	20.3	25.3	19.7	7.3	10.2
13 震度6強の地震が150年以内に97.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.8	20.1	24.4	22.1	7.4	11.2
14 震度6強の地震が200年以内に99.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.6	19.3	24.5	22.2	7.7	11.7
15 震度6強の地震が300年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	14.3	19.1	24.5	22.3	7.6	12.2

Q28-4.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、どの程度「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	非常に 対策の 必要性 を感じる	対策の 必要 性を感じ る	どちらかとい えば対策 の必要性 を感じる	どちらかとい えば対策の 必要性を 感じない	対策の 必要性 を感じ ない	まったく対 策の必要 性を感じ ない
1 震度7の地震が1年以内に2.3%の確率で発生する (n=2350)	100.0	22.0	27.7	28.7	13.8	3.9	4.0
2 震度7の地震が5年以内に11.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	26.2	30.7	27.0	9.7	2.9	3.4
3 震度7の地震が10年以内に20.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	28.3	31.8	25.3	8.6	2.7	3.3
4 震度7の地震が20年以内に37.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	28.7	31.7	24.1	9.2	2.5	3.8
5 震度7の地震が30年以内に50.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	29.6	30.0	24.4	9.1	2.5	4.4
6 震度7の地震が40年以内に60.6%の確率で発生する (n=2350)	100.0	27.1	28.3	24.3	11.8	2.9	5.6
7 震度7の地震が50年以内に68.8%の確率で発生する (n=2350)	100.0	25.1	26.9	24.2	14.0	3.3	6.6
8 震度7の地震が60年以内に75.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	23.1	25.4	25.4	15.1	3.7	7.2
9 震度7の地震が70年以内に80.4%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.5	24.8	25.6	16.1	4.4	8.6
10 震度7の地震が80年以内に84.5%の確率で発生する (n=2350)	100.0	20.0	25.7	24.0	16.3	5.1	8.9
11 震度7の地震が90年以内に87.7%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.7	23.8	25.0	16.9	5.2	9.4
12 震度7の地震が100年以内に90.2%の確率で発生する (n=2350)	100.0	19.4	22.9	24.1	17.4	5.8	10.4
13 震度7の地震が150年以内に97.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.8	21.9	24.7	19.1	6.1	11.3
14 震度7の地震が200年以内に99.0%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.7	21.0	24.5	19.9	5.8	12.0
15 震度7の地震が300年以内に99.9%の確率で発生する (n=2350)	100.0	16.4	20.9	24.4	20.1	6.2	12.0

Q29-1.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、次のうちどれですか。最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、震度5強の地震が… (SA)

	全体 (n=2350)	%
1 1年以内に2.3%の確率で発生すると示されたとき		16.2
2 5年以内に11.0%の確率で発生すると示されたとき		15.5
3 10年以内に20.8%の確率で発生すると示されたとき		16.3
4 20年以内に37.2%の確率で発生すると示されたとき		9.1
5 30年以内に50.2%の確率で発生すると示されたとき		11.6
6 40年以内に60.6%の確率で発生すると示されたとき		2.6
7 50年以内に68.8%の確率で発生すると示されたとき		2.5
8 60年以内に75.2%の確率で発生すると示されたとき		0.9
9 70年以内に80.4%の確率で発生すると示されたとき		0.5
10 80年以内に84.5%の確率で発生すると示されたとき		0.3
11 90年以内に87.7%の確率で発生すると示されたとき		0.1
12 100年以内に90.2%の確率で発生すると示されたとき		0.7
13 150年以内に97.0%の確率で発生すると示されたとき		0.1
14 200年以内に99.0%の確率で発生すると示されたとき		0.1
15 300年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき		0.6
16 いずれも、「個人的な（自分自身の）対策の必要性」の感じ方は変わらない		22.9

Q29-2.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、次のうちどれですか。最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、震度6弱の地震が…（SA）

全体 (n=2350)		%
1	1年以内に2.3%の確率で発生すると示されたとき	15.0
2	5年以内に11.0%の確率で発生すると示されたとき	17.7
3	10年以内に20.8%の確率で発生すると示されたとき	19.1
4	20年以内に37.2%の確率で発生すると示されたとき	7.9
5	30年以内に50.2%の確率で発生すると示されたとき	12.5
6	40年以内に60.6%の確率で発生すると示されたとき	2.7
7	50年以内に68.8%の確率で発生すると示されたとき	2.8
8	60年以内に75.2%の確率で発生すると示されたとき	0.6
9	70年以内に80.4%の確率で発生すると示されたとき	0.6
10	80年以内に84.5%の確率で発生すると示されたとき	0.3
11	90年以内に87.7%の確率で発生すると示されたとき	0.1
12	100年以内に90.2%の確率で発生すると示されたとき	0.9
13	150年以内に97.0%の確率で発生すると示されたとき	0.2
14	200年以内に99.0%の確率で発生すると示されたとき	0.0
15	300年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	0.7
16	いずれも、「個人的な（自分自身の）対策の必要性」の感じ方は変わらない	19.0

Q29-3.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、次のうちどれですか。最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、震度6強の地震が…（SA）

全体 (n=2350)		%
1	1年以内に2.3%の確率で発生すると示されたとき	17.1
2	5年以内に11.0%の確率で発生すると示されたとき	16.8
3	10年以内に20.8%の確率で発生すると示されたとき	18.1
4	20年以内に37.2%の確率で発生すると示されたとき	8.5
5	30年以内に50.2%の確率で発生すると示されたとき	12.0
6	40年以内に60.6%の確率で発生すると示されたとき	2.3
7	50年以内に68.8%の確率で発生すると示されたとき	2.7
8	60年以内に75.2%の確率で発生すると示されたとき	0.6
9	70年以内に80.4%の確率で発生すると示されたとき	0.6
10	80年以内に84.5%の確率で発生すると示されたとき	0.3
11	90年以内に87.7%の確率で発生すると示されたとき	0.3
12	100年以内に90.2%の確率で発生すると示されたとき	1.5
13	150年以内に97.0%の確率で発生すると示されたとき	0.2
14	200年以内に99.0%の確率で発生すると示されたとき	0.1
15	300年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	0.6
16	いずれも、「個人的な（自分自身の）対策の必要性」の感じ方は変わらない	18.3

Q29-4.地震の発生確率について、次のような表現で示された場合、最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、次のうちどれですか。最も「個人的に（自分自身の）対策の必要性」を感じるのは、震度7の地震が…

		%
全体 (n=2350)		100.0
1	1年以内に2.3%の確率で発生すると示されたとき	17.6
2	5年以内に11.0%の確率で発生すると示されたとき	19.1
3	10年以内に20.8%の確率で発生すると示されたとき	16.8
4	20年以内に37.2%の確率で発生すると示されたとき	7.7
5	30年以内に50.2%の確率で発生すると示されたとき	12.8
6	40年以内に60.6%の確率で発生すると示されたとき	2.6
7	50年以内に68.8%の確率で発生すると示されたとき	2.4
8	60年以内に75.2%の確率で発生すると示されたとき	1.0
9	70年以内に80.4%の確率で発生すると示されたとき	0.6
10	80年以内に84.5%の確率で発生すると示されたとき	0.3
11	90年以内に87.7%の確率で発生すると示されたとき	0.2
12	100年以内に90.2%の確率で発生すると示されたとき	0.9
13	150年以内に97.0%の確率で発生すると示されたとき	0.0
14	200年以内に99.0%の確率で発生すると示されたとき	0.2
15	300年以内に99.9%の確率で発生すると示されたとき	0.5
16	いずれも、「個人的な（自分自身の）対策の必要性」の感じ方は変わらない	17.4

Q30.あなたは、以下の震度の地震を経験したことがありますか。(SA)

		全体	実際に経験したことがある	体験施設等で経験したことがある	ない
1	震度5強の揺れ (n=9400)	100.0	52.8	10.4	36.8
2	震度6弱の揺れ (n=9400)	100.0	26.9	12.9	60.2
3	震度6強の揺れ (n=9400)	100.0	16.7	12.5	70.8
4	震度7の揺れ (n=9400)	100.0	8.1	11.1	80.7

Q31-1.確率や年数についてお伺いします。感覚で構いませんので、数字でご記入ください。(半角数字でご記入ください)

		n	平均値	最小値	最大値
1	現在住んでいる場所で今後30年以内に震度5強以上の地震が発生する確率はどれくらいだと思いますか %	2350	35.07	0.00	100.00
2	現在住んでいる場所で震度5強以上の地震は、だいたい何年以内に発生するだろうと思いますか 年	2350	48.74	0.00	15070.00
3	現在住んでいる場所で震度5強以上の地震は「〇〇年以内に〇%くらいの確率で発生する」という形で表現されることが多いのですが、あなたは、本気で災害対策をとるべき数字としては「何年以内」と表現されるのがよいと思いますか 年以内	2350	25.91	0.00	20101.00
4	現在住んでいる場所で震度5強以上の地震は「〇年以内に〇%くらいの確率で発生する」という形で表現されることが多いのですが、あなたは、本気で災害対策をとるべき数字としては「何%以上」と表現されるのがよいと思いますか %以上	2350	37.15	0.00	100.00

Q31-2.確率や年数についてお伺いします。感覚で構いませんので、数字でご記入ください。

(半角数字でご記入ください)

		n	平均値	最小値	最大値
1	現在住んでいる場所で今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率はどれくらいだと思いますか %	2350	28.44	0.00	100.00
2	現在住んでいる場所で震度6弱以上の地震は、だいたい何年以内に発生するだろうと思いますか 年	2350	366.02	0.00	505095.00
3	現在住んでいる場所で震度6弱以上の地震は「〇〇年以内に〇%くらいの確率で発生する」という形で表現されることが多いのですが、あなたは、本気で災害対策をとるべき数字としては「何年以内」と表現されるのがよいと思いますか 年以内	2350	495.84	0.00	1000000.00
4	現在住んでいる場所で震度6弱以上の地震は「〇年以内に〇%くらいの確率で発生する」という形で表現されることが多いのですが、あなたは、本気で災害対策をとるべき数字としては「何%以上」と表現されるのがよいと思いますか %以上	2350	35.25	0.00	100.00

Q31-3.確率や年数についてお伺いします。感覚で構いませんので、数字でご記入ください。

(半角数字でご記入ください)

		n	平均値	最小値	最大値
1	現在住んでいる場所で今後30年以内に震度6強以上の地震が発生する確率はどれくらいだと思いますか %	2350	27.42	0.00	100.00
2	現在住んでいる場所で震度6強以上の地震は、だいたい何年以内に発生するだろうと思いますか 年	2350	70.43	0.00	10030.00
3	現在住んでいる場所で震度6強以上の地震は「〇〇年以内に〇%くらいの確率で発生する」という形で表現されることが多いのですが、あなたは、本気で災害対策をとるべき数字としては「何年以内」と表現されるのがよいと思いますか 年以内	2350	66.77	0.00	99999.00
4	現在住んでいる場所で震度6強以上の地震は「〇年以内に〇%くらいの確率で発生する」という形で表現されることが多いのですが、あなたは、本気で災害対策をとるべき数字としては「何%以上」と表現されるのがよいと思いますか %以上	2350	35.39	0.00	100.00

Q31-4.確率や年数についてお伺いします。感覚で構いませんので、数字でご記入ください。

(半角数字でご記入ください)

		n	平均値	最小値	最大値
1	現在住んでいる場所で今後30年以内に震度7の地震が発生する確率はどれくらいだと思いますか %	2350	20.99	0.00	100.00
2	現在住んでいる場所で震度7の地震は、だいたい何年以内に発生するだろうと思いますか 年	2350	620.00	0.00	1000000.00
3	現在住んでいる場所で震度7の地震は「〇〇年以内に〇%くらいの確率で発生する」という形で表現されることが多いのですが、あなたは、本気で災害対策をとるべき数字としては「何年以内」と表現されるのがよいと思いますか 年以内	2350	34.03	0.00	10000.00
4	現在住んでいる場所で震度7の地震は「〇年以内に〇%くらいの確率で発生する」という形で表現されることが多いのですが、あなたは、本気で災害対策をとるべき数字としては「何%以上」と表現されるのがよいと思いますか %以上	2350	32.81	0.00	100.00

Q32-1.次にあなたのお考えについてお聞きします。(半角数字でご記入ください)

		n	平均値	最小値	最大値
1	現在住んでいる場所で震度5強以上の地震は、30年以内に○% (何パーセント) 以上であれば「高い」と感じますか %	2350	40.41	0.00	100.00
2	現在住んでいる場所で震度5強以上の地震は、30年以内に○% (何パーセント) 以上であれば「不安」を感じますか %	2350	40.96	0.00	100.00
3	現在住んでいる場所で震度5強以上の地震は、30年以内に○% (何パーセント) 以上であれば「個人的に(自分自身の)対策の必要性」を感じますか %	2350	41.36	0.00	100.00

Q32-2.次にあなたのお考えについてお聞きします。(半角数字でご記入ください)

		n	平均値	最小値	最大値
1	現在住んでいる場所で震度6弱以上の地震は、30年以内に○% (何パーセント) 以上であれば「高い」と感じますか %	2350	36.86	0.00	100.00
2	現在住んでいる場所で震度6弱以上の地震は、30年以内に○% (何パーセント) 以上であれば「不安」を感じますか %	2350	36.85	0.00	100.00
3	現在住んでいる場所で震度6弱以上の地震は、30年以内に○% (何パーセント) 以上であれば「個人的に(自分自身の)対策の必要性」を感じますか %	2350	36.83	0.00	100.00

Q32-3.次にあなたのお考えについてお聞きします。(半角数字でご記入ください)

		n	平均値	最小値	最大値
1	現在住んでいる場所で震度6強以上の地震は、30年以内に○% (何パーセント) 以上であれば「高い」と感じますか %	2350	36.11	0.00	100.00
2	現在住んでいる場所で震度6強以上の地震は、30年以内に○% (何パーセント) 以上であれば「不安」を感じますか %	2350	36.65	0.00	100.00
3	現在住んでいる場所で震度6強以上の地震は、30年以内に○% (何パーセント) 以上であれば「個人的に(自分自身の)対策の必要性」を感じますか %	2350	36.78	0.00	100.00

Q32-4.次にあなたのお考えについてお聞きします。(半角数字でご記入ください)

		n	平均値	最小値	最大値
1	現在住んでいる場所で震度7の地震は、30年以内に○% (何パーセント) 以上であれば「高い」と感じますか %	2350	34.07	0.00	100.00
2	現在住んでいる場所で震度7の地震は、30年以内に○% (何パーセント) 以上であれば「不安」を感じますか %	2350	34.08	0.00	100.00
3	現在住んでいる場所で震度7の地震は、30年以内に○% (何パーセント) 以上であれば「個人的に(自分自身の)対策の必要性」を感じますか %	2350	34.02	0.00	100.00

Q33-1.では前問と逆の聞き方をします。(半角数字でご記入ください)

		n	平均値	最小値	最大値
1	現在住んでいる場所で震度5強以上の地震は、30年以内に○ (何パーセント) % 以下であれば「低い」と感じますか %	2350	13.88	0.00	100.00
2	現在住んでいる場所で震度5強以上の地震は、30年以内に○ (何パーセント) % 以下であれば「大したことない」と感じますか %	2350	12.35	0.00	100.00
3	現在住んでいる場所で震度5強以上の地震は、30年以内に○ (何パーセント) % 以下であれば「個人的に(自分自身の)対策の必要性はない」と感じますか %	2350	12.56	0.00	100.00

Q33-2.では前問と逆の聞き方をします。(半角数字でご記入ください)

		n	平均値	最小値	最大値
1	現在住んでいる場所で震度6弱以上の地震は、30年以内に○(何パーセント)%以下であれば「低い」と感じますか %	2350	12.77	0.00	100.00
2	現在住んでいる場所で震度6弱以上の地震は、30年以内に○(何パーセント)%以下であれば「大したことない」を感じますか %	2350	11.61	0.00	100.00
3	現在住んでいる場所で震度6弱以上の地震は、30年以内に○(何パーセント)%以下であれば「個人的に(自分自身の)対策の必要性はない」と感じますか %	2350	11.64	0.00	100.00

Q33-3.では前問と逆の聞き方をします。(半角数字でご記入ください)

		n	平均値	最小値	最大値
1	現在住んでいる場所で震度6強以上の地震は、30年以内に○(何パーセント)%以下であれば「低い」と感じますか %	2350	12.44	0.00	100.00
2	現在住んでいる場所で震度6強以上の地震は、30年以内に○(何パーセント)%以下であれば「大したことない」を感じますか %	2350	11.19	0.00	100.00
3	現在住んでいる場所で震度6強以上の地震は、30年以内に○(何パーセント)%以下であれば「個人的に(自分自身の)対策の必要性はない」と感じますか %	2350	11.00	0.00	100.00

Q33-4.では前問と逆の聞き方をします。(半角数字でご記入ください)

		n	平均値	最小値	最大値
1	現在住んでいる場所で震度7の地震は、30年以内に○(何パーセント)%以下であれば「低い」と感じますか %	2350	10.56	0.00	100.00
2	現在住んでいる場所で震度7の地震は、30年以内に○(何パーセント)%以下であれば「大したことない」を感じますか %	2350	9.42	0.00	100.00
3	現在住んでいる場所で震度7の地震は、30年以内に○(何パーセント)%以下であれば「個人的に(自分自身の)対策の必要性はない」と感じますか %	2350	9.19	0.00	100.00

Q34.地震動予測地図の表現の仕方や確率について、それぞれあてはまるものを1つだけお選びください。※[画像を拡大]をクリックしていただくと拡大してご覧いただけます。

		全体	強く思う	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	まったくそう思わない
1	「%」を使って確率で表現されても、わかりにくい (n=9400)	100.0	9.8	18.8	30.9	27.1	9.9	3.5
2	「今後30年以内に」という形で表現されても、わかりにくい (n=9400)	100.0	10.0	19.6	34.0	24.9	8.7	2.8
3	30年以内に「○%~○%」と言われても、幅があるので、わかりにくい (n=9400)	100.0	12.4	22.7	35.7	20.2	6.6	2.4
4	「3%以上」という低い数値にもかかわらず、発生確率は「高い」となっているのは、わかりにくい (n=9400)	100.0	16.2	26.6	33.2	16.7	5.0	2.4
5	「3%」や「26%」は、区切りが悪い数値なのでわかりにくい (n=9400)	100.0	11.5	20.2	29.4	25.6	9.2	4.1
6	起こる確率が50%の場合、起こらない確率も50%なので、わかりにくい (n=9400)	100.0	10.2	17.4	28.2	28.7	10.8	4.7
7	地震の起こる確率なんて、実は正直どうでもいい (n=9400)	100.0	7.8	10.2	20.8	28.8	18.6	13.9
8	地震動予測地図の確率表現は、わかりやすい (n=9400)	100.0	5.9	15.2	36.6	29.8	8.4	4.1
9	確率は、明解だ (n=9400)	100.0	4.5	10.1	30.9	35.9	12.1	6.6
10	確率が得意である (n=9400)	100.0	4.5	8.9	20.9	35.7	18.8	11.2
11	数字が嫌いだ (n=9400)	100.0	7.9	12.0	24.5	32.9	15.7	6.9
12	確率は、ぼんやりしている (n=9400)	100.0	7.1	15.2	37.0	26.7	10.2	3.9
13	確率は、あまり重要ではないと思う (n=9400)	100.0	5.7	9.3	23.5	38.0	17.4	6.0
14	確率で言われると、嫌気がさす (n=9400)	100.0	4.9	7.7	19.1	36.1	21.4	10.8
15	自分は理系的な思考が強いと思う (n=9400)	100.0	6.4	10.9	24.6	31.4	15.4	11.3
16	地震が起こる確率は「100%」と言われない限り、注意はするものの、地震対策行動には移しにくい (n=9400)	100.0	5.8	9.6	23.6	29.3	18.7	13.0
17	地震動予測地図に示されている確率はあくまで参考程度だと思う (n=9400)	100.0	8.7	17.7	37.8	23.5	8.7	3.6

Q35.あなたは地震対策について、どのようにお考えですか。以下の項目についてお答えください。(SA)

	全体	強く そう 思う	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思 わない	そう 思 わ な い	ま っ た く そ う 思 わ な い
1 自宅がある場所は、地震のリスクが高い (n=9400)	100.0	9.5	15.8	30.1	30.4	10.4	3.8
2 もし自分が住んでいる地域で大きな地震が発生したら、自分の命は極めて危険だ (n=9400)	100.0	9.1	15.7	35.4	30.1	7.1	2.7
3 地震にはどのような危険性があるのか、きちんと理解できている (n=9400)	100.0	7.0	17.8	43.7	24.6	4.9	2.1
4 自宅をちゃんと耐震化しておけば、大地震発生時も家は倒れず、必ず身を守ることができる (n=9400)	100.0	5.0	13.1	33.3	33.1	10.8	4.7
5 家具の固定をしておけば、大地震発生時にもほとんど家具は倒れず、身を守ることができる (n=9400)	100.0	5.0	12.9	36.0	31.0	10.3	4.8
6 非常用持ち出し袋を準備しておけば、避難時などにもあまり困らず、生き延びることができる (n=9400)	100.0	5.4	13.0	38.0	29.5	9.4	4.6
7 日本に住んでいる限り、例えばどこであろうとも、各自がそれぞれの地震対策をするべきである (n=9400)	100.0	17.6	28.1	38.2	12.1	2.4	1.6
8 周りの人があまり地震対策をしていなくても、自分が必要と思うなら、しっかり地震対策をしなければならない (n=9400)	100.0	17.3	29.6	37.5	11.8	2.3	1.5
9 自分の命を守るためには、しっかりと地震対策をしておかなければならない (n=9400)	100.0	17.8	29.7	37.6	11.0	2.3	1.5
10 近所の人や身近な人は皆、「地震に備えて地震対策をしておくべき」と考えていると思う (n=9400)	100.0	8.8	18.2	38.0	26.4	5.8	2.8
11 近所の人や身近な人が地震対策をしていることを見聞きすると、当然のこととして自分もしなければと思う (n=9400)	100.0	10.0	22.5	43.5	17.9	3.8	2.4
12 近所の人や身近な人が、防災訓練に参加している場合、自分も参加しないわけにはいかないと感じる (n=9400)	100.0	6.9	17.7	39.1	26.4	6.1	3.8
13 地震発生確率が「30年以内に3%」の地域では、「30年以内に26%」の地域よりも、先に地震が発生することはない (n=9400)	100.0	4.3	8.7	24.8	33.5	16.3	12.5
14 「30年以内に3%」という地震発生確率は、人が交通事故で死亡する確率や、火事で罹災する確率よりも低い (n=9400)	100.0	5.7	14.2	33.4	31.0	10.0	5.7
15 コインをなげて何度も裏が続いた場合、次は表が出やすい (n=9400)	100.0	4.5	10.1	25.0	31.8	14.1	14.4
16 地震で大きな揺れを感じたら、揺れているうちにガスコンロの火を消すことが重要だ (n=9400)	100.0	15.6	19.9	29.4	19.1	9.3	6.7
17 地震に備え、準備しておくべき水の量は1人1日あたり、約1リットルである (n=9400)	100.0	6.6	14.1	29.1	24.9	15.4	9.9
18 災害用伝言ダイヤルの番号は「177」である (n=9400)	100.0	7.3	14.9	34.1	22.3	9.1	12.3
19 地震対策の責任は、行政ではなく、当然のことながら個人にある (n=9400)	100.0	9.5	21.2	39.4	20.9	6.1	2.8
20 地震から身を守るためには、何よりも自分自身が知識を得て、判断し、地震対策をすることが重要不可欠だ (n=9400)	100.0	16.5	29.7	38.9	11.1	2.4	1.5
21 地震対策の結果、どうなるかは、すべて自己の責任である (n=9400)	100.0	8.4	18.5	39.9	25.0	5.6	2.7
22 地震対策をしろといわれても、自分一人では、何をやればいいか、何一つわからない (n=9400)	100.0	5.7	12.3	36.7	31.2	10.2	4.0
23 地震対策をしても、結局きりがないので、完全にあきらめている (n=9400)	100.0	4.5	8.8	28.6	34.4	15.6	8.0
24 地震対策として取り組めそうなことが、まったく思いつかない (n=9400)	100.0	3.9	7.8	24.2	36.5	18.6	9.1
25 地震対策に高額な費用をかけることには、抵抗がある (n=9400)	100.0	8.0	16.3	39.3	23.4	8.9	4.0
26 例えいくら高いお金がかかっても、完璧に地震対策しておきたい (n=9400)	100.0	4.3	8.9	27.0	38.5	14.8	6.5
27 地震対策にどんなに多くのお金をかけても、その後大きな地震がこなければ、お金の無駄だったと思う (n=9400)	100.0	5.2	9.9	28.8	35.4	14.7	6.0

		全体	強くそ う思う	そう思 う	ややそ う思う	あまり そう思 わない	そう思 わない	まった くそう 思わな い
28	地震対策にはとても多くの時間も手間もかかるので、正直、面倒だ (n=9400)	100.0	6.3	13.6	41.5	26.3	8.6	3.7
29	例えどんなに時間や手間がかかっても、完璧に地震対策しておきたい (n=9400)	100.0	5.0	10.5	34.6	35.7	9.7	4.6
30	時間や手間をかけて、地震対策を行ったとしても、ずっと地震がこなければ、骨折り損だったと思う (n=9400)	100.0	4.8	8.7	26.9	37.3	15.4	7.0
31	地震対策については、町内会や地元のグループ、自主防災組織などで地域と関わりをもてば、自分もいろいろ役立つことができる (n=9400)	100.0	5.0	13.1	44.3	26.0	7.6	4.1
32	地震対策については、自主防災組織などで地域と関われば、自分も解決に貢献できる (n=9400)	100.0	5.0	12.8	43.9	27.8	6.7	3.9
33	地域防災については、地域の組織やグループで課題に取り組むことが大事だし、自分も力になれる (n=9400)	100.0	5.0	12.7	45.1	27.0	6.6	3.7
34	地震対策をしても、命を守れるかどうかは、結局、運によるところが大きい (n=9400)	100.0	9.0	16.2	42.1	23.8	6.1	2.7
35	地震は人の力では制御しきれないものであり、たとえ大きな被害に遭おうとも、「避けられない運命だった」と受け止めるしかないと思う (n=9400)	100.0	9.1	17.0	42.2	22.5	6.1	3.1
36	地震対策がままならず、身近な人や自分が命を失ったとしても、「そういう運命であった」と諦めるしかないと思う (n=9400)	100.0	7.5	13.7	36.1	26.7	10.0	5.9

Q36.あなたは、現在の地震学・科学による地震動の事前の予測は可能だと思いますか。あなたの主観でかまいませんので、あてはまるものを1つだけお選びください。

		%
全体 (n=9400)		100.0
1	精度は極めて高く、ほぼ確実に予測できる	2.6
2	精度は高く、ある程度の精度で予測できる	22.2
3	予測できるものもある	51.0
4	精度は低く、ほとんど予測できない	17.2
5	精度は極めて低く、まったく予測できない	7.0

Q37.あなたは、天気（台風や、集中豪雨などの予報も含め）の予報は可能だと思いますか。あなたの主観でかまいませんので、あてはまるものを1つだけお選びください。

		%
全体 (n=9400)		100.0
1	精度は極めて高く、ほぼ確実に予報できる	7.1
2	精度は高く、ある程度の精度で予報できる	46.1
3	予報できるものもある	37.0
4	精度は低く、ほとんど予報できない	6.2
5	精度は極めて低く、まったく予報できない	3.6

Q38.あなたは、火山噴火の予知は可能だと思いますか。あなたの主観でかまいませんので、あてはまるものを1つだけお選びください。

		%
全体 (n=9400)		100.0
1	精度は極めて高く、ほぼ確実に予知できる	2.7
2	精度は高く、ある程度の精度で予知できる	21.8
3	予知できるものもある	52.6
4	精度は低く、ほとんど予知できない	17.3
5	精度は極めて低く、まったく予知できない	5.5

Q39.あなたは、景気の予測は可能だと思いますか。あなたの主観でかまいませんので、あてはまるものを1つだけお選びください。

	全体 (n=9400)	%
1	精度は極めて高く、ほぼ確実に予測できる	2.3
2	精度は高く、ある程度の精度で予測できる	17.4
3	予測できるものもある	54.9
4	精度は低く、ほとんど予測できない	19.1
5	精度は極めて低く、まったく予測できない	6.3

Q40.地震予知についてどう思いますか。それぞれ、あてはまるものを1つだけお選びください。

	全体 (n=9400)	全体	強く思う	そう思う	やや思う	あまり思う	そう思わない	まったく思わない
1	地震予知研究を推進するのはよいと思う	100.0	20.6	34.5	33.0	8.0	2.0	1.9
2	近い将来、短期の地震予知は可能になると思う	100.0	10.8	26.6	38.0	18.5	3.6	2.6
3	地震予知は実現しつつあると思う	100.0	8.7	22.5	37.4	23.3	4.9	3.2
4	地震予知ができれば多くの人が救えるので、政府は全力をあげて、この研究を推進すべきだ	100.0	15.3	26.8	39.1	13.7	2.8	2.4
5	現在の地震学の水準で地震を予測するには限界があると思う	100.0	11.2	22.7	39.5	20.9	4.0	1.7
6	純粋に科学の発展のために研究を進めるべきで、地震予知のようなものに研究資源を費やすべきではない	100.0	5.6	11.2	23.2	35.4	16.3	8.3
7	地震予知をできる能力があるのに、難しいというのは研究者としての責任を果たしていないと思う	100.0	6.0	12.1	28.2	33.8	12.6	7.2

Q41.一般的に言って、次のような人や組織を信頼していますか。それぞれ、あてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に信頼している	ある程度信頼している	あまり信頼していない	まったく信頼していない	
1	裁判官 (n=9400)	100.0	6.5	64.6	23.8	5.0
2	警察 (n=9400)	100.0	4.8	58.3	29.2	7.8
3	街頭の人々 (n=9400)	100.0	1.6	29.4	54.7	14.2
4	国会議員 (n=9400)	100.0	1.5	18.6	47.7	32.3
5	国家公務員 (n=9400)	100.0	2.2	38.8	44.2	14.8
6	ジャーナリスト (n=9400)	100.0	1.5	28.4	48.9	21.2
7	ニュースキャスター (n=9400)	100.0	2.0	41.2	41.4	15.4
8	医者 (n=9400)	100.0	9.9	73.7	14.0	2.4
9	気象庁 (n=9400)	100.0	7.6	74.1	15.4	2.9
10	文部科学省 (n=9400)	100.0	2.4	40.8	44.5	12.3
11	内閣府 (防災) (n=9400)	100.0	2.6	43.3	40.7	13.5
12	経済学者 (n=9400)	100.0	2.0	39.5	45.2	13.3
13	社会学者 (n=9400)	100.0	2.0	39.8	44.6	13.6
14	心理学者 (n=9400)	100.0	2.5	43.6	41.7	12.2
15	歴史学者 (n=9400)	100.0	3.8	58.9	30.4	6.9
16	考古学者 (n=9400)	100.0	3.9	58.9	30.5	6.7
17	天文学者 (n=9400)	100.0	4.6	62.0	27.3	6.0
18	地震学者 (n=9400)	100.0	3.4	58.5	31.0	7.1
19	火山学者 (n=9400)	100.0	3.4	58.1	31.8	6.7
20	原子力の研究者 (n=9400)	100.0	2.9	52.2	34.9	9.9
21	政府 (n=9400)	100.0	1.6	28.3	43.3	26.7

Q42.一般的に言って、下記に示すものを信頼していますか。それぞれ、あてはまるものを1つだけお選びください。

	全体	非常に信頼している	ある程度信頼している	あまり信頼していない	まったく信頼していない
1 医師の診断 (n=9400)	100.0	9.9	79.0	9.2	1.9
2 医師の治療 (n=9400)	100.0	9.5	78.1	10.5	2.0
3 地震学者の地震予測 (n=9400)	100.0	2.9	57.7	32.8	6.6
4 地震学者の地震の解説 (n=9400)	100.0	3.6	62.4	28.3	5.7
5 気象庁の気象予報 (n=9400)	100.0	9.2	74.2	14.0	2.7
6 気象庁の気象観測 (n=9400)	100.0	9.3	73.6	14.3	2.9
7 政府の説明 (n=9400)	100.0	2.1	31.1	46.3	20.5
8 政府の施策 (n=9400)	100.0	2.0	30.8	45.7	21.5

Q43.あなたは次のことについてどう思いますか。それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。

	全体	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1 医師は医療について真摯に研究に向かい合っている (n=9400)	100.0	14.5	67.3	15.7	2.6
2 医師は医療についてよく知識を持っている (n=9400)	100.0	18.0	66.8	12.9	2.3
3 医師は医療について情報を隠さず提供している (n=9400)	100.0	9.3	53.9	31.9	4.9
4 医師は医療について人々の安全を第一に考え、情報を率直に提供している (n=9400)	100.0	10.5	58.1	27.2	4.2
5 地震学者は、地震について真摯に研究に向かい合っている (n=9400)	100.0	13.7	67.3	15.7	3.3
6 地震学者は、地震についてよく知識を持っている (n=9400)	100.0	14.8	65.4	16.3	3.5
7 地震学者は、地震について情報を隠さず提供している (n=9400)	100.0	10.3	58.0	27.1	4.6
8 地震学者は、地震について人々の安全を第一に考え、情報を率直に提供している (n=9400)	100.0	10.7	60.3	24.5	4.6
9 気象庁は、気象について真摯に研究に向かい合っている (n=9400)	100.0	18.6	66.9	12.0	2.5
10 気象庁は、気象についてよく知識を持っている (n=9400)	100.0	20.9	65.6	11.0	2.5
11 気象庁は、気象について情報を隠さず提供している (n=9400)	100.0	17.0	63.0	17.1	2.9
12 気象庁は、気象について人々の安心・安全を第一に考え、情報を率直に提供している (n=9400)	100.0	17.0	63.8	16.2	3.0
13 政府は、政策について真摯に向かい合っている (n=9400)	100.0	5.3	36.6	39.3	18.8
14 政府は、政策についてよく知識を持っている (n=9400)	100.0	5.3	36.7	38.2	19.8
15 政府は、政策について情報を隠さず提供している (n=9400)	100.0	3.3	25.9	39.6	31.3
16 政府は、政策について人々の安全を第一に考え、情報を率直に提供している (n=9400)	100.0	3.8	30.1	39.2	26.9

Q44.下記の項目について、あなたの考えに最も近いものを1つずつお選びください。

	全体	あてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1 私は、自分自身を、ある程度は信頼できる (n=9400)	100.0	22.2	54.8	19.0	4.0
2 私は自分の人生に対し、何とかやっていけそうな気がする (n=9400)	100.0	19.7	55.6	19.8	4.9
3 私は、自分自身が、信頼に値する人間だと思う (n=9400)	100.0	14.6	50.6	28.1	6.7
4 私は、自分自身の行動をある程度はコントロールすることができるという確信を持っている (n=9400)	100.0	16.2	54.9	23.7	5.1
5 私は私で、決して他人にはとってかわることの出来ない存在であると思う (n=9400)	100.0	17.7	43.0	30.5	8.7

Q45.下記の項目について、あなたの考えに最も近いものを1つずつお選びください。

	全体	あてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
1	これまでに会ったほとんどの人は私によくしてくれた (n=9400)	100.0	20.2	57.9	17.9	4.0
2	一般的に、人間は信頼できるものだと思う (n=9400)	100.0	11.5	52.6	28.1	7.9
3	これまでの経験から、他人もある程度は信頼できると感じる (n=9400)	100.0	11.5	57.1	24.7	6.7
4	状況が許せば、たいいてい人間はお互いに正直に、かつ誠実に関わりあいたいと思っているだろう (n=9400)	100.0	14.5	57.2	22.0	6.3

Q46.下記の意見や内容について、あなたはどのように思いますか。それぞれ最も近いものを1つずつお選びください。

	全体	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	
1	災害を想定して対策を講じることを繰り返せば、災害被害は防ぐことができる (n=9400)	100.0	10.2	62.8	22.7	4.3
2	東日本大震災で大きな被害が発生したのは、想定が悪かったからだ (n=9400)	100.0	11.0	38.4	39.7	10.9
3	様々な災害に対して、どんどん被害想定を出すべきである (n=9400)	100.0	15.4	59.9	21.2	3.5
4	災害対応は優先順位をつけて行うべきである (n=9400)	100.0	19.1	61.3	16.6	3.1
5	災害対応はできるものすべてに対策をとるべきである (n=9400)	100.0	14.4	57.4	24.3	3.9
6	災害の課題としてあがってきたことは何でも対応すべきである (n=9400)	100.0	11.6	54.2	29.5	4.6
7	人びとの防災意識など、心構えて災害の被害は防ぐことができる (n=9400)	100.0	11.9	60.8	22.7	4.6
8	災害後、皆が力を合わせれば災害を乗り切ることができる (n=9400)	100.0	14.7	61.7	19.6	3.9
9	災害で被害が発生するのは、人びとの意識・心理に問題があるからだ (n=9400)	100.0	6.7	41.1	38.9	13.3
10	災害対策で重要なのは防災教育である (n=9400)	100.0	14.4	65.2	17.2	3.2
11	災害後にテレビや新聞で指摘される、災害が発生した原因はおおむね正しい (n=9400)	100.0	6.5	59.0	29.6	4.9
12	災害後にテレビで問題視されていることはおおむね正しい (n=9400)	100.0	5.8	55.4	32.4	6.4
13	災害後に新聞で問題視されていることはおおむね正しい (n=9400)	100.0	5.9	56.5	31.1	6.4
14	テレビに出ているコメンテーターの言っていることはおおむね正しい (n=9400)	100.0	3.9	35.6	44.3	16.3
15	想定外をなくすために、想定は大きければ大きいほどよい (n=9400)	100.0	7.2	41.8	42.4	8.6
16	想定は信じてはいけない (n=9400)	100.0	6.7	39.6	45.8	7.9
17	災害のリスクが高い場所には住むべきではない (n=9400)	100.0	15.8	52.6	26.4	5.1
18	復旧・復興よりも事前対策を重視すべき (n=9400)	100.0	9.5	51.8	33.4	5.4
19	災害は忘れたころにやってくる (n=9400)	100.0	44.5	43.3	9.6	2.5

Q47.下記の意見や内容について、あなたのお考えに、どの程度あてはまりますか。それぞれ最も近いものを1つずつお選びください。

	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1 「天からの警告」というものは、あるような気がする (n=9400)	100.0	13.1	46.8	28.1	12.0
2 「災害や環境問題」は人間への、天からの警告である (n=9400)	100.0	10.3	42.0	32.1	15.6
3 「大事故などの人災」は人間への、天からの警告である (n=9400)	100.0	7.8	34.4	38.9	18.9
4 「病気」は人間への、天からの警告である (n=9400)	100.0	6.6	32.5	40.9	20.0
5 人間は、みな「運命」「天命」があるような気がする (n=9400)	100.0	12.7	48.2	27.6	11.6
6 「自然災害」による被害を受けるか受けないかは運命である (n=9400)	100.0	9.6	44.8	33.2	12.3
7 「大事故などの人災」により、被害を受けるか受けないかは運命である (n=9400)	100.0	9.3	43.3	34.5	13.0
8 「病気」になるかならないかは運命である (n=9400)	100.0	8.7	41.2	36.9	13.1
9 今の世の中では、一人一人の人間はあまりに無力である (n=9400)	100.0	16.0	47.7	29.1	7.2
10 人間がどんなに対策をとっても「自然災害による被害」は防ぎようがない (n=9400)	100.0	19.7	52.1	23.5	4.7
11 人間がどんなに対策をとっても「大事故などの人災」は防ぎようがない (n=9400)	100.0	13.3	45.2	33.6	7.9
12 人間がどんなに対策をとっても「病気」は防ぎようがない (n=9400)	100.0	14.8	47.2	32.3	5.7
13 人生はすべて運命で決まっている (n=9400)	100.0	9.3	36.5	38.8	15.4
14 人間が、自分自身の運命を決定するものだ (n=9400)	100.0	11.2	50.0	30.9	7.9
15 国民の安全のために国がもっと責任を持つべきだ (n=9400)	100.0	16.6	50.9	27.4	5.0
16 自分のことは自分で面倒見るよう、個人がもっと責任を持つべきだ (n=9400)	100.0	14.1	60.0	22.0	3.9
17 自助・共助・公助（自分の安全は自分で守ること、近隣・地域で助け合っ行う防災対応、行政の防災対応）の役割分担が重要だ (n=9400)	100.0	13.6	61.6	20.4	4.3
18 公助（行政の防災対応）には限界があるので、自助（自分の安全は自分で守ること）・共助（近隣・地域で助け合っ行う防災対応）の役割分担が重要だ (n=9400)	100.0	14.1	61.1	20.3	4.6

Q48.あなたは、地震保険に加入していますか。(SA)

	全体 (n=9400)	%
1 加入している		45.4
2 加入していない		54.6
	全体 (n=9400)	100.0

Q49.あなたは自主防災組織に参加していますか。(SA)

	全体 (n=9400)	%
1 参加している		15.5
2 参加していない		84.5
	全体 (n=9400)	100.0

Q50.あなたがお住まいの郵便番号をお教えてください。(省略)

Q51.あなたの最終的な学歴をお教えてください。※現在学生の方は、最後に卒業した学校をお答えください。(SA)

全体 (n=9400)		%
1	大学院卒	4.6
2	大学卒	42.4
3	専門学校卒	16.9
4	高校卒	31.2
5	中学卒	2.1
6	その他:	2.8

Q52.あなたのお住まいは、次のうちどれにあたりますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

全体 (n=9400)		%
1	持ち家	59.9
2	借家	7.4
3	集合住宅 (所有)	6.5
4	集合住宅 (賃貸)	23.9
5	公営住宅	1.6
6	その他:	0.8

Q53.お住まいの住宅の築年は次のどれにあたりますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

全体 (n=9400)		%
1	1981年5月以前 (旧耐震) - 耐震診断を受けており、安全が確認されている	8.8
2	1981年5月以前 (旧耐震) - 耐震診断を受けているが、安全が確認されていない	3.0
3	1981年5月以前 (旧耐震) - 耐震診断を受けていない、または受けているかわからない	11.2
4	1981年6月以降 (新耐震)	51.9
5	築年がわからない	25.1

Q54.現在、あなたご自身、もしくはご自宅に同居されている方の中に、以下のような方はいらっしゃいますか。あてはまる方をいくつでもあげてください。(いくつでも)

全体 (n=9400)		%
1	未就学児	16.0
2	75歳以上の後期高齢者	11.1
3	65歳以上 (~75歳未満) の高齢者	16.0
4	要介護者	2.9
5	上記以外の家族や同居人	46.9
6	いない (一人暮らし)	22.1

Q55.ご自宅の建物の造りについてお教えてください。(SA)

全体 (n=9400)		%
1	木造 (W造)	100.0
2	鉄筋コンクリート造 (RC造)	50.6
3	鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC造)	17.1
4	鉄骨造 (S造)	7.6
5	その他 具体的に:	4.8
6	わからない	0.6
		19.2

Q56.世帯年収は、次のうちどれにあたりますか。あてはまるものを1つだけお選びください。

全体 (n=9400)		%
1	200万円未満	10.8
2	200万円以上～400万円未満	24.3
3	400万円以上～600万円未満	24.8
4	600万円以上～800万円未満	19.1
5	800万円以上～1,000万円未満	11.1
6	1,000万円以上～1,200万円未満	4.9
7	1,200万円以上～1,400万円未満	1.8
8	1,400万円以上	3.3

Q57.あなたは犬や猫など、ペットを飼っていますか。(いくつでも)

全体 (n=9400)		%
1	犬を飼っている	100.0
2	猫を飼っている	12.5
3	犬や猫以外のペットを飼っている 具体的に:	10.5
4	ペットは飼っていない	4.5
		74.9

東京大学大学院情報学環紀要 情報学研究
調査研究編 No.40

発行日 令和6年3月31日

編集・発行 東京大学大学院情報学環

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

製作 株式会社創志